

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
	鑑賞	八文字舎自笑		『古今いろは評林』		天明5年 ※『新群書類従 第三』（明治41年8月、国書刊行会／昭和51年12月、第一書房）、『演劇叢書』第七篇（明治45年3月、六合館）、『仮名手本忠臣蔵』（昭和12年9月、岩波書店）、『忠臣蔵』第6巻（平成9年3月、赤穂市）、『古今いろは評林—本文と注釈』（平成20年11月、古今いろは評林をよむ会）に収録。
	鑑賞	十返舎一九		『忠臣蔵岡目評判』		享和3年 ※『赤穂復讐全集』（明治28年9月、博文館）、『演劇文庫』第四編（大正3年9月、演芸珍書刊行会）、『上演資料集133』（昭和51年12月、国立劇場）、『十返舎一九全集』第四巻（昭和54年11月、日本図書センター）に収録。
	鑑賞	式亭三馬		『忠臣蔵偏癡氣論』		文化8年 ※『滑稽名作集』上巻（明治27年6月、博文館）、『演劇文庫』第五編（大正3年10月、演芸珍書刊行会）、『式亭三馬集』（平成4年3月、国書刊行会）に収録。
中村秀鶴 一話一言	演出	中村秀鶴=《3》中村仲蔵		歌舞伎新報	第1・2号	明治12年2月 歌舞伎新報社
絶句帖	演出	中村秀鶴=《3》中村仲蔵		歌舞伎新報	第4号付録	明治12年3月 歌舞伎新報社
六二連 [明治12・6市村座]	劇評	高田砂筵 高須高燕 梅素玄魚		歌舞伎新報	第20号	明治12年6月 歌舞伎新報社
中島座忠臣蔵略評 [明治17・12中島座]	劇評	儂俗寒士		歌舞伎新報	第497号	明治17年12月 歌舞伎新報社
第十回 仲蔵初めて定九郎を勤む	芸談	中村秀鶴=《3》中村仲蔵		歌舞伎新報	第533・536号	明治18年4月 歌舞伎新報社
市村座畧評六二連 [明治20・3市村座]	劇評	高須高燕 南可西銖		歌舞伎新報	第774・775号	明治20年4月 歌舞伎新報社
市村座畧評六二連 [明治20・3市村座]	劇評	高須高燕 南可西銖		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編上』		平成18年6月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書10」
新富町劇場芸評六二連 [明治22・3桐座]	劇評	高須高燕 梅素薫		歌舞伎新報	第999・1001・1003・1004号	明治22年4～5月 歌舞伎新報社
新富町劇場芸評六二連 [明治22・3桐座]	劇評	高須高燕 梅素薫		『六二連 俳優評判記 歌舞伎新報編下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書10」
仮名手本忠臣蔵 [明治24・11市村座]	筋書			歌舞伎新報	第1310～1316号	明治24年11月 歌舞伎新報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
仮名手本忠臣蔵 [明治24・11市村座]	筋書			『六二連 俳優評判 記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書10」
市村座畧評六二連 [明治24・12市村座]	劇評	高須高燕 吉野竹叟		歌舞伎新報	第1317・1318号	明治24年12月 歌舞伎新報社
市村座畧評六二連 [明治24・12市村座]	劇評	高須高燕 吉野竹叟		『六二連 俳優評判 記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書10」
新富座六二連 [明治27・2新富座]	劇評	高須高燕		歌舞伎新報	第1555号	明治27年2月 歌舞伎新報社
新富座六二連 [明治27・2新富座]	劇評	高須高燕		『六二連 俳優評判 記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書10」
歌舞伎座芸評六二連 [明治27・7歌舞伎座]	劇評	高須高燕		歌舞伎新報	第1599号	明治27年8月 歌舞伎新報社 ※松ヶ岡庵室の場・大詰両国橋引上げの 場。
歌舞伎座芸評六二連 [明治27・7歌舞伎座]	劇評	高須高燕		『六二連 俳優評判 記 歌舞伎新報編 下』		平成19年3月 日本芸術文化振興会 ※法月敏彦／校訂 ※「歌舞伎資料選書10」
忠臣双葉蔵	解説	竹の屋主人		歌舞伎新報	第1634号	明治29年3月 玄鹿館
三代目菊五郎の勘平	画	鐙木清方		歌舞伎（第一次）	第3号	明治33年3月 歌舞伎発行所
明治座合評 [明治33・6明治座]	合評	三木竹二 伊原青々園 幸堂得知 岡野紫水		歌舞伎（第一次）	第3号	明治33年3月 歌舞伎発行所
又三郎の早替り／勘平のトッチ [明治33・7宮戸座]	芸談		《2》坂東又三郎	歌舞伎（第一次）	第5号	明治33年8月 歌舞伎発行所 ※勘平・定九郎・与市兵衛の早替り。
役者の真似をしやがる	芸談		《2》坂東又三郎	歌舞伎（第一次）	第5号	明治33年8月 歌舞伎発行所 ※勘平・定九郎・与市兵衛の早替り。
笑ひ草	鑑賞	瀬川如阜		歌舞伎（第一次）	第6号	明治33年9月 歌舞伎発行所 ※助高屋高助・沢村訥升の五段目につい て。
	鑑賞	近松研究会		『近松の研究』		明治33年11月 春陽堂 ※付録として「仮名手本忠臣蔵」所収。 ※合評形式。

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
堀越の戸無瀬及甘輝説	芸談		《9》市川団十郎	歌舞伎（第一次）	第8号	明治34年1月 歌舞伎発行所 ※勘平（《1》坂東家橋）について
福助の勘平評	鑑賞		《4》中村福助	歌舞伎（第一次）	第8号	明治34年1月 歌舞伎発行所 ※勘平（《1》坂東家橋）について
歌舞伎座十一月狂言の鳴物 [明治33・11歌舞伎座]	演出	永井素岳		歌舞伎（第一次）	第9号	明治34年2月 歌舞伎発行所 ※「高名忠臣蔵」として上演。
同人の勘平説	鑑賞		《3》片岡我當	歌舞伎（第一次）	第9号	明治34年2月 歌舞伎発行所 ※「高名忠臣蔵」として上演。
梅寿の形	鑑賞	かな井安善		歌舞伎（第一次）	第12号	明治34年5月 歌舞伎発行所 ※《3》尾上菊五郎のおかるについて。
斧定九郎	鑑賞	春塘		演芸世界	第5号	明治34年7月 演芸世界社 ※《1》中村仲蔵の定九郎について。
義士の討入	考証	さのじ		演芸世界	第7号	明治34年9月 演芸世界社 ※「武林唯七妻女の事」。
義士の悴	考証	緑水		演芸世界	第9号	明治34年11月 演芸世界社
東京座の忠臣蔵 [明治34・12東京座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第20号	明治35年1月 歌舞伎発行所
劇と音声	鑑賞	久保田米僊／談		歌舞伎（第一次）	第24号	明治35年5月 歌舞伎発行所 ※本蔵の尺八。
高師直	芸談	《5》尾上菊五郎／ 述 伊坂梅雪／編		『尾上菊五郎自 伝』		明治36年3月 時事新報社 ※高師直の型について（姿見の師直）。
高師直	芸談	《5》尾上菊五郎／ 述 伊坂梅雪／編		『五代目菊五郎自 伝』		昭和4年2月 先進社
高師直	芸談	《5》尾上菊五郎／ 述 伊坂梅雪／編		『五代尾上菊五 郎』		平成9年12月 日本図書センター
忠臣蔵見立料理	鑑賞	當四郎		演芸世界	第31号	明治36年9月 演芸世界社
勘平でない／赤穂義士と二代目 ／由良之助は四十余度／英語の 由良之助	芸談	松居真玄		『団州百話』		明治36年11月 金港堂書店
忠臣蔵の鳴物・鬘及衣裳 [明治37・4宮戸座]	演出	かはづ		歌舞伎（第一次）	第49号	明治37年5月 歌舞伎発行所
余が見たる三四月間の劇 [明治37・4宮戸座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第49号	明治37年5月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵研究会	鑑賞			歌舞伎（第一次）	第56号	明治37年12月 歌舞伎発行所
歌舞伎座前の郵便函 [明治37・11歌舞伎座]	劇評	上杉因幡		歌舞伎（第一次）	第56号	明治37年12月 歌舞伎発行所
十一月の劇壇 [明治37・11歌舞伎座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第56号	明治37年12月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其一	鑑賞	春の屋主人		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其二	型	竹の屋主人		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其三	型	久保田米僊		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其四〔由良之助・定九郎・勘平〕	型	幸堂得知		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其五〔由良之助〕	型	川尻宝岑		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其六	型	吉田国五郎		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其七〔由良之助・郷右衛門・判官〕	型	中村梅雀		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵に因みたる俳諧	鑑賞	塵の人／編		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て予が調査せる結果	研究	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵研究会	鑑賞			歌舞伎（第一次）	第57号	明治38年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其八	型	積善道人		歌舞伎（第一次）	第58号	明治38年2月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其九	型	吉田国五郎		歌舞伎（第一次）	第58号	明治38年2月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の型に就て 其十	型	松田竹嶼		歌舞伎（第一次）	第58号	明治38年2月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の川柳	鑑賞	百樹寄		歌舞伎（第一次）	第58号	明治38年2月 歌舞伎発行所
歌舞伎狂言 大星系図	研究	幸堂得知		歌舞伎（第一次）	第60号・第69号・第101号	明治38年4月・39年1月・41年12月 歌舞伎発行所 ※由良之助を演じた役者の系図、初役の年齢。
私の見た五六月中の興行物 [明治38・6市村座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第64号	明治38年8月 歌舞伎発行所
宮戸座の忠臣蔵 [明治38・8宮戸座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第65号	明治38年9月 歌舞伎発行所
昨年末の忠臣蔵 [明治38・11～12東京座／明治座／宮戸座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第69号	明治39年1月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵の型 其十四	研究	半紫痴		歌舞伎（第一次）	第71号	明治39年3月 歌舞伎発行所 ※大序・三・五・六・七段目 ※田舎芝居の珍型。
柳盛座の七段目 [明治39・12柳盛座]	劇評	すの字		歌舞伎（第一次）	第81号	明治40年1月 歌舞伎発行所
二月の劇壇 [明治40・2市村座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第83号	明治40年3月 歌舞伎発行所
四段目由良之助の型	型	ての字	由良之助（《2》中村駒助）判官 （《13》守田勘弥）	歌舞伎（第一次）	第84号	明治40年4月 歌舞伎発行所
五段目勘平の型 [明治40・2市村座]	型	清潭／編	《7》坂東三津五郎／校	歌舞伎（第一次）	第84号	明治40年4月 歌舞伎発行所
右団次一座の忠臣蔵 [明治40・3大阪弁天座]	劇評	保曾麿		歌舞伎（第一次）	第84号	明治40年4月 歌舞伎発行所
六段目勘平の型 [明治41・2市村座]	型	清潭／編	《7》坂東三津五郎・ 《8》尾上芙蓉／校	歌舞伎（第一次）	第85号	明治40年5月 歌舞伎発行所
忠臣蔵七段目の型	型	千尋舎／編		歌舞伎（第一次）	第85号	明治40年5月 歌舞伎発行所
芝居覚え帳	型	清潭生	勘平（《3》尾上菊五郎）	歌舞伎（第一次）	第86号	明治40年6月 歌舞伎発行所
東京座『忠臣蔵』の略型及評 [明治40・8東京座]	劇評	清潭生		歌舞伎（第一次）	第86号	明治40年6月 歌舞伎発行所
八月の劇壇 [明治40・8東京座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第86号	明治40年6月 歌舞伎発行所
八月の劇壇 [明治40・8宮戸座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第86号	明治40年6月 歌舞伎発行所
忠臣蔵一日替の評 [明治40・11歌舞伎座]	劇評	三木竹二		歌舞伎（第一次）	第92号	明治40年12月 歌舞伎発行所
「忠臣蔵」の補欠評 [明治40・11歌舞伎座]	劇評	関根黙庵		歌舞伎（第一次）	第93号	明治41年1月 歌舞伎発行所
歌舞伎座の忠臣蔵劇に於ける色彩の観察（上）（下） [明治40・11歌舞伎座]	研究	菅原教造		歌舞伎（第一次）	第93号・第94号	明治41年1月・5月 歌舞伎発行所
忠臣蔵 [明治40・11歌舞伎座]	見たまま	飯塚可笑	おかる（《5》中村芝翫）由良之助 （《15》市村羽左衛門）平右衛門 （《1》市川猿之助）	演芸画報	明治41・1	演芸画報社
忠臣蔵 [明治40・12宮戸座]	見たまま	との字生	若狭之助（市川鬼丸）本蔵 （《1》中村時蔵）	『「芝居見たまま」明治篇』	—	平成25年2月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書12」
平右衛門	芸談		《12》中村勘五郎	演芸画報	明治41・9	演芸画報社
早野勘平	芸談		《4》嵐芳三郎	演芸画報	明治41・9	演芸画報社
大星由良之助	芸談		《4》市川鬼丸	演芸画報	明治41・9	演芸画報社
演芸行脚・大阪 [明治41・7大阪弁天座]〔大序 ～四段目〕	型	川尻清潭	由良之助（《11》片岡仁左衛門）判官 （《4》片岡我童）師直 （《4》嵐璃珢）	演芸画報	明治41・9	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
演芸行脚・大阪 [明治41・7大阪弁天座] [四段目～七段目]	型	川尻清潭	由良之助(《11》片岡仁左衛門) 勘平(尾上多見之助) おかる(《4》中村芝雀) 平右衛門(《4》嵐璃珪)	演芸画報	明治41・11	演芸画報社
百村百花	演出	関根黙庵		歌舞伎(第一次)	第102号	明治42年1月 歌舞伎発行所
「忠臣蔵」と「勸進帳」の寿命	鑑賞	高安月郊		歌舞伎(第一次)	第102号	明治42年1月 歌舞伎発行所
雁次郎が勘平の型 [明治41・11神戸大黒座]	型	湊菊二	勘平(《1》中村鴈治郎)	歌舞伎(第一次)	第102号	明治42年1月 歌舞伎発行所
菊五郎の勘平秘事	型	梅外夢人		歌舞伎(第一次)	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所
「定九郎」の変遷	解説	伊原青々園		歌舞伎(第一次)	第104号	明治42年3月 歌舞伎発行所
宮戸座の「忠臣蔵」 [明治42・4宮戸座]	劇評	鈴木春浦		歌舞伎(第一次)	第106号	明治42年5月 歌舞伎発行所
判官とお軽	芸談	との字ノ記	《1》中村又五郎	歌舞伎(第一次)	第110号	明治42年9月 歌舞伎発行所
新富座合評 [明治42・8新富座]	合評	伊原青々園 伊坂梅雪		歌舞伎(第一次)	第110号	明治42年9月 歌舞伎発行所
一役一言 由良之助と師直	芸談		《3》中村歌六	演芸画報	明治42・9	演芸画報社
幕なしの忠臣蔵(1) [明治42・8新富座]	見たまま	巴之助	師直・由良之助(《3》中村歌六) 勘平(《7》沢村訥子) 判官・おかる(《1》中村又五郎)	演芸画報	明治42・9	演芸画報社
幕なしの忠臣蔵(承前) [明治42・8新富座]	見たまま			演芸画報	明治42・9	演芸画報社
八月の劇壇 [明治42・8新富座]	劇評	大愚堂清潭		演芸画報	明治42・9	演芸画報社
師直と由良之助	芸談	すの字ノ記	《2》市川左団次	歌舞伎(第一次)	第111号	明治42年10月 歌舞伎発行所
明治座の忠臣蔵 [明治42・9明治座]	劇評	幸堂得知		歌舞伎(第一次)	第111号	明治42年10月 歌舞伎発行所
一役一言 寺岡平右衛門	芸談		《1》中村又五郎	演芸画報	明治42・10	演芸画報社
九月の劇壇 [明治42・9明治座]	劇評	大愚堂清潭		演芸画報	明治42・10	演芸画報社
「忠臣蔵」と「四谷怪談」	芸談		《7》市川団蔵	歌舞伎(第一次)	第112号	明治42年11月 歌舞伎発行所
お岩とお紺[おかる]	芸談		《6》尾上梅幸	歌舞伎(第一次)	第112号	明治42年11月 歌舞伎発行所
東京座合評 [明治42・10東京座]	劇評	伊坂梅雪 伊原青々園		歌舞伎(第一次)	第112号	明治42年11月 歌舞伎発行所
団蔵の師直の型 [明治42・10東京座] [大序]	型	鈴木春浦	《7》市川団蔵	歌舞伎(第一次)	第112号	明治42年11月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
歌舞伎座の二日目 〔明治42・11歌舞伎座〕	劇評	伊原青々園		歌舞伎（第一次）	第113号	明治42年12月 歌舞伎発行所
名家真相録〈47〉〔切腹場の力弥〕	芸談		《13》守田勘弥	演芸画報	明治42・12	演芸画報社
自分の演じた物〔おかる〕	芸談	すの字ノ記	《6》尾上梅幸	歌舞伎（第一次）	第114号	明治43年1月 歌舞伎発行所
大道具の話（一）	演出	伊坂梅雪		歌舞伎（第一次）	第114号	明治43年1月 歌舞伎発行所
市川団蔵自伝〔昔の「忠臣蔵」〕	鑑賞	伊東雅朗	《7》市川団蔵	歌舞伎（第一次）	第114号	明治43年1月 歌舞伎発行所
七段目の騒唄	鑑賞	鈴木春浦		歌舞伎（第一次）	第114号	明治43年1月 歌舞伎発行所
おかる勘平	詩	北原白秋		歌舞伎（第一次）	第114号	明治43年1月 歌舞伎発行所
劇道虎の巻（三）〔判官切腹の心得〕	解説		清九郎	演芸画報	明治43・3	演芸画報社
団蔵が『忠臣蔵』の役々 （上）定九郎と勘平 〔明治41・7横浜喜楽座〕 （下）三段目の師直 〔明治42・10東京座〕	型	井手五州		歌舞伎（第一次）	第116号	明治43年3月 歌舞伎発行所
故団十郎の型〔茶屋場の由良之助・暫・男之助〕	型	《3》市川新十郎		歌舞伎（第一次）	第122号	明治43年8月 歌舞伎発行所
宮戸座八月の昼興行 仮名手本忠臣蔵通し狂言 〔明治43・8宮戸座〕	劇評	幸堂得知		演芸画報	明治43・9	演芸画報社
宮戸座の「忠臣蔵」 〔明治43・8宮戸座〕	劇評	前田芳柳		歌舞伎（第一次）	第124号	明治43年10月 歌舞伎発行所
初役の由良之助と其の他の役	芸談	すの字ノ記	《6》尾上菊五郎	歌舞伎（第一次）	第126号	明治43年12月 歌舞伎発行所 ※由良之助・平右衛門・勘平について。
「暫」と「忠臣蔵」の役々	芸談	すの字ノ記	《1》中村吉右衛門	歌舞伎（第一次）	第126号	明治43年12月 歌舞伎発行所
「忠臣蔵」と「暫」 〔明治43・11市村座〕	劇評	青々園		歌舞伎（第一次）	第126号	明治43年12月 歌舞伎発行所
劇談会 勘平の痣 〔明治43・11市村座〕	鑑賞	翠浪生	勘平・由良之助（《6》尾上菊五郎）	歌舞伎（第一次）	第126号	明治43年12月 歌舞伎発行所
劇談会 勘平の火縄	鑑賞	虎外子		歌舞伎（第一次）	第126号	明治43年12月 歌舞伎発行所
日く日く日く	鑑賞	幸堂得知		歌舞伎（第一次）	第126号	明治43年12月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
由良之助の駈付 [明治43・11市村座]	見たまま	鈴木春浦	由良之助（《6》尾上菊五郎）	歌舞伎（第一次）	第126号	明治43年12月 歌舞伎発行所 ※『歌舞伎の型』（昭和2年10月、歌舞伎出版部）に「忠臣蔵の四段目」として収録。
忠臣蔵一日替り 『高野の義人』と『暫』『忠臣蔵』 [明治43・11市村座]	劇評	鳥居清忠		演芸画報	明治43・12	演芸画報社
忠臣蔵一日替り 市村座見物 [明治43・11市村座]	劇評	鬼太郎		演芸画報	明治43・12	演芸画報社
勘平の夜討ちと喜多村の権八	鑑賞	山野芋作		歌舞伎（第一次）	第127号	明治44年1月 歌舞伎発行所
大星と勘平の型	型	菊二生	由良之助（《1》市川斎入）勘平（《2》市川右団次）	歌舞伎（第一次）	第128号	明治44年2月 歌舞伎発行所
横浜の珍妙「忠臣蔵」 [明治44・3横浜喜楽座]	劇評	長谷川芋作		歌舞伎（第一次）	第130号	明治44年4月 歌舞伎発行所
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	劇道研究会		『名劇二百種』		明治44年6月 金港堂書店
劇談会 判官と勘平の幽霊	鑑賞	旭光		歌舞伎（第一次）	第133号	明治44年7月 歌舞伎発行所
劇談会 亡父の型	鑑賞	参松	《5》関三十郎	歌舞伎（第一次）	第138号	明治44年12月 歌舞伎発行所
芝居妄言 [明治45・4真砂座／宮戸座]	劇評	閻太郎		演芸倶楽部	明治45・5	博文館
忠臣蔵新研究〈1〉 「忠臣蔵」雑話	鑑賞	あつみ		演芸画報	明治45・6	演芸画報社
忠臣蔵新研究〈2〉 故団蔵の師直の型	型	梨花庵主人	師直（《7》市川団蔵）	演芸画報	明治45・7	演芸画報社
忠臣蔵新研究〈2〉 石堂と薬師寺の扮装	鑑賞	有禄生		演芸画報	明治45・7	演芸画報社
忠臣蔵新研究〈2〉 「忠臣蔵」逸話	鑑賞	あつみ		演芸画報	明治45・7	演芸画報社
忠臣蔵新研究〈3〉 団十郎の由良之助の型 付・四段目の由良之助について	型	梨花庵主人 《3》市川新十郎	由良之助（《9》市川団十郎）	演芸画報	大正1・9	演芸画報社
忠臣蔵新研究〈4〉 故団蔵の勘平と定九郎の型	型	梨花庵主人	勘平・定九郎（《7》市川団蔵）	演芸画報	大正1・10	演芸画報社
忠臣蔵新研究〈4〉 義士劇のいろいろ	演出	あつみ		演芸画報	大正1・10	演芸画報社
帝劇見物記 [大正1・10帝国劇場]	劇評	鬼太郎		演芸画報	大正1・11	演芸画報社
暮れに見た芝居 宮戸座の「忠臣蔵」 [大正1・12宮戸座]	劇評	春浦生		歌舞伎（第一次）	第151号	大正2年1月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵新研究〈5〉 「忠臣蔵」の人々	鑑賞	門平		演芸画報	大正2・2	演芸画報社
忠臣蔵新研究〈6〉 現世俳優忠臣蔵役割	鑑賞	止丘斎		演芸画報	大正2・4	演芸画報社 ※幸堂得知の絶筆。
忠臣蔵新研究〈7〉 「忠臣蔵」の人々	鑑賞	門平		演芸画報	大正2・5	演芸画報社
「忠臣蔵」二段目、三段目の型 [大正2・7市村座]	型	森ほのほ		歌舞伎（第一次）	第158号	大正2年8月 歌舞伎発行所
「忠臣蔵」二段目、三段目の鳴物 [大正2・7市村座]	型	杵屋勝四郎		歌舞伎（第一次）	第158号	大正2年8月 歌舞伎発行所
秀鶴随筆	鑑賞	《1》中村仲蔵		『新燕石十種』	第三巻	大正2年10月 国書刊行会
秀鶴随筆	鑑賞	《1》中村仲蔵		『新燕石十種』	第五巻	昭和2年1月 広谷国書刊行会
秀鶴随筆	鑑賞	《1》中村仲蔵		『新燕石十種』	第八巻	昭和57年4月 中央公論社
宮戸座の珍型『忠臣蔵』 [大正2・9宮戸座]	型	春浦生		歌舞伎（第一次）	第160号	大正2年10月 歌舞伎発行所
七変化の延二郎 [大正3・4新富座]	劇評	浩々歌客		演芸画報	大正3・5	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵 装置図 [大正3・4新富座] [四～五段目居所替り]	演出			演芸画報	大正3・5	演芸画報社
新富座の忠臣蔵 延二郎の独七役 [大正3・4新富座]	劇評	森暁紅		演芸倶楽部	大正3・5	博文館
中車夜話〔定九郎〕	型	《7》市川八百蔵		演芸画報	大正3・6	演芸画報社
劇談会 珍な五段目の猪	鑑賞	吉山旭光		歌舞伎（第一次）	第172号	大正3年10月 歌舞伎発行所
定九郎と女衛 [大正3・9宮戸座]	劇評	伴雨子		歌舞伎（第一次）	第172号	※定九郎の型さまざま。
当代の由良之助役者 東西の由良之助役者	鑑賞	中内蝶二		演芸画報	大正3・11	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 部分的の一長一短	鑑賞	廣阿弥		演芸画報	大正3・11	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 誰でも結構	鑑賞	平木風介		演芸画報	大正3・11	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 強いて求むれば吉右衛門か	鑑賞	内藤鳴雪		演芸画報	大正3・11	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 当代の由良之助役者	鑑賞	永井鳳仙		演芸画報	大正3・11	演芸倶楽部
劇談会 猪の出ない五段目	鑑賞	吉山旭光		歌舞伎（第一次）	第173号	大正3年11月 歌舞伎発行所
四たびP夫人に [大正3・11帝国劇場]	劇評	伊原青々園		歌舞伎（第一次）	第174号	大正3年12月 歌舞伎発行所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
当代の由良之助役者 上々吉の由良之助を見る方法	鑑賞	佐々醒雪		演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 未来の宗十郎に	鑑賞	水谷幻花		演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 栄三郎に待ちたい	鑑賞	長谷川時雨		演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 当代の由良之助役者	鑑賞	島村民蔵		演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 止むを得ず延次郎を	鑑賞	水谷竹紫		演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 当代の由良之助役者	鑑賞	河竹繁俊		演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
当代の由良之助役者 由良之助にはまる役者	鑑賞	田村俊子		演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
第一等の儲役〔平右衛門〕	芸談		《5》市川小団次	演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
忠臣蔵ざらへ〔勘平〕	芸談	げきち／記	《5》尾上菊五郎	演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
名家芸談 「勘平」は亡父の型	芸談		《6》尾上梅幸	演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
名家芸談 「由良之助」と其味	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
名家芸談 「判官」と「お軽」の事共	芸談		《7》沢村宗十郎	演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
名家芸談 初役の「若狭之助」	芸談		《1》沢村宗之助	演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
帝劇の「忠臣蔵」 〔大正3・11帝国劇場〕	劇評	内藤鳴雪		演芸画報	大正3・12	演芸倶楽部
松つアんの九太夫 〔大正3・11帝国劇場〕	型	えむてい	九太夫（《4》尾上松助）	歌舞伎（第一次）	第175号	大正4年1月 歌舞伎発行所
劇談会 団十郎と由良之助	鑑賞	吉兵衛		歌舞伎（第一次）	第175号	大正4年1月 歌舞伎発行所
忠臣蔵の三役〔若狭之助・由良 之助・勘平〕	芸談		《1》中村鴈治郎	演芸画報	大正4・6	演芸倶楽部
新富座の忠臣蔵 〔大正4・5新富座〕	劇評	中内蝶二		演芸画報	大正4・6	演芸倶楽部
鴈治郎の三役 〔大正4・5新富座〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	大正4・6	演芸倶楽部
忠臣蔵雑草 〔大正4・5新富座〕	型	関根黙庵	由良之助（《1》中村鴈治郎）	演芸画報	大正4・7	演芸倶楽部
私の平右衛門	芸談		《2》中村梅玉	演芸画報	大正4・7	演芸倶楽部
師直と二人侍	芸談		《2》市川段四郎	演芸画報	大正4・7	演芸倶楽部
忠臣蔵スケッチ 〔大正4・5新富座〕	スケッチ	細井珊郎		演芸画報	大正4・7	演芸倶楽部
劇談会〔定九郎〕	鑑賞	△△△		演芸画報	大正5・7	演芸倶楽部
善いも悪いも所謂珍型（上） 〔由良之助〕	型	杉廣阿弥		演芸画報	大正5・11	演芸倶楽部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
善いも悪いも所謂珍型（下） 〔四・六・九段目〕	型	杉廣阿弥		演芸画報	大正5・12	演芸倶楽部
忠臣蔵と廓文章 〔大正5・11大阪浪花座〕	劇評	無極子		演芸画報	大正5・12	演芸倶楽部
浪花座印象記 〔大正5・11浪花座〕	劇評	香取染之助		新演芸	大正5・12	玄文社
楽屋訪問記〔勘平〕	型	鈴木春浦	《1》中村又五郎	演芸画報	大正6・1	演芸倶楽部
特集 九段目の研究 丸本の九段目	研究	岡本綺堂		演芸画報	大正6・11	演芸倶楽部
特集 九段目の研究 初役の本蔵	芸談		《11》片岡仁左衛門	演芸画報	大正6・11	演芸倶楽部
特集 九段目の研究 「九段目」の舞台と色彩	鑑賞	小山内薫		演芸画報	大正6・11	演芸倶楽部 ※『演劇論叢』上巻（昭和3年5月、宝文館）、『小山内薫演劇論全集』（昭和41年10月、未来社）に収録。
特集 九段目の研究 戸無瀬と云ふ役	芸談		《5》中村歌右衛門	演芸画報	大正6・11	演芸倶楽部
特集 九段目の研究 九段目の色と音	鑑賞	高安月郊		演芸画報	大正6・11	演芸倶楽部
高土間の隅より 〔大正6・9歌舞伎座〕	劇評	せいせつ		演芸画報	大正6・11	演芸倶楽部
市村座問答 〔大正6・11市村座〕	解説	亀屋東西		新演芸	大正6・12	玄文社 ※鳴物、着付などの解説。
淋しい市村座 〔大正6・11市村座〕	劇評	灰野庄平		演芸画報	大正6・12	演芸倶楽部
劇場風趣記 大国座の『忠臣蔵』 〔大正6・12大国座〕	劇評	咲谷この花		新演芸	大正7・1	玄文社
忠臣蔵年表	研究	今谷久平		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 遊女おかる	実説	三田村鳶魚		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 寺岡平右衛門	鑑賞	岡本綺堂		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 忠臣蔵を観て	鑑賞	半井桃水		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 忠臣蔵で最も悲劇的なのは	鑑賞	高安月郊		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 拍子木の打ち損じ	鑑賞	竹芝其水		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 忠臣蔵	鑑賞	徳田秋声		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 七段目由良之助の着附	鑑賞	久保田米斎		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 ほんの思付きを	芸談	清造／記	《2》実川延若	演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
「仮名手本忠臣蔵」雑話 名人団十郎と菊五郎	鑑賞	田村成義		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 忠臣蔵地方巡り	鑑賞	まんさく		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 勘平の紋服	芸談	清造／記 《6》尾上梅幸／談	勘平（《3》尾上菊五郎）	演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 由良之助難	鑑賞	水谷幻花		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 提灯無用	鑑賞	鳥居清忠 清造／記		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
「仮名手本忠臣蔵」雑話 「忠臣蔵」の寿命	鑑賞	伊原青々園		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
歌舞伎と明治 [大正7・11歌舞伎座]	劇評	鬼太郎		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
公園劇場の忠臣蔵 [大正7・11公園劇場]	劇評	畑中伝九郎		演芸画報	大正7・12	演芸倶楽部
演芸寒念仏	演出	町田白象		新演芸	大正7・12	玄文社
『忠臣蔵』の役々 [大正7・11歌舞伎座]	劇評			新演芸	大正7・12	玄文社
「忠臣蔵」の独参湯たる所以	鑑賞	青柳有美		演芸画報	大正8・1	演芸倶楽部
忠臣蔵のお軽	鑑賞	渡辺霞亭		演芸画報	大正9・1	演芸倶楽部
珍劇 豪いぞ勘平	演出	山野芋作		花形	大正9・3	玄文社 ※勘平の珍しい型、演出。
忠臣蔵偏痴気論	漫画	小川治平		演芸画報	大正10・5	演芸倶楽部
歌舞伎座「忠臣蔵」二人評 [大正10・4歌舞伎座]	劇評	川尻清潭 遠藤為春		演芸画報	大正10・5	演芸倶楽部
忠臣蔵と明治第一年 [大正10・4歌舞伎座]	劇評	伊原青々園		新演芸	大正10・5	玄文社
嵐璃瑠と『忠臣蔵』	鑑賞	竹原光三	勘平（《4》嵐璃瑠）	新演芸	大正10・12	玄文社
芝居遺跡 勘平さんの家	実説	水島爾保布		新演芸	大正11・5	玄文社
「忠臣蔵」を見て [大正11・6帝国劇場]	劇評	三宅周太郎		演芸画報	大正11・7	演芸倶楽部
イ 大正十一年六月帝劇所演 [大正11・6帝国劇場]	劇評			『歌舞伎研究』		昭和17年12月 拓南社
「忠臣蔵」を観て	鑑賞	長与善郎		新演芸	大正11・7	玄文社
芝居遺跡 山崎街道	実説	水島爾保布		新演芸	大正11・7	玄文社
帝劇の楽屋から 悲観の由良之助と達者な松つあん [大正11・6帝国劇場]	鑑賞	黒顔子		新演芸	大正11・7	玄文社
歌舞伎劇に現はれたる『悪』の 研究 忠臣蔵の「三悪」	研究	鳥三子		演芸画報	大正11・11	演芸倶楽部 ※師直・九太夫・伴内について。

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
中座の忠臣蔵 [大正13・3大阪中座]	劇評	中井浩水		演芸画報	大正13・4	演芸画報社
忠臣蔵漫話	解説	池田大伍		演劇新潮	大正13・4	新潮社 ※大正13・4～5合併号新緑号に再録。
中座の「忠臣蔵」を観る [大正13・3大阪中座]	劇評	志賀直哉		演劇新潮	大正13・4	新潮社
P夫人へ 忠臣蔵—粟田口—鳥目の上使— 聚楽物語—大安寺堤	鑑賞	伊原青々園		『棧敷から書齋へ』		大正13年7月 玄文社
忠臣蔵九段目 [大正13・6大阪中座]	見たまま	芙蓉男	本蔵（《11》片岡仁左衛門）戸無瀬（《2》実川延若）おいし（《3》坂東秀調）由良之助（《6》嵐吉三郎）	演芸画報	大正13・8	演芸画報社
本郷座見物記 [大正13・10本郷座]	劇評	佐藤春夫		新演芸	大正13・11	玄文社
古風な忠臣蔵 [大正13・12本郷座]	劇評	常磐今太郎		演芸画報	大正14・1	演芸画報社
過ぎにし物語—続編の十二 晩年の菊五郎	鑑賞	岡本綺堂		新演芸	大正14・1	玄文社
仮名手本忠臣蔵 [大正13・12本郷座]	劇評	伊原青々園 池田大伍 岡鬼太郎 岡田八千代 久保田万太郎 川尻清潭		新演芸	大正14・1	玄文社 ※芝居合評会第70回例会。
本郷座の「忠臣蔵」 [大正13・12本郷座]	劇評	三宅周太郎		演劇新潮	大正14・1	新潮社
口 同十三年末左団次の丸本による上演 [大正13・12本郷座]	劇評	三宅周太郎		『歌舞伎研究』		昭和17年12月 拓南社
「院本による古風な」仮名手本忠臣蔵 [大正13・12本郷座]	劇評			劇評	大正14・1	劇評社
忠臣蔵討入	鑑賞	三田村鳶魚		『鳶魚劇談』		大正14年9月 春陽堂 ※事実の究明と時代背景の考証。
鸚鵡石 仮名手本忠臣蔵（九段目山科閑居の場） [大正14・11歌舞伎座]	台本		本蔵（《7》市川中車）由良之助・戸無瀬（《5》中村歌右衛門）おいし（《3》坂東秀調）	歌舞伎（第二次）	大正14・11	歌舞伎発行所
山科閑居のいろいろ	考証	渥美清太郎		歌舞伎（第二次）	大正14・11	歌舞伎発行所
歌舞伎劇を取扱った落語—二段目—	落語	三遊亭円橘		演芸画報	大正15・4	演芸画報社
歌舞伎劇を取扱った落語—五段目—	落語	三遊亭円生		演芸画報	大正15・4	演芸画報社
歌舞伎座と本郷座の稽古場	鑑賞	鈴木春浦		演芸画報	大正15・5	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
本郷座四月狂言 忠臣蔵各段評 三段目見物 [大正15・4本郷座]	劇評	鬼太郎		演芸画報	大正15・5	演芸画報社
本郷座四月狂言 忠臣蔵各段評 四段目 [大正15・4本郷座]	劇評	伊原青々園		演芸画報	大正15・5	演芸画報社
本郷座四月狂言 忠臣蔵各段評 五段目評判 [大正15・4本郷座]	劇評	遠藤為春		演芸画報	大正15・5	演芸画報社
本郷座四月狂言 忠臣蔵各段評 忠臣蔵六段目 菊五郎の勘平 [大正15・4本郷座]	劇評	中内蝶二		演芸画報	大正15・5	演芸画報社
故名優忠臣蔵雑話 —本郷座菊五郎吉右衛門「忠臣 蔵」上演に因んで—	鑑賞	遠藤為春		演劇新潮	大正15・5	新潮社
大阪の忠臣蔵見物 [大正15・5大阪中座]	劇評	鬼太郎		演劇新潮	大正15・6	新潮社
仮名手本忠臣蔵一力の場 [大正15・9歌舞伎座]	梗概	二の字	由良之助（《7》市川中車）	歌舞伎（第二次）	大正15・9	歌舞伎出版部
七段目の由良之助	研究	伊原青々園		歌舞伎（第二次）	大正15・9	歌舞伎出版部
忠臣蔵	鑑賞	飯塚友一郎		『歌舞伎細見』		大正15年10月 第一書房
団・菊・左の七段目	型	遠藤為春		演芸画報	大正15・11	演芸画報社
清水一角と鷺坂伴内	実説	三田村鳶魚		『芝居ばなし』		昭和2年1月 宝文館
中村秀鶴絶句帖の中より	演出			演芸画報	昭和2・2	演芸画報社 ※三段目について。
忠臣蔵後日のいろいろ	鑑賞	渥美清太郎		『歌舞伎狂言往 来』		昭和2年6月 歌舞伎出版部
定九郎の失敗	芸談		《6》大谷友右衛門	芝居	昭和2・8	日本演劇社
五段目（一幕）	鑑賞	岡鬼太郎		劇と評論	昭和2・9	劇と評論社
舞台のおもかげ・忠臣蔵七段目 [昭和2・11帝国劇場]	見たまま	尾山蒼海	師直・由良之助・千崎（《7》松 本幸四郎）	演芸画報	昭和2・11	演芸画報社
忠臣蔵今と昔 大歌舞伎の忠臣蔵 [昭和2・11帝国劇場]	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和2・12	演芸画報社
忠臣蔵今と昔 忠臣蔵昔話	解説	今谷久平		演芸画報	昭和2・12	演芸画報社
梅の下風〈12〉 忠臣蔵の話〔顔世・おかる〕	芸談		《6》尾上梅幸	演芸画報	昭和2・12	演芸画報社
梅の下風〈12〉 忠臣蔵の話	芸談	《6》尾上梅幸 井口政信		『梅の下風』		昭和5年11月 法木書店

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
梅の下風〈12〉 忠臣蔵の話	芸談	《6》尾上梅幸 井口政信		『梅の下風』		昭和28年10月 演劇出版社 ※『女形の芸談』（昭和63年11月、演劇出版社）に収録。
新春演芸笑話 忠臣蔵のお笑ひ	鑑賞	井手蕉雨		演芸画報	昭和3・1	演芸画報社
梅の下風〈14〉 足利と大星の紋〔おかる〕	芸談		《6》尾上梅幸	演芸画報	昭和3・2	演芸画報社
梅の下風〈14〉 足利と大星の紋	芸談	《6》尾上梅幸 井口政信		『梅の下風』		昭和5年11月 法木書店
梅の下風〈14〉 足利と大星の紋	芸談	《6》尾上梅幸 井口政信		『梅の下風』		昭和28年10月 演劇出版社 ※『女形の芸談』（昭和63年11月、演劇出版社）に収録。
帝劇の「忠臣蔵」／院本の「忠臣蔵」／帝劇（三度目）の「忠臣蔵」と清水一角	鑑賞	三宅周太郎	由良之助（《7》松本幸四郎）若狭之助（《13》守田勤弥）勘平・平右衛門（《15》市村羽左衛門）源六・九太夫（《4》尾上松助）顔世・おかる（《6》尾上梅幸）	『演劇評話』		昭和3年3月 新潮社
ハ 昭和二年十一月帝劇所演 〔昭和2・11帝国劇場〕	鑑賞			『歌舞伎研究』		昭和17年12月 拓南社
長谷川勘兵衛実話〈4〉	演出	安部豊／記	由良之助・与市兵衛（《4》市川小団次）	演芸画報	昭和3・6	演芸画報社 ※居所替り、四段目由良之助から五段目与市兵衛への早替り。
猿若町の思出〈9〉	演出	長谷川勘兵衛	定九郎（《5》松本幸四郎）	演芸画報	昭和3・12	演芸画報社
本郷の忠臣蔵 〔昭和3・11本郷座〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和3・12	演芸画報社
正しく冗なき歌舞伎の観方 舞台上の忠臣蔵	解説	鬼太郎		演芸画報	昭和4・1	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵 〔昭和4・2歌舞伎座〕	見たまま	英之助 勇二郎		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
仮名手本忠臣蔵と赤穂義士 役者の事	考証	渡辺世祐		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
忠臣蔵問答	解説	渥美清太郎		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
忠臣蔵と歌舞伎座	考証	谷口梨花		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
『忠臣蔵』以前の義士劇	解説	遠藤為春		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
赤穂浪士本懐後の結末	考証	黒木勘蔵		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
忠臣蔵鳴物座談会	考証	編輯子		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
	演出	福原鶴三郎 杵屋栄二 福原百之助		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
忠臣蔵と其浄瑠璃	芸談	豊竹巖太夫		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
忠臣蔵十首	鑑賞	木村富子		歌舞伎（第二次）	昭和4・2	歌舞伎出版部
忠臣蔵の各役について	演出			演芸画報	昭和4・3	演芸画報社 ※『古今いろは評林』『忠臣蔵偏癡氣論』からの抜粋。

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
仮名手本忠臣蔵各段評 大序 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和4・3	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵各段評 三段目 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	中内蝶二		演芸画報	昭和4・3	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵各段評 塩治判官の切腹芝居 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	三島霜川		演芸画報	昭和4・3	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵各段評 現代的な落人 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	小寺融吉		演芸画報	昭和4・3	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵各段評 五段目 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	田村西男		演芸画報	昭和4・3	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵各段評 六段目 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	本山荻舟		演芸画報	昭和4・3	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵各段評 新手の「七段目」 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		演芸画報	昭和4・3	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵各段評 討入 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	渥美清太郎		演芸画報	昭和4・3	演芸画報社
二 昭和四年二月好奇心「忠臣蔵」 [昭和4・2歌舞伎座]	劇評			『歌舞伎研究』		昭和17年12月 拓南社
昭和四年当座上演芝居の回顧 忠臣蔵の通し [昭和4・2歌舞伎座]	劇評	伊原青々園		歌舞伎（第二次）	昭和5・1	歌舞伎出版部
明治座所感 [昭和4・7明治座]	劇評	弘津千代		演芸画報	昭和4・8	演芸画報社 ※《1》吉右衛門の勘平について。
明治座の忠臣蔵 [昭和4・7明治座]	劇評	岡鬼太郎		『鬼言冗語』		昭和10年4月 岡倉書房
我童の勘平その他 —夏の松島八千代座— [昭和4・8大阪松島八千代座]	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第三輯	昭和4年8月 演芸月刊社
早替り種明かし全集	演出	馬場武		演芸画報	昭和4・9	演芸画報社 ※五段目について。
「忠臣蔵」以前の義士劇／歌舞伎劇と国民性	鑑賞	黒木勲蔵		『近世演劇考説』		昭和4年11月 六合館
忠臣蔵錦絵集	研究	渥美清太郎		演芸画報	昭和4・12	演芸画報社
分類歌舞伎史	演出	浜村米蔵		演芸画報	昭和5・1	演芸画報社
歌舞伎演技史						
師走芝居胸勘定 [昭和4・12新宿新歌舞伎座]	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和5・1	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵十二場 [昭和4・12新宿新歌舞伎座]	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎と文楽』		昭和18年5月 三田文学出版部
新歌舞伎座の忠臣蔵 [昭和4・12新宿新歌舞伎座]	劇評	岡鬼太郎		『鬼言冗語』		昭和10年4月 岡倉書房
駈け足の忠臣蔵 —中座の鷹治郎と幸四郎勘弥— [昭和5・2大阪中座]	劇評	石割松太郎		演芸月刊	第九輯	昭和5年2月 演芸月刊社
「仮名手本忠臣蔵」討入の場／ 「仮名手本忠臣蔵」七段目 祇園 —力茶屋の場／「仮名手本忠臣 蔵」六段目 勘平住居の場	鑑賞	林次忠		『舞台と史蹟』		昭和5年3月 朝日新聞社
帝劇の忠臣蔵 花見月の忠臣蔵 [昭和5・4帝国劇場]	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和5・5	演芸画報社
帝劇の忠臣蔵 二小障害の「忠臣蔵」 [昭和5・4帝国劇場]	劇評	三宅周太郎		演芸画報	昭和5・5	演芸画報社
父の叱言〔定九郎〕	芸談		《2》市川猿之助	演芸画報	昭和5・5	演芸画報社
芝居見物講話	解説	川尻清潭		演芸画報	昭和5・11	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵 序から四段目まで	解説	三島霜川		演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
忠臣蔵壺中我観 五段目から七段目まで	解説	渥美清太郎		演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵芸談 師直と平右衛門	芸談		《7》市川中車	演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵芸談 —文字屋おさい	芸談		《4》沢村源之助	演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵芸談 おかるは新しい女	芸談		《6》尾上梅幸	演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵芸談 勘平と石堂	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵芸談 由良之助と定九郎と千崎	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵芸談 判官と判人源六	芸談		《6》尾上菊五郎	演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
歌舞伎座入場記	鑑賞	笹塚普衛		演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
忠臣蔵の楽屋放送	鑑賞	山本三茶		演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
歌舞伎座霜月興行 [昭和5・11歌舞伎座]	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和5・12	演芸画報社
歌舞伎座の忠臣蔵 [昭和5・11歌舞伎座]	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎と文楽』		昭和18年5月 三田文学出版部
へ 同五年十一月 正系「忠臣蔵」 [昭和5・11歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		『歌舞伎研究』		昭和17年12月 拓南社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵春秋 鑑賞上の種々相 八段目～十段目	解説	伊原青々園		演芸画報	昭和6・2	演芸画報社
忠臣蔵春秋 戸無瀬とおその	芸談		《6》尾上梅幸	演芸画報	昭和6・2	演芸画報社
忠臣蔵春秋 小浪と山三	芸談		《7》沢村宗十郎	演芸画報	昭和6・2	演芸画報社
忠臣蔵春秋 加古川本蔵	芸談		《7》市川中車	演芸画報	昭和6・2	演芸画報社
私の持役〔由良之助〕	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	昭和6・2	演芸画報社
忠臣蔵春秋 力弥・一角・伊左衛門	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和6・2	演芸画報社
忠臣蔵春秋 天河屋義平	芸談		《2》市川左団次	演芸画報	昭和6・2	演芸画報社
歌舞伎座の忠臣蔵 〔昭和6・1歌舞伎座〕	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和6・2	演芸画報社 ※八～十段目評。
歌舞伎座の忠臣蔵 〔昭和6・1歌舞伎座〕	劇評	岡鬼太郎		『鬼言冗語』		昭和10年4月 岡倉書房
冥府通信 無線電話(4)	演出	花水庵		演芸画報	昭和6・6	演芸画報社 ※由良之助・薬師寺・顔世・直義について。
判官と勘平	芸談		《4》中村福助(高砂屋)	演芸画報	昭和6・6	演芸画報社
又々忠臣蔵 〔昭和6・5明治座〕	劇評	山崎紫紅		演芸画報	昭和6・6	演芸画報社 ※通し。
院本の『忠臣蔵』 〔昭和6・5明治座〕	劇評	本間久雄		『歌舞伎』		昭和22年12月 天絃社
実説・加古川本蔵	実説	本山荻舟		演芸画報	昭和6・9	演芸画報社
「仮名手本忠臣蔵」に就いて	鑑賞	増田七郎		『岩波講座日本文学』	第九卷	昭和6年12月 岩波書店
歌舞伎座顔見世狂言評判記 「判官」を主に 〔昭和6・11歌舞伎座〕	劇評	三宅周太郎		演芸画報	昭和6・12	演芸画報社
前進座の忠臣蔵 〔昭和7・2市村座〕	劇評	奈河正阿弥		演芸画報	昭和7・3	演芸画報社
「忠臣蔵に於ける加役」	鑑賞	山田忠一 演劇史学会／編		『演劇史研究Ⅰ』		昭和7年4月 第一書房
京都南座の通し忠臣蔵 鷹治郎と吉右衛門 〔昭和7・3京都南座〕	劇評	森ほのほ		演芸画報	昭和7・4	演芸画報社
忠臣蔵今昔物語	考証	渥美清太郎		演芸画報	昭和7・6	演芸画報社
忠臣蔵役々評判 吉右衛門の三役 〔昭和7・5歌舞伎座〕	劇評	本山荻舟		演芸画報	昭和7・6	演芸画報社
忠臣蔵役々評判 幸四郎の師直と石堂 〔昭和7・5歌舞伎座〕	劇評	高沢初風		演芸画報	昭和7・6	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵役々評判 判官とおかる [昭和7・5歌舞伎座]	劇評	中内蝶二		演芸画報	昭和7・6	演芸画報社
忠臣蔵役々評判 彦三郎・友右衛門・三津五郎 [昭和7・5歌舞伎座]	劇評	山本柳葉		演芸画報	昭和7・6	演芸画報社
忠臣蔵役々評判 時蔵の顔世 [昭和7・5歌舞伎座]	劇評	今谷久平		演芸画報	昭和7・6	演芸画報社
忠臣蔵役々評判 菊五郎の演技 [昭和7・5歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演芸画報	昭和7・6	演芸画報社
「忠臣蔵に於ける敵役」	鑑賞	山田忠一 演劇史学会／編		『演劇史研究Ⅱ』		昭和7年10月 第一書房
『忠臣蔵』その他	鑑賞	中村吉蔵		芸術殿	昭和8・2	梓書房
千本桜、菅原、忠臣蔵	鑑賞	大村嘉代子		芸術殿	昭和8・3	梓書房
	鑑賞	岡本綺堂 額田六福		『家庭日本芝居物語 仮名手本忠臣蔵 (竹田出雲)』		昭和8年4月 富山房 ※一・二・三・四・五・六・七・九・十一 ※全て現代語訳。 ※解題を付す。
忠臣蔵	鑑賞			『日本芝居物語』		昭和24年8月 富山房
「忠臣蔵」と「堂島繁昌記」 [昭和8・10大阪大阪歌舞伎座]	劇評	森ほのほ		演芸画報	昭和8・11	演芸画報社
歌舞伎狂言と俳優の相関性	解説	三島霜川		演芸画報	昭和9・1	演芸画報社
「忠臣蔵」鑑賞／忠臣蔵七人女 ／其一 顔世御前／其二 となせ と小浪／其三 大星妻お石／其四 天川屋女房お園／其五 お軽と其 母	鑑賞	伊原青々園		『演劇談義』		昭和9年4月 岡倉書房
	鑑賞	田村栄太郎		『忠臣蔵物語』		昭和9年8月 白楊社
鬘秘話(二)	演出	松田青楓		舞台	昭和9・9	舞台社 ※「権太と勘平の捌き」「勘平の鬘」。
忠臣蔵評判記 [昭和9・10東京劇場]	劇評	渥美清太郎		演芸画報	昭和9・11	演芸画報社
歌舞伎劇のクライマックス(城 渡し)	解説	久保琴舟		演芸画報	昭和10・1	演芸画報社
舞台上で困った面白い話 生き返った判官	芸談		《6》尾上菊五郎	演芸画報	昭和10・1	演芸画報社
舞台上で困った面白い話 数蚊の襲来	芸談		《6》市川寿美蔵	演芸画報	昭和10・1	演芸画報社
舞台上で困った面白い話 風で飛んだ金包	芸談		《3》尾上多賀之丞	演芸画報	昭和10・1	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
舞台で困った面白い話 顔世の花櫛	芸談		《3》中村時蔵	演芸画報	昭和10・1	演芸画報社
新手の「七段目」	鑑賞	三宅周太郎		『演劇巡礼』		昭和10年5月 中央公論社
忠臣蔵偏痴気論	漫画	小川治平		演芸画報	昭和10・5	演芸画報社
冥府通信 無線電話〈16〉	鑑賞	花水庵		演芸画報	昭和10・7	演芸画報社 ※明治22年3月桐座、団・菊・左一日替りの七段目について。
新橋演舞場一日替りの忠臣蔵評判記 [昭和10・6新橋演舞場]	劇評	渥美清太郎		演芸画報	昭和10・7	演芸画報社
関西大歌舞伎を見るの記 [昭和10・6京都南座]	劇評	森ほのほ		演芸画報	昭和10・7	演芸画報社 ※八段目。
上方風の忠臣蔵 [昭和10・6大阪浪花座]	劇評	高谷伸		演芸画報	昭和10・7	演芸画報社
青年歌舞伎 [昭和10・6新橋演舞場]	劇評	小林宗吾		舞台	昭和10・7	舞台社
仮名手本忠臣蔵 大序 鶴ヶ岡の兜改め・師直の横恋慕・第二 若狭助の決心・本蔵の松切り・第三 殿中の刃傷・勘平の失態・第四 判官の切腹・由良助の決意・第五 与市兵衛の死・定九郎の最期・第六 おかるの身売・勘平の切腹・第七 由良助の遊興・平右衛門の誠忠・第八 道行旅路の嫁入・第九 山科の閑居・本蔵の最期・第十 義平の俠気・おそのの悲嘆・第十一 義士討入・本望成就	鑑賞	藤村作／訳 坪内逍遙・上田萬年・藤村作／編輯 顧問		『物語日本文学 第二十三巻』		昭和10年8月 至文堂 ※全て現代語訳（藤村作）。 ※註解、解説（藤村作）を付す。
	鑑賞	藤村作		『物語近世文学 第八巻 浄瑠璃名作集』		昭和15年12月 雄山閣
歌舞伎往来 忠臣蔵の型いろいろ	演出	伊原青々園		演芸画報	昭和10・9	演芸画報社
目黒談話	鑑賞	川尻清潭	《7》市川中車	『名優芸談』		昭和11年1月 中央公論社 ※五段目について。
中座の忠臣蔵 [昭和11・1大阪中座]	劇評	高井金作		演芸画報	昭和11・2	演芸画報社
大阪中座の忠臣蔵 [昭和11・1大阪中座]	劇評	堂本寒星		劇場	昭和11・2	劇場社
宗十郎と延三郎—九段目・戸無瀬と小浪	スケッチ	中村貞以		劇場	昭和11・2	劇場社
歌舞伎往来〈其四〉 「忠臣蔵」雑感	解説	岡本綺堂		演芸画報	昭和11・4	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
仮名手本忠臣蔵の芸談 判官と勘平	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵の芸談 若狭之助・由良之助・定九郎	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵の芸談 顔世御前とおかる	芸談		《12》片岡仁左衛門	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵の芸談 師直・平右衛門	芸談		《2》実川延若	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵の芸談 九太夫・牧山・安兵衛	芸談		《2》河原崎権十郎	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵の芸談 直義・薬師寺・千崎	芸談		《5》市川三升	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵の芸談 一文字屋おさい	芸談		《3》尾上多賀之丞	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵の芸談 母おかや	芸談		市川莚女	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵の芸談 忠臣蔵のお囃子	芸談		福原鶴太郎	演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
極楽劇談 無線有線 (3)	劇評	花水庵		演芸画報	昭和11・4	演芸画報社 ※明治30年6月歌舞伎座、7月宮戸座公演など。
通し狂言忠臣蔵 [昭和11・3歌舞伎座]	劇評	山崎紫紅		演芸画報	昭和11・4	演芸画報社
仮名手本忠臣蔵 [昭和11・3歌舞伎座]	劇評	小林宗吾		舞台	昭和11・4	舞台社
南座の忠臣蔵芸談 顔世・勘平・本蔵	芸談		《3》中村梅玉	演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
南座の忠臣蔵芸談 私の由良之助	芸談		《2》実川延若	演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
南座の忠臣蔵芸談 おかるの好み	芸談		《1》中村魁車	演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
南座の忠臣蔵芸談 与一兵衛と伴内	芸談		《2》市川箱登羅	演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
南座の忠臣蔵芸談 六段目のおかや	芸談		市川莚女	演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
南座の忠臣蔵芸談 忠臣蔵の役々	芸談		《4》市川市蔵	演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
南座の忠臣蔵芸談 戸無瀬の腹	芸談		《7》沢村宗十郎	演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
南座の忠臣蔵芸談 又平と本蔵と	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	昭和11・6	演芸画報社
東京劇場見物 [昭和11・6東京劇場]	劇評	安部豊		演芸画報	昭和11・7	演芸画報社
歌曲反古しらべ〔落人〕	演出	渥美清太郎		舞台	昭和11・8	舞台社
演劇大全 (十五)〔大序～十一 段目〕	演出	関根黙庵		舞台	昭和11・8	舞台社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
関西の忠臣蔵の演出(上) / (中)	演出	森ほのほ		舞台	昭和11・8~9	舞台社 ※(上)大序・進物場・喧嘩場・落人 / (中)判官切腹・城渡し。
忠臣蔵の役々	芸談	井口政治 / 編	《7》松本幸四郎	『松のみと里 琴松 芸談』		昭和12年3月 法木書店
「忠臣蔵四段目の由良之助役」 / 「く菅原」とく忠臣蔵の改作」	鑑賞	東京帝国大学演劇史研究学会 / 編		『日本演劇史論叢』		昭和12年5月 巧芸社
仮名手本忠臣蔵概説	解説	増田七郎		国文学 解釈と鑑賞	第2巻第5号	昭和12年5月 至文堂
敵討狂言としての仮名手本忠臣蔵	研究	鶴見誠		国文学 解釈と鑑賞	第2巻第5号	昭和12年5月 至文堂
仮名手本忠臣蔵に描かれた女性	研究	浦山政雄		国文学 解釈と鑑賞	第2巻第5号	昭和12年5月 至文堂
忠臣蔵が独参湯になるわけ	鑑賞	守随憲治		国文学 解釈と鑑賞	第2巻第5号	昭和12年5月 至文堂
忠臣蔵備忘録	考証	渥美清太郎		演芸画報	昭和12・11	演芸画報社
歳暮劇談会 忠臣蔵の珍型	型	或る中年の好劇家		演芸画報	昭和12・12	演芸画報社
定九郎談義	芸談		《6》尾上菊五郎	演芸画報	昭和12・12	演芸画報社
若狭之助と勘平	芸談		《15》市村羽左衛門	演芸画報	昭和12・12	演芸画報社
続魁玉夜話〈13〉 [判官・由良之助・定九郎・勘平]	芸談		《5》中村歌右衛門	演芸画報	昭和12・12	演芸画報社
歌舞伎座 忠臣蔵と船弁慶 [昭和12・11歌舞伎座]	劇評	山崎紫紅		演芸画報	昭和12・12	演芸画報社 ※判官を中心に由良之助・定九郎・勘平について。
娑婆極楽 無線情報	演出	花水庵		演芸画報	昭和12・12	演芸画報社 ※古名優の役々の演出について。
歌舞伎座の顔見世 [昭和12・11歌舞伎座]	劇評	大村嘉代子		舞台	昭和12・12	舞台社
続魁玉夜話〈19〉第一劇場の舞台稽古 [昭和13・3新宿第一劇場] [落人]	芸談		《5》中村歌右衛門	演芸画報	昭和13・4	演芸画報社
どうでもいゝ事	演出	坂本猿冠者		舞台	昭和13・7	舞台社 ※定九郎の傘の持ち方等。
えせ物語 [昭和13・7本所寿劇場]	劇評	鬼太郎		演芸画報	昭和13・8	演芸画報社
忠臣蔵断片	演出	田島断		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社 ※城渡しの引道具について。
もう一度見直す忠臣蔵 今昔忠臣蔵似顔絵	鑑賞	中川梅美		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
もう一度見直す忠臣蔵 忠臣蔵おぼえ書 [昭和13・10歌舞伎座]	劇評	伊原青々園		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
もう一度見直す忠臣蔵 ロシヤの忠臣蔵	芸評	池田大伍		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
もう一度見直す忠臣蔵 忠臣蔵漫談 [昭和13・10歌舞伎座]	劇評	山崎紫紅		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
もう一度見直す忠臣蔵 忠臣蔵の今後	鑑賞	高安月郊		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
もう一度見直す忠臣蔵 浅草忠臣蔵の思ひ出	鑑賞	小谷青楓		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
忠臣蔵新型旧型 由良之助と師直	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
忠臣蔵新型旧型 国策忠臣蔵	芸談		《2》実川延若	演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
忠臣蔵新型旧型 判官と戸無瀬	芸談		《3》中村梅玉	演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
忠臣蔵新型旧型 おかるの衣裳	芸談		《1》中村魁車	演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
忠臣蔵新型旧型 斬られた伴内	芸談		《2》市川箱登羅	演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
続魁玉夜話〈26〉〔おかる・判官・平右衛門〕	芸談		《5》中村歌右衛門	演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
もう一度見直す忠臣蔵 義士劇で活躍する人々	考証	渥美清太郎		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
もう一度見直す忠臣蔵 忠臣蔵独参湯原因考察	鑑賞	車谷是介		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社
東西忠臣蔵くらべ	鑑賞			演芸画報	昭和13・11	演芸画報社 ※歌舞伎座・大阪歌舞伎座・文楽座。
仮名手本忠臣蔵 [昭和13・10大阪大阪歌舞伎座]	劇評	森ほのほ		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社 ※大序～六段目。
大阪歌舞伎座の忠臣蔵 [昭和13・10大阪大阪歌舞伎座]	劇評	高谷伸		演芸画報	昭和13・11	演芸画報社 ※七段目～十一段目。
忠臣蔵 [昭和13・10歌舞伎座]	劇評	松野緑		舞台	昭和13・11	舞台社
上方系の「忠臣蔵」 延若の勘平について [昭和13・10大阪大阪歌舞伎座]	劇評	山口廣一		『大阪の芝居』		昭和17年12月 輝文館
劇壇出世物語 仲蔵新型物語	小説	武島十郎	定九郎（《1》中村仲蔵）	演芸画報	昭和14・1	演芸画報社
劇壇出世物語 （四世）小団次・厨子の秘仏	小説	武島十郎	千崎（《4》市川小団次）	演芸画報	昭和14・1	演芸画報社
三都芝居見物記 [昭和14・1京都南座]	劇評	安部豊		演芸画報	昭和14・2	演芸画報社
お軽・勘平の戸籍調べ	考証	松田竹の島人		演芸画報	昭和14・5	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
大阪二座見物記 [昭和14・4大阪中座]	劇評	豊島日出吉		演芸画報	昭和14・5	演芸画報社
今度上演の忠臣蔵	芸談		《4》河原崎長十郎	演芸画報	昭和14・6	演芸画報社
冥府演劇通話〈4〉	演出	草の屋主人		演芸画報	昭和14・7	演芸画報社 ※忠臣蔵の演出について。
忠臣蔵芸談 今度の三役早替り	芸談		《2》実川延若	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
忠臣蔵芸談 若狭之助・数右衛門・平右衛門	芸談		《3》阪東寿三郎	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
忠臣蔵芸談 顔世と勘平	芸談		《7》沢村宗十郎	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
忠臣蔵芸談 石堂と千崎	芸談		《5》市川三升	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
忠臣蔵芸談 判官とお軽	芸談		《12》片岡仁左衛門	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
忠臣蔵芸談 師直・由良之助	芸談		《4》河原崎長十郎	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
忠臣蔵芸談 お軽	芸談		《5》河原崎国太郎	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
忠臣蔵芸談 私の三役	芸談		《3》中村翫右衛門	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
忠臣蔵芸談 勘平と顔世	芸談		《5》嵐芳三郎	演芸画報	昭和14・7	演芸画報社
両座の忠臣蔵見物 [昭和14・6明治座／新橋演舞場]	劇評	安部豊		演芸画報	昭和14・7	演芸画報社 ※演出の相違点を中心とした細評。
明治座の忠臣蔵 [昭和14・6明治座]	劇評	北条秀司		舞台	昭和14・7	舞台社
鉢合せ忠臣蔵（上）（下） [昭和14・6明治座／新橋演舞場]	劇評	岡鬼太郎		『歌舞伎眼鏡』		昭和18年3月 新大衆社
歌舞伎に現はれた三平と理兵衛	研究	南木芳太郎		上方	第108号	昭和14年12月 創元社 ※「赤穂義士号」。 ※復刻版「郷土芸能上方」9（昭和45年9月、新和出版社）に収録。
赤穂義士劇類聚年表（元禄—明治）	研究	秋葉芳美		上方	第108号	昭和14年12月 創元社 ※「赤穂義士号」。 ※復刻版「郷土芸能上方」9（昭和45年9月、新和出版社）に収録。
初段の師直	芸談		《6》尾上菊五郎	演芸画報	昭和15・4	演芸画報社
型は整理さるべし [昭和15・10大阪大阪歌舞伎座]	劇評	山口廣一		演芸画報	昭和15・11	演芸画報社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
	鑑賞	増田七郎		『忠臣蔵』		昭和15年12月 弘文堂書房
若手のはなし 七段目の由良之助〔師直・薬師 寺・由良之助〕	芸談		《7》坂東薪水	演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
若手のはなし 右馬之丞・弥五郎	芸談		《2》尾上九朗右衛門	演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
若手のはなし 私の三役〔若狭之助・勘平〕	芸談		《15》市村家橘	演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
若手のはなし 大役四つ〔道行のおかる・判 官・お才〕	芸談		《3》尾上菊之助	演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
若手のはなし 古風な伴内	芸談		市村太郎	演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
若手のはなし 四段目の由良之助	芸談		《2》尾上松緑	演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
若手のはなし 顔世とお軽	芸談		《6》中村福助	演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
涙・涙の忠臣蔵 〔昭和15・11歌舞伎座〕	劇評	岡田八千代		演芸画報	昭和15・12	演芸画報社
続々魁玉夜話〈17〉〔戸無瀬〕	型		《5》中村歌右衛門	演芸画報	昭和16・2	演芸画報社
	鑑賞	武智鐵二		『かりの翅』		昭和16年8月 千歳書房 ※「忠臣蔵」に関する様々な劇評。
	鑑賞	武智鐵二		『かりの翅』		昭和44年2月 学芸書林
白鷺夜話〈2〉〔由良之助・平右 衛門〕	芸談		《7》松本幸四郎	演芸画報	昭和16・8	演芸画報社
歌舞伎会を観る 〔昭和16・7歌舞伎座〕	劇評	草村春二		演芸画報	昭和16・8	※一日替りの若手「七段目」。
新演出と珍型—歌右衛門と七代 目團十郎—	型	今谷久平		演芸画報	昭和16・12	演芸画報社
新演出と珍型—横浜の珍型—	型	常磐半峰		演芸画報	昭和16・12	演芸画報社
舞踊鑑賞手引草（三） 落人	解説	渥美清太郎		演芸画報	昭和17・4	演芸画報社
中座の「忠臣蔵」 〔昭和17・4大阪中座〕	劇評	富田泰彦		演芸画報	昭和17・5	演芸画報社
「仮名手本忠臣蔵」の形態／合 作時代の代表作「菅原伝授手習 鑑」と「仮名手本忠臣蔵」の構 成形式／最大の代表的復讐物 「仮名手本忠臣蔵」の局面／ 「仮名手本忠臣蔵」の劇的性格 ／「祇園茶屋」の措辞の一考察 ／道行「旅路の嫁入」の文体	鑑賞	中村吉蔵		『日本戯曲技巧 論』		昭和17年7月 中央公論社
「仮名手本忠臣蔵」鑑賞の葉	解説	渥美清太郎		演芸画報	昭和17・7	演芸画報社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
大阪で不評／多見蔵の由良之助 ／五段目の猪 師直の替へ玉／ 師直、由良之助、勘平／師直と 勘平の余談／大阪で忠臣蔵／七 段目／伊丹屋の判官／顔世につ いて／平右衛門の拵へ／「六段 目」へ源蔵／定九郎、勘平、編 蝠安／師直、直助／若狭之助で 出した「忠臣蔵」	芸談	河竹繁俊／校註	《4》市川九蔵	『七世市川団蔵』		昭和17年10月 石原求竜堂
仮名手本忠臣蔵 [昭和17・10歌舞伎座]	劇評	戸板康二		『丸本歌舞伎』		昭和24年3月 和敬書店
さしかへ「忠臣蔵」 [昭和17・11歌舞伎座]	劇評	本山荻舟		演芸画報	昭和17・12	演芸画報社
重要な現存脚本	鑑賞	渥美清太郎		『歌舞伎大全』		昭和18年4月 新大衆社
大阪歌舞伎座の忠臣蔵 [昭和18・2大阪大阪歌舞伎座]	劇評	六田甲二		演芸画報	昭和18・4	演芸画報社
忠臣蔵の建長寺	解説	佐久良之助		演芸画報	昭和18・7	演芸画報社
歌舞伎講座（二） 九段目の演出	解説	渥美清太郎		演芸画報	昭和18・7	演芸画報社
「忠臣蔵」連観 [昭和18・6明治座／新橋演舞場 ／歌舞伎座]	劇評	本山荻舟		演芸画報	昭和18・7	演芸画報社 ※明治座の四段目まで・新橋演舞場の七 段目・歌舞伎座の九段目。
仮名手本忠臣蔵 [昭和18・6歌舞伎座]	劇評	戸板康二		『丸本歌舞伎』		昭和24年3月 和敬書店
[昭和18・6新橋演舞場]	劇評			『丸本歌舞伎』		昭和24年3月 和敬書店
[昭和18・6明治座]	劇評			『丸本歌舞伎』		昭和24年3月 和敬書店
仮名手本忠臣蔵 五段目 父の小言／合理の演伎	芸談	川尻清潭／編	《7》市川中車	『中車芸話』		昭和18年9月 築地書店 ※『日本の芸談 第二巻 歌舞伎Ⅱ』九芸 出版、昭和54年2月。『日本人の自伝 20』平凡社、昭和56年8月、に再録。
歌舞伎劇と国民性	鑑賞	黒木勘蔵		『近世日本芸能 記』		昭和18年11月 青磁社
忠臣蔵十六役	芸談		《5》市川染五郎	演劇界	昭和22・1／2合 併号	日本演劇社
二貫目減った忠臣蔵	芸談		《3》市川段四郎	演劇界	昭和22・1／2合 併号	日本演劇社
忠臣蔵と助六	鑑賞	水島爾保布		劇場	昭和22・1	演劇文化社
大序の舞台面／直義と若太夫／ 高武蔵守師直／定九郎の財布／ 顔世御前の足／五段目の勘平／ 大星由良之助	芸談	《6》尾上菊五郎		『芸』		昭和22年10月 改造社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
六段目の勘平	芸談		勘平（《5》尾上菊五郎）	『芸』		昭和22年10月 改造社
忠臣蔵特輯 忠臣蔵あれやこれや	鑑賞	楠山正雄		演劇界	昭和22・10	日本演劇社
忠臣蔵特輯 久々の忠臣蔵上演に際して	演出	三宅三郎		演劇界	昭和22・10	日本演劇社
忠臣蔵特輯 忠臣蔵の人々	鑑賞	本山荻舟		演劇界	昭和22・10	日本演劇社
忠臣蔵特輯 忠臣蔵漫談	鑑賞	鶯亭金升		演劇界	昭和22・10	日本演劇社
忠臣蔵特輯 忠臣蔵鑑賞手引	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和22・10	日本演劇社
忠臣蔵特輯 忠臣蔵覚書	鑑賞	安藤鶴夫		演劇界	昭和22・10	日本演劇社
忠臣蔵とや	鑑賞	久保田万太郎		演劇界	昭和22・10	日本演劇社
	鑑賞	河竹繁俊ほか		『鑑賞の手引 第一 輯 仮名手本忠臣 蔵』		昭和22年11月 歌舞伎文庫
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 仮名手本の位置	鑑賞	守随憲治		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 大序おぼえ帳	鑑賞	川尻清潭		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 忠臣蔵覚書 二段目・三段目	鑑賞	安藤鶴夫		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 四段目	鑑賞	戸板康二		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 五段目について	鑑賞	浜村米蔵		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 菊五郎と梅玉 六段目	鑑賞	本山荻舟		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 七段目の廉々	鑑賞	金沢康隆		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 道行旅路の嫁入 八段目	鑑賞	斎藤竹治		役者	昭和22・11	万粧クラブ

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 初めて見た九段目	鑑賞	河竹繁俊		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序より 討入まで 十段目・十一段目	鑑賞	渥美清太郎		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 見る芝居忠臣蔵	鑑賞	太宰施門		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 亡びた型	型	渥美清太郎		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 大序の柝の打方	演出	竹柴蟹助		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 仮名手本忠臣蔵 三味線鳴物附帳	演出	杵屋栄二		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 着到板 団十郎の型	芸談		《7》松本幸四郎	役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 着到板 顔世の素足	芸談		《7》沢村宗十郎	役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 着到板 金財布の紐	芸談		《2》市川照蔵	役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 着到板 石堂の突袖	芸談		《7》坂東三津五郎	役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 着到板 義士の見得	芸談		《2》実川延若	役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 着到板 勘平の財布	芸談		《6》尾上菊五郎	役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 着到板 三段目の若狭之助	芸談		《1》中村吉右衛門	役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 着到板 懐中の財	芸談		《3》尾上多賀之丞	役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 左回次の勘平	鑑賞	木村錦花		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 忠臣蔵とちり帳	鑑賞	古河豊阿弥		役者	昭和22・11	万粧クラブ
仮名手本忠臣蔵特輯号 仮名手本忠臣蔵の題名	鑑賞	との字		役者	昭和22・11	万粧クラブ
忠臣蔵の「顔」その他	鑑賞	河野通勢		幕間	昭和22・12	和敬書店
忠臣蔵の「台詞」	鑑賞	掛貝芳男		幕間	昭和22・12	和敬書店
忠臣蔵の「足」	鑑賞	亀井常蔵		幕間	昭和22・12	和敬書店
忠臣蔵の「手」	鑑賞	井上甚之助		幕間	昭和22・12	和敬書店
忠臣蔵の「スタイル」	鑑賞	大木豊		幕間	昭和22・12	和敬書店
忠臣蔵ノート	鑑賞	今村信吉		幕間	昭和22・12	和敬書店
勘平の話	鑑賞	遠藤為春		幕間	昭和22・12	和敬書店
東京都劇場だより [昭和22・11東京劇場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和22・12	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
「忠臣蔵」の結論 [昭和22・11東京劇場]	劇評	戸板康二		劇場	昭和22・12	演劇文化社
「忠臣蔵」の結論 [昭和22・11東京劇場]	劇評	戸板康二		『歌舞伎の周囲』		昭和23年11月 角川書店
「忠臣蔵」の結論 [昭和22・11東京劇場]	劇評	戸板康二		『今日の歌舞伎』		昭和27年11月 創元社
忠臣蔵の一生	鑑賞	飯塚友一郎		劇場	昭和23・1	演劇文化社
忠臣蔵研究 「忠臣蔵」の考察（上）（下）	研究	水木京太		劇場	昭和23・1～2	演劇文化社 ※（上）構成について／（下）四段目の 解剖。
忠臣蔵合評会 [昭和22・11東京劇場]	劇評	折口信夫 久保田万太郎 秋山安三郎 渥美清太郎 川尻清潭 戸板康二		演劇界	昭和23・2	日本演劇社
「忠臣蔵」「忠臣蔵」 [昭和23・2京都南座／大阪大阪 歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和23・3	和敬書店
インフレ「忠臣蔵」覚書 [昭和22・11東京劇場／昭和 23・2京都南座／大阪大阪歌舞伎 座]	劇評	井上甚之助		幕間	昭和23・3	和敬書店
忠九の「本蔵」と虚無僧の天蓋 に就て	考証	新谷誠水		幕間	昭和23・4	和敬書店
忠臣蔵相撲見立 [昭和23・2京都南座／大阪大阪 歌舞伎座]	合評	高安六郎 林秀雄 沼艸雨 大西重孝 多田嘉七 武智鐵二 北岸佑吉		幕間	昭和23・4	和敬書店
文楽の『忠臣蔵』 人形と芝居との比較 [昭和23・4大阪四ツ橋文楽座]	演出	井上甚之助 高木四郎／挿絵		幕間	昭和23・5	和敬書店
忠臣蔵往復書簡 [昭和23・5三越劇場]	演出	戸部銀作／往信 戸板康二／復信	判官・勘平（《4》中村もしほ） 由良之助（《5》市川染五郎）	幕間	昭和23・6	和敬書店
五月三都五座 [昭和23・5三越劇場]	劇評	井上甚之助		幕間	昭和23・6	和敬書店
「忠臣蔵」の役々	芸談	《7》松本幸四郎		『芸談一世一代』		昭和23年7月 右文社
三越の「若手忠臣蔵」 [昭和23・5三越劇場]	劇評	渡辺義三郎		劇場	昭和23・8	演劇文化社
由良助の出	鑑賞	浜村米蔵		『歌舞伎教室』		昭和23年9月 河童書房 ※四段目の由良之助の出について。

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
歌舞伎と人形浄瑠璃の比較 仮名手本忠臣蔵比較表・備考欄	解説	戸板康二 川口子太郎		役者	昭和23・9	万粧書房
忠臣蔵七段目	芸談	《6》尾上菊五郎		『おどり』		昭和23年10月 時代社
忠臣蔵随想	鑑賞	穂積重遠		『歌舞伎思出話』		昭和23年10月 大河内書店
御園座の忠臣蔵 [昭和23・9名古屋御園座]	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和23・10	和敬書店
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 老木の梅ヶ香（大序）	演出	小野英一		役者	昭和23・10	万粧書房
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 丸本丸本丸本（二段目）	演出	武智鉄二		役者	昭和23・10	万粧書房
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 夜明け前（三段目）	演出	川口子太郎		役者	昭和23・10	万粧書房
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 塩冶家最後の日（四段目）	演出	金沢康隆		役者	昭和23・10	万粧書房
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 五段目で運のよいのは猪ばかり	演出	安藤鶴夫		役者	昭和23・10	万粧書房
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 日ざかりの縄手（六段目）	演出	戸板康二		役者	昭和23・10	万粧書房
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 敵を討てぬ由良之助（七段目）	演出	戸部銀作		役者	昭和23・10	万粧書房
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 共同演出（八・九・十・十一段目）	演出	同人		役者	昭和23・10	万粧書房
空想劇場 リレー演出 仮名手本 忠臣蔵 演出に対する合評	合評	同人		役者	昭和23・10	万粧書房
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	渥美清太郎		『歌舞伎鑑賞教室』		昭和23年11月 史学社
「忠臣蔵」採点表 [昭和23・10大阪大阪歌舞伎 座]	劇評	高安六郎 山本修二 井上甚之助 武智鉄二		幕間	昭和23・11	和敬書店
大阪歌舞伎座視記 [昭和23・10大阪大阪歌舞伎 座]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和23・11	和敬書店

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
関西劇信 [昭和23・10大阪大阪歌舞伎座]	劇評	北岸佑吉		役者	昭和23・11	万粧書房
「忠臣蔵」の役々／代役の定九郎／大序の顔世御前／「四段目」の顔世御前／つまらぬ大序の判官／「喧嘩場」の判官／判官の起こりかた／「四段目」の判官／力弥はイキ一ツ	芸談	山口廣一	《3》中村梅玉	『梅玉芸談』		昭和24年2月 誠光社
「忠臣蔵」の役々／代役の定九郎／大序の顔世御前／「四段目」の顔世御前／つまらぬ大序の判官／「喧嘩場」の判官／判官の起こりかた／「四段目」の判官／力弥はイキ一ツ	芸談	山口廣一	《3》中村梅玉	『復刻版 梅玉芸談』		平成4年5月 保育社
仮名手本忠臣蔵配役表	鑑賞	利倉幸一 安藤鶴夫 仁村美津夫 戸部銀作		花道	昭和24・2	梨の花会
菊五郎の大星その他 [昭和24・2東京劇場]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和24・3	日本演劇社
柿右衛門その他 [昭和24・2東京劇場]	劇評	戸板康二		幕間	昭和24・3	和敬書店
茶屋場の趣向見立て競べ [昭和24・2東京劇場]	鑑賞			花道	昭和24・3～4合併	梨の花会
『忠臣蔵』について	鑑賞	河竹繁俊		『歌舞伎叢攷』		昭和24年5月 中央公論社
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	堂本寒星		『歌舞伎百趣』		昭和24年7月 河原書店
一二／一三／一四／一五／二三 「忠臣蔵」の話／団十郎の由良之助 ほか	芸談	井上甚之助	《7》坂東三津五郎	『三津五郎芸談』		昭和24年7月 和敬書店 ※《9》市川団十郎の由良之助・《5》尾上菊五郎の判官・勘平ほか。
一二／一三／一四／一五／二三 「忠臣蔵」の話／団十郎の由良之助 ほか	芸談	井上甚之助	《7》坂東三津五郎	『三津五郎芸談』		昭和25年12月 和敬書店
帝劇の狂言座 [昭和24・9帝国劇場]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和24・10	日本演劇社
収穫は六段目 [昭和24・9帝国劇場]	劇評	大木豊		幕間	昭和24・10	和敬書店
九月芝居問答 葉月二座めぐり [昭和24・9帝国劇場]	劇評	安藤鶴夫		花道	昭和24・10	梨の花会
戸無瀬 仮名手本忠臣蔵	芸談	安部豊	《5》中村歌右衛門	『魁玉夜話 歌舞伎の型』		昭和25年3月 文谷書房

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
東劇の忠臣蔵 [昭和25・3東京劇場]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和25・4	日本演劇社
私の芸談 初役の判官	芸談		《3》中村時蔵	幕間	昭和25・4	和敬書店
私の芸談 由良助	芸談		《1》中村吉右衛門	幕間	昭和25・4	和敬書店
私の芸談 「顔世御前」について	芸談		《4》沢村訥升	幕間	昭和25・4	和敬書店
私の芸談 知られ過ぎている忠臣蔵	芸談		《8》松本幸四郎	幕間	昭和25・4	和敬書店
私の芸談 口惜しかった勘平の事	芸談		《17》中村勘三郎	幕間	昭和25・4	和敬書店
私の芸談 「おかる」のこと	芸談		《6》中村芝翫	幕間	昭和25・4	和敬書店
仮名手本忠臣蔵採点表 [昭和25・3東京劇場]	劇評	本山荻舟 利倉幸一 戸部銀作 大木豊		幕間	昭和25・4	和敬書店
忠臣蔵特集 忠臣蔵各論	研究	武智鉄二		演劇界	昭和25・5	日本演劇社
忠臣蔵特集 兜の数は四十七	研究	池田弥三郎		演劇界	昭和25・5	日本演劇社 ※『芸能』（昭和30年5月・岩崎書店）に収録。
忠臣蔵特集 「いろは評林」は訓へる	研究	金沢康隆		演劇界	昭和25・5	日本演劇社
忠臣蔵特集 珍型忠臣蔵	型	渥美清太郎		演劇界	昭和25・5	日本演劇社
忠臣蔵特集 変態忠臣蔵	型	渥美清太郎		演劇界	昭和25・5	日本演劇社 ※忠臣蔵の書替え狂言について。
忠臣蔵の思ひ出 団十郎の由良之助	型	川尻清潭	由良之助（《9》市川団十郎）	演劇界	昭和25・5	日本演劇社
忠臣蔵の思ひ出 五代目の判官と勘平	型	《7》坂東三津五郎	判官・勘平（《5》尾上菊五郎）	演劇界	昭和25・5	日本演劇社
忠臣蔵の思ひ出 歌右衛門の演じた役々	型	三宅三郎	《5》中村歌右衛門	演劇界	昭和25・5	日本演劇社
忠臣蔵の思ひ出 十一代目仁左衛門と九段目	型	浜村米蔵	《11》片岡仁左衛門	演劇界	昭和25・5	日本演劇社
忠臣蔵の思ひ出 市川団蔵の師直	型	安部豊	師直（《7》市川団蔵）	演劇界	昭和25・5	日本演劇社
忠臣蔵の文献	研究	山本二郎		演劇界	昭和25・5	日本演劇社
由良之助の役／一日替で十七役 ／千崎弥五郎と伴内／四段目由良之助の工夫	鑑賞	《5》市川三升		『九代目市川団十郎』		昭和25年11月 推古書院
名古屋の忠臣蔵 [昭和25・10名古屋御園座]	劇評	木村菊太郎		演劇界	昭和25・11	日本演劇社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
名古屋の忠臣蔵好調 [昭和25・10名古屋御園座]	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和25・11	和敬書店
「仮名手本忠臣蔵」と「てれめん」と [昭和25・11大阪大阪歌舞伎座]	劇評	升屋治三郎		演劇界	昭和25・12	演劇新社
私の芸談 演りにくい由良之助	芸談		《3》阪東寿三郎	幕間	昭和25・12	和敬書店
私の芸談 椽の下の苦勞	芸談		《3》市川九団次	幕間	昭和25・12	和敬書店
御自慢の上方決定版 [昭和25・11大阪大阪歌舞伎座]	劇評	井上甚之助		幕間	昭和25・12	和敬書店
判官の苦心	芸談		《7》尾上梅幸	劇評	昭和25・12	歌舞伎堂第一書店
誌上舞台中継 仮名手本忠臣蔵 [昭和25・12明治座]	見たまま	高橋博	師直・定九郎・平右衛門（《2》 尾上松緑）	劇評	昭和25・12	歌舞伎堂第一書店
対談・忠臣蔵 [昭和25・12明治座]	劇評	戸板康二 安藤鶴夫		劇評	昭和25・12	歌舞伎堂第一書店
塩治判官の忠臣蔵 [昭和25・12明治座]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和26・1	演劇新社
塩治判官の忠臣蔵 [昭和25・12明治座]	劇評	戸板康二		『今日の歌舞伎』		昭和27年11月 創元社
明治座の「忠臣蔵」 [昭和25・12明治座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和26・1	和敬書店
「忠臣蔵」腰元諸嬢へ	鑑賞	安藤鶴夫		劇評	昭和26・1	歌舞伎堂第一書店
羽左衛門の『三役』 [昭和25・12明治座]	劇評	渡辺義三郎		花道	昭和26・1	梨の花会
松緑の『師直』について [昭和25・12明治座]	劇評	浜村道哉		花道	昭和26・1	梨の花会
「滋幹の母」面白し [昭和26・6大阪大阪歌舞伎座]	劇評	大西重孝		演劇界	昭和26・7	演劇新社
幕間随想 九段目に梅玉さんを思ふ	芸談		《3》阪東寿三郎	幕間	昭和26・7	和敬書店
幕間随想 戸無瀬のこと	芸談		《3》中村時蔵	幕間	昭和26・7	和敬書店
幕間随想 五右衛門と小浪	芸談		《4》坂東鶴之助	幕間	昭和26・7	和敬書店
「少将滋幹の母」ほか [昭和26・6大阪大阪歌舞伎座]	劇評	北岸佑吉		幕間	昭和26・7	和敬書店 ※八段目。
由良助の成立	研究	折口信夫		演劇界 仮名手本忠 臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
忠臣蔵の特異点	研究	河竹繁俊		演劇界 仮名手本忠 臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
由良之助の人間味	鑑賞	山本修二		演劇界 仮名手本忠 臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
四段目の簡素化	鑑賞	三宅周太郎		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
忠臣蔵雑筆	鑑賞	木村荘八		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
ガン作忠臣蔵	鑑賞	秦豊吉		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
忠臣蔵雑詠	鑑賞	吉井勇		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
出雲・松洛・千柳	研究	守随憲治		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 「大序」管見	研究	三宅三郎		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 二段目	研究	大西重孝		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 忠臣蔵三段目	研究	武智鉄二		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 四段目論	研究	池田弥三郎		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社。 ※『芸能』（昭和30年5月・岩崎書店）に収録。
各段研究 定九郎の手 その白さに美の秘密がある	研究	山口廣一		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 六段目管見	研究	大木豊		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 七段目	研究	戸板康二		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 八段目	研究	川口子太郎		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 九段目、両智囊の対面	研究	浜村米蔵		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 「十段目」随想	研究	加賀山直三		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
各段研究 十一段目復活	研究	金沢康隆		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
忠臣蔵とや	鑑賞	久保田万太郎		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
忠臣蔵の変わった型	型	渥美清太郎		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
「仮名手本」のほかの忠臣蔵の脚本	研究	渥美清太郎		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
忠臣蔵の鳴物	演出	望月太意之助		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
団菊の忠臣蔵の役々	型	川尻清潭	《9》市川団十郎 《5》尾上菊五郎	演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
忠臣蔵の錦絵	研究	吉田暎二		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
定九郎物語	鑑賞			演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
わが理想の配役	鑑賞	太宰施門 秋山安三郎 北岸佑吉		演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
忠臣蔵掌事典	鑑賞			演劇界 仮名手本忠臣蔵	昭和26・10増刊	演劇新社
仮名手本忠臣蔵四段目 [昭和26・11歌舞伎座]	見たまま	高橋博	由良之助（《1》中村吉右衛門） 師直（《2》市川猿之助）判官 （《3》中村時蔵）	劇評	昭和26・11	第一書店
芸術祭忠臣蔵 [昭和26・11歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和26・12	演劇新社
幕間随想 師直について	芸談		《2》市川猿之助	幕間	昭和26・12	和敬書店
幕間随想 判官の気持	芸談		《3》中村時蔵	幕間	昭和26・12	和敬書店
芸術祭礼拝観記 [昭和26・11歌舞伎座]	劇評	加賀山直三		幕間	昭和26・12	和敬書店
東京劇信 貧しい芸術祭参加作品 [昭和26・11歌舞伎座]	劇評	仁村美津夫		舞台展望	昭和26・12	舞台すがた社
『忠臣蔵』の魅力	研究	河竹繁敏		『歌舞伎・文楽史話』	昭和26・12	河出書房 ※市民文庫84
『忠臣蔵』の成立過程	研究	河竹繁敏		『歌舞伎・文楽史話』	昭和26・12	河出書房 ※市民文庫84
その後の『忠臣蔵』	研究	河竹繁敏		『歌舞伎・文楽史話』	昭和26・12	河出書房 ※市民文庫84
不忠臣蔵	鑑賞	渋沢秀雄		劇評	昭和27・2	第一書店 ※落人。
『つくし会』公演について	興行記録	日比繁治郎		舞台展望	昭和27・6	舞台すがた社
つくし会の前進 [昭和27・5大阪四ツ橋文楽座]	劇評	林秀雄		舞台展望	昭和27・6	舞台すがた社
「獄門帳」あれこれ [昭和27・9歌舞伎座]	劇評	大木豊		演劇界	昭和27・10	演劇新社
忠臣蔵その他 [昭和27・9歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和27・10	和敬書店
菅原・千本桜・忠臣蔵	鑑賞	楠山正雄		『歌舞伎評論』		昭和27年11月 富山房
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	渥美清太郎		演劇界	昭和27・12	演劇出版社
菊五郎劇団の「忠臣蔵」 [昭和27・12明治座]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和28・1	演劇出版社
幕間随想 気の張る役〔力弥〕	芸談		坂東光伸	幕間	昭和28・1	和敬書店
幕間随想 定九郎の用意	芸談		《7》坂東彦三郎	幕間	昭和28・1	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
幕間随想 酢豆腐の勘平	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和28・1	和敬書店
新仮名遣忠臣蔵 [昭和27・12明治座]	劇評	本山荻舟		幕間	昭和28・1	和敬書店
誌上舞台忠臣蔵 [昭和27・12明治座]	グラビア 解説			劇評	昭和28・1	歌舞伎堂第一書店
明治座の『忠臣蔵』 —菊五郎劇団の重要テスト— [昭和27・12明治座]	劇評	本山荻舟		劇評	昭和28・1	歌舞伎堂第一書店
十二月の各座 [昭和27・12明治座]	劇評	戸部銀作		舞台展望	昭和28・1	舞台展望社 ※寸評。
菊五郎劇団の忠臣蔵—第一部— [昭和27・12明治座]	劇評	阿部優蔵		歌舞伎評論	昭和28・1	歌舞伎評論社
若き忠臣蔵—第二部— [昭和27・12明治座]	劇評	阿部優蔵		歌舞伎評論	昭和28・1	歌舞伎評論社
歌舞伎よ厳正な古典たれ [昭和27・12京都南座]	劇評	今尾哲也		歌舞伎評論	昭和28・1	歌舞伎評論社
寿海の忠臣蔵 [昭和28・2名古屋御園座]	劇評	岩沙慎一		演劇界	昭和28・3	演劇出版社
讃・寿海の勘平 [昭和28・2名古屋御園座]	劇評	木村菊太郎		幕間	昭和28・3	和敬書店
関西歌舞伎と忠臣蔵 [昭和28・2名古屋御園座]	劇評	大鋸時生		舞台展望	昭和28・3	舞台展望社
病弱忠臣蔵—第一部— [昭和28・2名古屋御園座]	劇評	高瀬稔夫		歌舞伎評論	昭和28・3	歌舞伎評論社
びっこの芝居—第二部— [昭和28・2名古屋御園座]	劇評	塩野谷恵彦		歌舞伎評論	昭和28・3	歌舞伎評論社
勘三郎と幸四郎と [昭和28・4歌舞伎座]	劇評	草壁知止子		演劇界	昭和28・5	演劇出版社
歌舞伎座の大一座 歌昇・芝雀襲名披露 [昭和28・4歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和28・5	和敬書店 ※八段目。 ※寸評。
東京劇信 四月の各座 [昭和28・4歌舞伎座]	劇評	大木豊		舞台展望	昭和28・5	舞台展望社
五月の関西から [昭和28・5京都南座／大阪大阪 歌舞伎座]	劇評	原田矢絵子		演劇界	昭和28・6	演劇出版社
幕間随想 本蔵のセリフ	芸談		《6》坂東蓑助	幕間	昭和28・6	和敬書店
吉右衛門一家の芸面 [昭和28・5大阪大阪歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		幕間	昭和28・6	和敬書店 ※八段目。 ※寸評。
南座の「忠臣蔵」 [昭和28・5京都南座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和28・6	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
『忠臣蔵』西へ行く [昭和28・5京都南座]	劇評	井上甚之助		舞台展望	昭和28・6	舞台展望社 ※昼の部。
「仮名手本忠臣蔵」 [昭和28・5京都南座]	劇評	菅泰男		舞台展望	昭和28・6	舞台展望社 ※夜の部。
本蔵に思ふ事	研究	総野知子		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
仮名手本忠臣蔵について	鑑賞	阿部優蔵 岡部昭吾 総野知子 神谷吉彦 草壁知止子		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
大序 [昭和28・5京都南座]	劇評	宮崎吉男		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
二段目 [昭和28・5京都南座]	劇評	権藤芳一		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
三段目 [昭和28・5京都南座]	劇評	宮崎吉男		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
四段目 [昭和28・5京都南座]	劇評	矢島陽子		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
“落人” [昭和28・5京都南座]	劇評	原田矢絵子		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
五、六段目 [昭和28・5京都南座]	劇評	鷺尾隆栄		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
七段目 [昭和28・5京都南座]	劇評	藤井康雄		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
九、十一段目 [昭和28・5京都南座]	劇評	今尾哲也		歌舞伎評論	昭和28・6	歌舞伎評論社
歌舞伎名作ものがたり 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	久保田万太郎 戸板康二		『歌舞伎教室』		昭和28年7月 ポプラ社
独参湯なるかな [昭和28・6大阪大阪歌舞伎座]	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和28・7	演劇出版社
忠臣蔵おぼえ帖1 大序の大銀杏／幕張りの紋所／ 兜改めの唐櫃／顔世御前の足／ 足利直義心得／高師直の演所／ 大序の幕明き	演出	川尻清潭		演劇界	昭和28・12	演劇出版社 ※『演技の伝承』（昭和31年12月、演劇出版社）に収録。
上方役者の忠臣蔵 [昭和28・11帝国劇場]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和28・12	演劇出版社
二段目上演の魅力 [昭和28・11帝国劇場]	合評	岡副昭吾 森川仁一		幕間	昭和28・12	和敬書店
関西勢の「忠臣蔵」を見る [昭和28・11帝国劇場]	劇評	大木豊		演劇評論	昭和28・12	演劇評論社
東上公演のよろこび	芸談		《4》中村富十郎	劇評	昭和28・12	歌舞伎堂第一書店
本年五回目の「忠臣蔵」	芸談		《3》阪東寿三郎	劇評	昭和28・12	歌舞伎堂第一書店
力弥と落人の勘平	芸談		《4》坂東鶴之助	劇評	昭和28・12	歌舞伎堂第一書店
なつかしい帝国劇場	芸談		《3》市川寿海	劇評	昭和28・12	歌舞伎堂第一書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
関西歌舞伎の東京風「忠臣蔵」 [昭和28・11帝国劇場]	劇評	加賀山直三		劇評	昭和28・12	歌舞伎堂第一書店
三階席感想拝聴 帝劇・忠臣蔵 簀助乱闘の昼の部 [昭和28・11帝国劇場]	劇評	竹内雄三		劇評	昭和28・12	歌舞伎堂第一書店
三階席感想拝聴 帝劇・忠臣蔵 みごたえのあった九段目（夜の部） [昭和28・11帝国劇場]	劇評	栗島明義		劇評	昭和28・12	歌舞伎堂第一書店
忠臣蔵おぼえ帖2 本蔵と娘小浪／西御門の見附／ 喧嘩場の判官／鮎だ鮎だ鮎侍／ 判官の腹切刀／検使役の心／四 段目の諸士	演出	川尻清潭		演劇界	昭和29・1	演劇出版社 ※『演技の伝承』（昭和31年12月、演劇出版社）に収録。
忠臣蔵おぼえ帖3 御台所の切髪／水袴の青磁色／ 由良助の衣裳／城渡しの門外／ 提灯の取扱い／鉄砲渡しの笠／ 定九郎の今昔／変体の五段目	演出	川尻清潭		演劇界	昭和29・2	演劇出版社 ※『演技の伝承』（昭和31年12月、演劇出版社）に収録。
忠臣蔵	鑑賞	戸板康二		『歌舞伎ダイジェスト』		昭和29年3月 暮しの手帖社
忠臣蔵	鑑賞	戸板康二		『歌舞伎ダイジェスト』		昭和40年7月 暮しの手帖社
忠臣蔵おぼえ帖4 鉄砲渡しの簀／顔の見合せ方／ 紋服を着る訳／三段に遣う手／ 蓑盆の片付方／財布の取扱い／ 血汐の付け方／勤平切腹の血／ お軽役の口伝／二包みの小判／ 鉄砲の取扱い／後ろ向の腹切	演出	川尻清潭		演劇界	昭和29・3	演劇出版社 ※『演技の伝承』（昭和31年12月、演劇出版社）に収録。
附・歌舞伎名作の鑑賞 忠臣蔵	鑑賞	郡司正勝		『歌舞伎入門』		昭和29年4月 社会思想研究会出版部 ※現代教養文庫。
忠臣蔵おぼえ帖5 名前のない役／三十郎のお萱／ 蔭の諸士の声／三人侍の入り／ 平右衛門の鬘／大星の捨台詞／ 三チヨチヨン／長文の読み方	演出	川尻清潭		演劇界	昭和29・4	演劇出版社 ※『演技の伝承』（昭和31年12月、演劇出版社）に収録。
忠臣蔵おぼえ帖6 腹帯の締め方／お軽の簪ざし／ よるける口伝／お軽の投げ紙／ 手紙の取扱い／お手に掛らば／ 仲蔵の新工夫／行列の槍投げ／ 東が白む横雲／前裁の雲持竹	演出	川尻清潭		演劇界	昭和29・5	演劇出版社 ※『演技の伝承』（昭和31年12月、演劇出版社）に収録。

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵おぼえ帖7 戸無瀬の演所／歌舞伎と写真／ 小浪のさわり／役々の早替り／ 天蓋の置き方／手紙と其文章／ 義士の替え名／人形の忠臣蔵	演出	川尻清潭		演劇界	昭和29・7	演劇出版社 ※『演技の伝承』（昭和31年12月、演劇出版社）に収録。
舞台鑑賞手引 「九段目」随感	解説	加賀山直三		幕間	昭和29・9	和敬書店
その翌日の観劇 [昭和29・9歌舞伎座]	劇評	戸板康二		演劇界	昭和29・10	演劇出版社
幕間随想 遍へに今後の御指導を〔九段目 の力弥〕	芸談		《10》市川高麗蔵	幕間	昭和29・10	和敬書店
幸四郎追善芝居 [昭和29・9歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和29・10	和敬書店
お茶を濁す『追善興行』 [昭和29・9歌舞伎座]	劇評	大木豊		演劇評論	昭和29・10	演劇評論社
舞台鑑賞 忠臣蔵九段目	鑑賞	松井敏明		劇評	昭和29・10	「劇評」社
舞台鑑賞手引 「忠臣蔵」ダイジェスト	解説	加賀山直三		幕間	昭和29・12	和敬書店
新しい時代の忠臣蔵 [昭和29・12歌舞伎座]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和30・1	演劇出版社
幕間随想 ニンを好む役〔師直と由良之 助〕	芸談		《8》松本幸四郎	幕間	昭和30・1	和敬書店
幕間随想 勘平雑話	芸談		《17》中村勘三郎	幕間	昭和30・1	和敬書店
「花」のない「忠臣蔵」 [昭和29・12歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和30・1	和敬書店
演劇研究会企画の「忠臣蔵」を 見て [昭和29・12歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇評論	昭和30・1	演劇評論社
『忠臣蔵』の夢	鑑賞	戸板康二		劇評	昭和30・1	「劇評」社
一応の纏まり [昭和29・12歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		劇評	昭和30・1	「劇評」社
猛省を [昭和30・2東横ホール]	劇評	大木豊		演劇界	昭和30・3	演劇出版社
代・忠臣蔵 [昭和30・2大阪大阪歌舞伎座]	劇評	沼艸雨		演劇界	昭和30・3	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 [昭和30・2大阪大阪歌舞伎座]	グラビア			幕間	昭和30・3	和敬書店 ※上方の型による。
幕間随想 上方風の勘平	芸談		《2》中村鴈治郎	幕間	昭和30・3	和敬書店
幕間随想 判官ところどころ	芸談		《13》片岡仁左衛門	幕間	昭和30・3	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
幕間随想 師直と本蔵	芸談		《8》沢村訥子	幕間	昭和30・3	和敬書店
幕間随想 顔世の話	芸談		《5》片岡芦燕	幕間	昭和30・3	和敬書店
幕間随想 柄にない由良之助	芸談		《14》守田勘弥	幕間	昭和30・3	和敬書店
幕間随想 未熟者の弁	芸談		《6》中村芝雀	幕間	昭和30・3	和敬書店
幕間随想 忠臣蔵の二役	芸談		《3》市川松蔭	幕間	昭和30・3	和敬書店
東西の「忠臣蔵」 [昭和30・2大阪大阪歌舞伎座/ 東横ホール]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和30・3	和敬書店
十吋相当の忠臣蔵 [昭和30・2東横ホール]	劇評	大木豊		劇評	昭和30・3	「劇評」社
てんやわんや忠臣蔵 [昭和30・2大阪大阪歌舞伎座]	劇評	新橋柳一郎		劇評	昭和30・3	「劇評」社
『懶惰なる周囲』に反発 [昭和30・2大阪大阪歌舞伎座]	劇評	大鋸時生		演劇評論	昭和30・4	演劇評論社
忠臣蔵二段目演出ノート／忠臣蔵各論	鑑賞	武智鐵二		『歌舞伎の黎明』		昭和30年7月 清泉社
仮名手本忠臣蔵の型について	型	守随憲治		東京大学教養学部 人文科学科紀要国 文学・漢文学	第2号	昭和30年7月 東京大学教養学部 ※浄瑠璃と歌舞伎の大序の型について。
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	河竹繁俊		『中村吉右衛門』		昭和30年9月 富山房 ※《1》吉右衛門の由良之助について。
忠臣蔵における赤穂「浪士」	鑑賞	林屋辰三郎		演劇評論	昭和30・9	演劇評論社
小咄忠臣蔵	鑑賞	鈴木凸太		演劇界	昭和30・12	演劇出版社
忠臣蔵評判 [昭和30・12明治座]	劇評	渥美清太郎		演劇界	昭和31・1	演劇出版社
幕間随想 由良之助の重圧	芸談		《2》尾上松緑	幕間	昭和31・1	和敬書店
幕間随想 息抜きのない平右衛門〔直義と 平右衛門〕	芸談		《17》市村羽左衛門	幕間	昭和31・1	和敬書店
「忠臣蔵」個々の成長 [昭和30・12明治座]	劇評	大木豊		幕間	昭和31・1	和敬書店
新書版『忠臣蔵』 [昭和30・12明治座]	劇評	本山荻舟		劇評	昭和31・1	「劇評」社
由良之助と由良助	鑑賞	河竹繁俊		演劇界	昭和31・2	演劇出版社
共同研究 仮名手本忠臣蔵 大序	研究	荒木幸子		間	第4号	昭和31年3月 名古屋歌舞伎研究会
共同研究 仮名手本忠臣蔵 師直の心理 忠臣蔵三段目	研究	村瀬育男		間	第4号	名古屋歌舞伎研究会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
共同研究 仮名手本忠臣蔵 タワーを越えた恋の破局 五・六 段目	研究	亀井節子		間	第4号	名古屋歌舞伎研究会
共同研究 仮名手本忠臣蔵 落人	研究	斎藤房子		間	第4号	名古屋歌舞伎研究会
共同研究 仮名手本忠臣蔵 七段目論	研究	塩野谷恵彦		間	第4号	名古屋歌舞伎研究会
共同研究 仮名手本忠臣蔵 忠九論序説（九段目）	研究	服部幸雄		間	第4号	名古屋歌舞伎研究会
与一兵衛復活と夫間的二人侍 〔昭和31・1御園座〕	劇評	亀井節子		間	第4号	昭和31年3月 名古屋歌舞伎研究会
翫右衛門返り初日 〔昭和31・2大阪大阪歌舞伎座〕	劇評	戸板康二		演劇界	昭和31・3	演劇出版社
芝居国紳士録・おかる、定九郎 忠臣蔵の勘平	鑑賞 鑑賞	安藤鶴夫 三宅三郎	《9》市川海老蔵	『かぶきを見る 眼』	昭和31・5	演劇出版社 昭和31年9月 新樹社
忠臣蔵の由良之助	鑑賞		《8》松本幸四郎	『かぶきを見る 眼』		昭和31年9月 新樹社
忠臣蔵の戸無瀬	鑑賞		《2》中村鴈治郎	『かぶきを見る 眼』		昭和31年9月 新樹社
忠臣蔵の若狭之助	鑑賞		《3》市川寿海	『かぶきを見る 眼』		昭和31年9月 新樹社
忠臣蔵の師直	鑑賞	三宅三郎	師直（《2》市川猿之助）	『かぶきを見る 眼』		昭和31年9月 新樹社
忠臣蔵の判官	鑑賞		《7》尾上梅幸	『かぶきを見る 眼』		昭和31年9月 新樹社
「忠臣蔵」ダイジェスト―「仮 名手本忠臣蔵」大序より七段目 まで、並びに道行旅路の花聳―	鑑賞	加賀山直三		『歌舞伎の視角』		昭和31年10月 角川書店
文楽と歌舞伎の仮名手本忠臣蔵 協同研究 忠臣蔵	解説 研究	内海繁太郎 高野正巳 郡司正勝 戸部銀作 加賀山直三		幕間 演劇界	昭和31・11 昭和31・11～12	和敬書店 演劇出版社
『忠臣蔵』の口伝	鑑賞	川尻清潭		『演技の伝承』		昭和31年12月 演劇出版社
劇人閑話〔戸無瀬・勘平〕	芸談		《2》中村鴈治郎	幕間	昭和31・12	和敬書店
舞台おぼえ書 海老蔵の由良之助	型	三宅三郎		演劇界	昭和32・1	演劇出版社
由良之助を中心に 〔昭和31・12明治座〕	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和32・1	演劇出版社
作られた演技 〔昭和31・12明治座〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和32・1	演劇出版社
幕間随想 貫禄の悩み〔由良之助〕	芸談		《9》市川海老蔵	幕間	昭和32・1	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
幕間随想 師直の話〔師直と定九郎〕	芸談		《17》市村羽左衛門	幕間	昭和32・1	和敬書店
バランスのとれた「忠臣蔵」 〔昭和31・12明治座〕	劇評	竹越和夫		幕間	昭和32・1	和敬書店
梅幸を軸に廻転 〔昭和31・12明治座〕	劇評	戸部銀作		劇評	昭和32・1	「劇評」社
舞台おぼえ書 左団次の勘平	型	三宅三郎		演劇界	昭和32・2	演劇出版社
『五郎蔵』のトリオ 〔昭和32・1歌舞伎座〕	劇評	戸板康二		演劇界	昭和32・2	演劇出版社
幕間随想 小浪の苦労	芸談		《5》沢村訥升	幕間	昭和32・2	和敬書店
中庸的な演目と舞台 〔昭和32・1歌舞伎座〕	劇評	加賀山直三		幕間	昭和32・2	和敬書店
“最大の期待”、保留 〔昭和32・2大阪大坂歌舞伎座〕	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和32・3	演劇出版社
劇人閑話 その三〔判官〕	芸談		《7》尾上梅幸	幕間	昭和32・3	和敬書店
解説版『忠臣蔵』 〔昭和32・3東横ホール〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和32・4	演劇出版社
幕間随想 由良之助と勘平	芸談		《8》市川中車	幕間	昭和32・4	和敬書店
幕間随想 「忠臣蔵」随想	芸談		《3》市川段四郎	幕間	昭和32・4	和敬書店
幕間随想 六段目が難かしい〔おかる〕	芸談		《3》市川松蔭	幕間	昭和32・4	和敬書店
幕間随想 由良之助の型	芸談		《13》片岡仁左衛門	幕間	昭和32・4	和敬書店
幕間随想 延若型の平右衛門	芸談		《2》実川延二郎	幕間	昭和32・4	和敬書店
幕間随想 六役の忙しさ〔七段目のおかる〕	芸談		《7》大谷友右衛門	幕間	昭和32・4	和敬書店
器用な「忠臣蔵」の舞台 〔昭和32・3東横ホール〕	劇評	竹越和夫		幕間	昭和32・4	和敬書店
若手の清潔さ 〔昭和32・3大阪中座〕	劇評	沼艸雨		幕間	昭和32・4	和敬書店
猿之助劇団の忠臣蔵 〔昭和32・3東横ホール〕	劇評	大岩精二		劇評	昭和32・4	「劇評」社
忠臣蔵	鑑賞	戸板康二		演劇界 歌舞伎狂言 百科Ⅱ	昭和32・11増刊	演劇出版社
	鑑賞	戸板康二		『忠臣蔵』		昭和32年12月 東京創元社
幕間随想 顔見世の五役〔小浪〕	芸談		《7》大谷友右衛門	幕間	昭和33・1	和敬書店
戌歳京の顔見世記 〔昭和32・12南座〕	劇評	井上基之助 高木四郎／彘		幕間	昭和33・1	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
師直・勘平	芸談	加賀山直三／編	《17》中村勘三郎	演劇界	昭和33・4	演劇出版社
判官・お軽	芸談	加賀山直三／編	《6》中村歌右衛門	演劇界	昭和33・4	演劇出版社
若狭助・由良助	芸談	加賀山直三／編	《8》松本幸四郎	演劇界	昭和33・4	演劇出版社
薬師寺・源六・道行の伴内・平右衛門	芸談	加賀山直三／編	《8》市川中車	演劇界	昭和33・4	演劇出版社
石堂・定九郎・数右衛門	芸談	加賀山直三／編	《14》守田勘弥	演劇界	昭和33・4	演劇出版社
顔世御前	芸談	加賀山直三／編	《13》片岡我童	演劇界	昭和33・4	演劇出版社
足利直義	芸談	加賀山直三／編	《8》沢村宗十郎	演劇界	昭和33・4	演劇出版社
勘・歌・幸の『忠臣蔵』 [昭和33・3新橋演舞場]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和33・4	演劇出版社
幕間随想 師直のこと	芸談		《17》中村勘三郎	幕間	昭和33・4	和敬書店
両勤の忠臣蔵 [昭和33・3新橋演舞場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和33・4	和敬書店
初役・代役の「忠臣蔵」 [昭和33・3新橋演舞場]	劇評	戸部銀作		劇評	昭和33・4	「劇評」社
	鑑賞	河竹繁俊		『日本少年少女古典文学全集 第二十卷 忠臣蔵物語』		昭和33年5月 弘文堂
演劇寸史 忠臣蔵ブーム／由良助の初登場 ／二百年前の声色／金の字が四十七 鑑賞と批評 忠臣蔵偏痴気論／早野勘平の孤独 ／『忠臣蔵の魅力』／『忠臣蔵』 はなぜ名作か	鑑賞	山本修二		『演劇寸史』		昭和33年7月 中外書房
吉劇団の「忠臣蔵」／由良之助 に新演出／南座の「忠臣蔵」／ 大阪流の「忠臣蔵」	鑑賞	三宅周太郎		『歌舞伎の星』		昭和33年9月 布井書房
仮名手本忠臣蔵十段目演出細見	演出	堂本正樹		演劇界	昭和34・3	演劇出版社
『忠臣蔵』の通し [昭和34・2歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和34・3	演劇出版社
善いも悪いも所謂珍型1・2	演出	杉贖阿弥		演劇界	昭和34・3～4	演劇出版社
幕間随想 判官とおかる〔七段目のおかる・判官・戸無瀬〕	芸談		《3》中村時蔵	幕間	昭和34・3	和敬書店
幕間随想 二つの復活上演〔「蜂の巣の平右衛門」と天川屋義平〕	芸談		《2》市川猿之助	幕間	昭和34・3	和敬書店
幕間随想 身に余る大役〔六段目のおかる〕	芸談		《5》沢村訥升	幕間	昭和34・3	和敬書店
仮名手本忠臣蔵 [昭和34・2歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和34・3	和敬書店

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
歌舞伎名作鑑賞Ⅲ 忠臣蔵寸感	鑑賞	大岩精二		劇評	昭和34・3	「劇評」社
「忠臣蔵」雑感 [昭和34・2歌舞伎座]	劇評	大木豊		劇評	昭和34・3	「劇評」社
「忠臣蔵」の魅力	鑑賞	河竹繁俊		『歌舞伎百題』		昭和34年4月 青蛙房
“大忠臣蔵”と文楽 [昭和34・5大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和34・6	演劇出版社
幕間随想 初役の顔世御前〔顔世と小浪〕	芸談		《6》中村芝雀	幕間	昭和34・6	和敬書店
忠臣蔵の役々 [昭和34・5大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	桂田重治		幕間	昭和34・6	和敬書店
“大忠臣蔵余聞” —スライディングの大道具— [昭和34・5大阪大阪新歌舞伎座]	演出			劇評	昭和34・6	「劇評」社
傑れた勘三郎の勘平 [昭和34・5大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	菱田雅夫		劇評	昭和34・6	「劇評」社
忠臣蔵	鑑賞	金沢康隆		『歌舞伎名作事典』		昭和34年9月 青蛙房
実はまだ青く固いが [昭和34・11大阪道頓堀文楽座]	劇評	和田さく		幕間	昭和34・12	和敬書店
対談・顔見世「忠臣蔵」を評定する [昭和34・12歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵 三宅三郎		演劇界	昭和35・1	演劇出版社
顔ぞろい忠臣蔵 [昭和34・12歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		幕間	昭和35・1	和敬書店
落人	解説	加藤長治		『演劇百科大事典』	第一巻	昭和35年3月 平凡社 ※演劇博物館／編
仮名手本忠臣蔵	解説	河竹繁俊		『演劇百科大事典』	第二巻	昭和35年6月 平凡社 ※演劇博物館／編
忠臣蔵物	解説	菊池明		『演劇百科大事典』	第三巻	昭和35年10月 平凡社 ※演劇博物館／編
沈黙の言語・死の言語 —忠臣蔵のコミュニケーション—	研究	加藤秀俊		思想の科学	昭和35・12	思想の科学社
忠臣蔵の意図するもの —非完結性と多産性—	研究	廣末保		思想の科学	昭和35・12	思想の科学社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
早替り『忠臣蔵』と文楽の清元 [昭和36・1大阪中座]	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和36・2	演劇出版社
幕間随想 「忠臣蔵」での五役〔師直・由良之助・与一兵衛・定九郎・勘平〕	芸談		《2》実川延二郎	幕間	昭和36・2	和敬書店
幕間随想 若狭之助	芸談		林与一	幕間	昭和36・2	和敬書店
幕間随想 判官・お軽・戸無瀬	芸談		《4》中村時蔵	幕間	昭和36・2	和敬書店
若さの魅力を結集した中座 [昭和36・1大阪中座]	劇評	大鋸時生		幕間	昭和36・2	和敬書店
仮名手本忠臣蔵 大序・第二・第三・第四・第五・第六・第七・第八（梗概）・第九・第十・第十一	鑑賞	宇野信夫／訳		『現代版古典日本文学全集 浄瑠璃名作集』	第25巻	昭和36年3月 筑摩書房 ※全て現代語訳。 ※解説（宇野信夫）を付す。
延・時の『忠臣蔵』 [昭和36・2東横ホール]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和36・3	演劇出版社
大阪風「忠臣蔵」の意義 [昭和36・2東横ホール]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和36・3	和敬書店
仮名手本忠臣蔵 一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一	鑑賞	杉山誠／訳 戸板康二／訳者代表		『日本文学全集 十一 謡曲狂言・歌舞伎集』		昭和36年4月 河出書房新社 ※全て現代語訳（杉山誠）。 ※注釈（池田弥三郎）、解説（戸板康二）を付す。
上方演出の六段目（延二郎の六段目）—忠臣蔵覚え書—	型	戸部銀作		芸能	昭和36・5	芸能発行 ※《2》実川延二郎の昭和36年2月東横ホール公演について。
やさしい名作の味わい方 忠臣蔵九段目	鑑賞	藤田洋		演劇界	昭和36・11	演劇出版社
芝居スケッチ 九段目、狐、馬	鑑賞	坪内節太郎		演劇界	昭和36・11	演劇出版社
寿・猿加入の豪華陣 [昭和36・10歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和36・11	演劇出版社
	鑑賞	戸板康二／監修		『朝日ソノラマ別冊 通し狂言 仮名手本忠臣蔵』		昭和36年12月 朝日ソノプレス社
『忠臣蔵』と『道成寺』 [昭和36・12歌舞伎座]	劇評	加賀山直三		演劇界	昭和37・1	演劇出版社
やさしい名作の味わい方 忠臣蔵大序／忠臣蔵二段目／忠臣蔵三段目／忠臣蔵四段目／忠臣蔵五段目／忠臣蔵六段目／忠臣蔵七段目／忠臣蔵道行／忠臣蔵九段目／忠臣蔵十段目／忠臣蔵十一段目	鑑賞	藤田洋		演劇界	昭和37・1～11	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
やさしいせりふの解釈 忠臣蔵大序／忠臣蔵二段目／忠臣蔵三段目／忠臣蔵四段目／忠臣蔵五段目／忠臣蔵六段目／忠臣蔵七段目／忠臣蔵八段目／忠臣蔵九段目／忠臣蔵十段目／忠臣蔵十一段目／	研究	服部幸雄		演劇界	昭和37・1～11	演劇出版社
黙阿弥と仮名手本	研究	田井庄之助		国文学攷	第28号	昭和37年5月 広島大学国語国文学会
『忠臣蔵』と『四谷怪談』 [昭和37・6京都南座]	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和37・7	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵の成立	研究	河竹繁俊		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵の構成	研究	守随憲治		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵の作者	研究	山本二郎		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
私感・忠臣蔵のひとたち	研究	安藤鶴夫		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
忠臣蔵の思想と背景	研究	村山知義		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
アドリブ忠臣蔵	研究	青江舜二郎		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
『仮名手本』以外の浄瑠璃	研究	吉永孝雄		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
『仮名手本』のほかのかぶき脚本	研究	利倉幸一		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
『忠臣蔵』の新脚本	研究	河竹登志夫		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
古式豊かな開幕（大序）	鑑賞	戸板康二		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
どんでん返しの面白さ（二段目）	鑑賞	権藤芳一		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
同情深める判官の忍耐（三段目）	鑑賞	服部幸雄		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
芸術的香気にあふれる（四段目）	鑑賞	三宅三郎		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
明るい「落人」の雰囲気（道行旅路の花婿）	鑑賞	郡司正勝		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
面白い原作の演出（五段目）	鑑賞	関山和夫		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
金が生んだ勘平の悲運（六段目）	鑑賞	浜村米蔵		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
遊蕩気分が横溢（七段目）	鑑賞	山口廣一		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
叙景本位の道行（八段目）	鑑賞	松本亀松		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
丸本物の最高峰（九段目）	鑑賞	三宅周太郎		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
やりきれぬ浪曲の人情（十段目）	鑑賞	金沢康隆		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
変化多い討入の演出（十一段目）	鑑賞	林京平		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
『仮名手本忠臣蔵』の演出の系譜	演出	内山美樹子		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 足利直義	芸談	加賀山直三／編	《8》 沢村宗十郎	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 桃井若狭之助	芸談	加賀山直三／編	《17》 市村羽左衛門	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
仮名手本忠臣蔵 芸談集 塩冶判官	芸談	加賀山直三／編	《7》尾上梅幸	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 顔世御前	芸談	加賀山直三／編	《7》中村福助	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 高師直	芸談	加賀山直三／編	《17》中村勘三郎	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 大星由良之助	芸談	加賀山直三／編	《8》松本幸四郎	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 石堂右馬之丞	芸談	加賀山直三／編	《14》守田勘弥	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 斧定九郎	芸談	加賀山直三／編	《8》坂東三津五郎	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 早野勘平	芸談	加賀山直三／編	《11》市川団十郎	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 寺岡平右衛門	芸談	加賀山直三／編	《2》尾上松緑	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 お軽	芸談	加賀山直三／編	《7》大谷友右衛門	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 戸無瀬	芸談	加賀山直三／編	《6》中村歌右衛門	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 芸談集 加古川本蔵	芸談	加賀山直三／編	《2》市川猿之助	演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
忠臣蔵の珍しい型	演出	戸部銀作		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
『忠臣蔵』の鳴物	演出	田中傳左衛門		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
『忠臣蔵』の美学	研究	相馬皓		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
文楽の忠臣蔵	研究	大西重孝		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
講談・落語・浪曲の忠臣蔵	研究	有竹修二 宮尾しげを／絵		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
忠臣蔵の実説	考証	編集部		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
忠臣蔵エピソード集	鑑賞	真野律太		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
『忠臣蔵』の文献	研究	菊池明		演劇界 忠臣蔵	昭和37・11増刊	演劇出版社
お軽	鑑賞	稲垣史生		『よるめき歌舞伎』		昭和38年7月 桃源社
	鑑賞	稲垣史生		『考証歌舞伎の花形』		昭和51年7月 新人物往来社
代役のことなど／基本が大切のこと	芸談	小島二朔	《8》坂東三津五郎	『父三津五郎』		昭和38年9月 演劇出版社
歌舞伎初等読本 忠臣蔵の人々	解説	相馬皓		演劇界	昭和38・11、12	演劇出版社
南北と仮名手本	研究	田井庄之助		国語教育研究	昭和38・12	広島大学教育学部光葉会
若さとエネルギー [昭和38・12東横ホール]	劇評	岡田英美子		演劇界	昭和39・1	演劇出版社
忠臣蔵—大序から城明渡し— 忠臣蔵—六段目— 忠臣蔵—九段目—	鑑賞	河竹登志夫		『歌舞伎 名場面名台詞』		昭和39年2月 秋田書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
田之助のお舟 [昭和39・4歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和39・5	演劇出版社
丸本『仮名手本忠臣蔵』覚書— 勘平像の構図—	研究	高田衛		日本文学	昭和39・6	日本文学協会
偲草姿錦絵 二人時蔵の追善 [昭和39・7歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和39・8	演劇出版社
	鑑賞	松島栄一		『忠臣蔵—その成 立と展開—』		昭和39年11月 岩波書店 ※岩波新書。
健康優良児の『忠臣蔵』 [昭和39・10東横ホール]	劇評	中村哲郎		演劇界	昭和39・11	演劇出版社
健康優良児の『忠臣蔵』 [昭和39・10東横ホール]	劇評	中村哲郎		『歌舞伎の幻』		昭和45年9月 神無書房
仮名手本忠臣蔵 一・二・三・四・五・六・七・ 八・九・十・十一	鑑賞	杉山誠／訳 田中千禾夫／訳者 代表		『国民の文学 十二 謡曲狂言歌舞伎 集』		昭和39年12月 河出書房新社 ※全て現代語訳（杉山誠）。 ※注釈（池田弥三郎）、解説（戸板康 二）を付す。
三人の秀才兄弟 [昭和40・3歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和40・4	演劇出版社
咲くやこの花 [昭和40・4大阪大阪新歌舞伎 座]	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和40・5	演劇出版社
忠臣蔵大序／忠臣蔵二段目／忠 臣蔵三段目／忠臣蔵四段目／忠 臣蔵五段目／忠臣蔵六段目／忠 臣蔵七段目／忠臣蔵八段目／忠 臣蔵九段目／忠臣蔵十段目／忠 臣蔵十一段目	芸談	(8) 坂東三津五 郎		『聞きかじり見か じり読みかじり』		昭和40年9月 三月書房
『忠臣蔵』の通し [昭和40・12歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和41・1	演劇出版社
『忠臣蔵』の通し [昭和40・12歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		『歌舞伎は生きて いる』		昭和55年12月 演劇出版社
四人の忠臣蔵 [昭和41・2名古屋御園座]	劇評	長谷川幸延		演劇界	昭和41・3	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
仮名手本忠臣蔵 第一 鶴が岡八幡宮社前の場（甲改め）・第二 桃井若狭之助屋敷の場（松切り）・第三 足利将軍家門前の場・松の間（刃傷）・裏門外の場・戸塚山中の場（道行旅路の花聲）・第四 扇が谷判官切腹の場・門外、城明け渡しの場・第五 山崎街道、二つ玉の場・第六 与市兵衛内、勘平切腹の場・第七 祇園町一力の場・第八 道行旅路の嫁入り・第九 山科閑居の場・第十 天河屋の場・第十一 高家討ち入りの場	鑑賞	守随憲治／編		『古典文学全集 二十一 歌舞伎名作物語』		昭和41年6月 ポプラ社 ※全て現代語訳。 ※解説を付す。
上方風『忠臣蔵』 [昭和42・3歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	昭和42・4	演劇出版社
続・成駒屋襲名披露興行 [昭和42・5歌舞伎座]	劇評	浜村米蔵		演劇界	昭和42・6	演劇出版社
由良助／おかる	鑑賞	戸板康二		『歌舞伎人物入門』		昭和42年7月 池田書店
〈かぶき〉はどんな演劇か 附・仮名手本忠臣蔵について	鑑賞	武智鐵二		『伝統演劇の発想』		昭和42年8月 芳賀書店
	鑑賞	河竹登志夫 林嘉吉		『原色写真文庫 忠臣蔵』		昭和42年12月 講談社
義士文学の発生と展開 忠臣蔵はなぜ日本人にうけるのか	鑑賞	佐藤忠男		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
義士文学の発生と展開 「仮名手本忠臣蔵」成立史	研究	祐田善雄		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
義士文学の発生と展開 「仮名手本忠臣蔵」以後の義士劇	研究	土田衛		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
義士文学の発生と展開 「忠臣蔵もの」の戯作	研究	水野稔		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
義士文学の発生と展開 江戸時代人の生活の中の「忠臣蔵」	研究	鈴木勝忠		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
義士文学の発生と展開 近代における義士文学	研究	尾崎秀樹		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
仮名手本忠臣蔵の研究 作者たち	研究	森修		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
仮名手本忠臣蔵の研究 戯曲の構成	研究	諏訪春雄		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
各段の研究 大序・二段目	研究	佐藤彰		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
各段の研究 三段目・四段目	研究	内山美樹子		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
各段の研究 五段目・六段目	研究	青木正次		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
各段の研究 七段目・九段目	研究	向井芳樹		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
各段の研究 十段目・十一段目	研究	松平進		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
各段の研究 道行＝八段目・おかげ参り・落人	研究	鳥越文蔵		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
型の研究 由良之助の型	型	菊池明		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
型の研究 師直の型	型	林京平		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
型の研究 定九郎の型	型	山本二郎		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
型の研究 勘平の型	型	山本二郎		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
型の研究 おかるの型	型	菊池明		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
型の研究 戸無瀬の型	型	林京平		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
忠臣蔵をめぐって 忠臣蔵の下座音楽	演出	景山正隆		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
忠臣蔵をめぐって 「操評判記」に見る「忠臣蔵」 の評判	研究	横山正		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
忠臣蔵をめぐって 歌舞伎の「役者評判記」に見ら れる忠臣蔵の評判	研究	大久保忠国		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
忠臣蔵をめぐって 「忠臣蔵岡目評判」と「忠臣蔵 偏癡気論」	解説	浦山政雄		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
忠臣蔵をめぐって ヨーロッパ復讐劇と「忠臣蔵」	研究	チャールス・ダン		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
忠臣蔵をめぐって 「仮名手本忠臣蔵」参考文献	研究	宮本瑞夫		国文学 解釈と鑑賞	昭和42・12	至文堂
歌舞伎鑑賞について 「忠臣蔵」ダイジェスト（仮名 手本忠臣蔵並びに道行旅路の花 婿）／封建生活の苦悶（仮名手 本忠臣蔵）九段目	鑑賞	加賀山直三		『歌舞伎』		昭和43年1月 雄山閣出版
囃子研究資料としての下座附— 仮名手本忠臣蔵の場合—	研究	景山正隆 杵屋栄左衛門		芸能史研究	第21号	昭和43年4月 芸能史研究会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
前進座の「忠臣蔵」ほかを見る [昭和43・7船橋ヘルセン ター]	劇評	藤田ノ記		演劇界	昭和43・8	演劇出版社
「超二流、について—忠臣蔵私 考—	鑑賞	青江舜二郎		季刊雑誌歌舞伎	昭和43・10	松竹株式会社演劇部
仮名手本忠臣蔵細見	鑑賞	富田鉄之助		季刊雑誌歌舞伎	昭和43・10	松竹株式会社演劇部
忠臣蔵版 新・御狂言楽屋本説	演出	《8》坂東三津五郎 藤浪与兵衛 長谷川勘兵衛 服部幸雄ノ司会・ 構成		季刊雑誌歌舞伎	昭和43・10	松竹株式会社演劇部
変り種・『忠臣蔵』の錦絵	研究	吉田暎二		季刊雑誌歌舞伎	昭和43・10	松竹株式会社演劇部
『忠臣蔵』の成立	研究	河竹登志夫		『河竹登志夫論 集』		平成11年12月 演劇出版社
通し狂言「仮名手本忠臣蔵」 [昭和43・11歌舞伎座]	劇評	郡司正勝		演劇界	昭和43・12	演劇出版社
延若・扇雀・芝翫 [昭和43・12京都南座]	劇評	北岸佑吉		演劇界	昭和44・1	演劇出版社
演劇研究「仮名手本忠臣蔵」研 究	研究	利根川ゼミナール		文芸論叢	第5号	昭和44年2月 立正学園女子短期大学
おかる勘平 道行・六段目ノ一力 茶屋 七段目	鑑賞	河竹登志夫 吉田千秋ノ写真		『歌舞伎のいの ち』		昭和44年3月 淡交社
大阪の『忠臣蔵』 [昭和44・2大阪大阪新歌舞伎 座]	劇評	藤井康雄		演劇界	昭和44・3	演劇出版社
大阪の『忠臣蔵』 [昭和44・2大阪大阪新歌舞伎 座]	劇評	藤井康雄		『歌舞伎の芸』		昭和49年11月 私家版
文化文政期の生命力—「四谷怪 談」と「忠臣蔵」—	研究	榎本茂男		展望	昭和44・3	筑摩書房
歌舞伎教室の『忠臣蔵』 [昭和44・7国立劇場]	劇評	箕原和子		演劇界	昭和44・8	演劇出版社
忠臣蔵の名優たち	芸談	北条誠	《3》市川左団次	『市川左団次芸談 きき書』		昭和44年10月 松竹本社演劇部
仲蔵初めて定九郎を勤むノ首と 釣替の筈ノ出世芸、蝙蝠安と膝 栗毛ノ絶句帳	芸談	《3》中村仲蔵ノ著 郡司正勝ノ校注		『手前味噌』		昭和44年11月 青蛙房
情熱は買うが… [昭和44・8国立劇場小劇場]	劇評	和角仁		演劇界	昭和44・11	演劇出版社
東西成駒屋の奮闘公演 [昭和44・10名古屋御園座]	劇評	藤野義雄		演劇界	昭和44・11	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵の型について— 四段目を中心として—	研究	杉山丈夫		国学院高等学校紀 要	昭和44・11	昭和44年11月 国学院高等学校
「仮名手本忠臣蔵」の一原拠	研究	長谷川強		演劇研究会会報	第8号	昭和44年12月 演劇研究会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
初代仲蔵の定九郎 その他名優の苦心の型	研究	石井国之		劇と評論	昭和44・12	「劇と評論」社
赤穂浪士事件と「仮名手本忠臣蔵」	研究	内山美樹子		国文学 解釈と教材の研究	第14巻第16号	昭和44年12月 学燈社
二つの芝居と舞踊 [昭和45・1歌舞伎座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和45・2	演劇出版社
忠臣蔵と水滸伝	鑑賞	郡司正勝		『かぶき袋』		昭和45年6月 青蛙房
「仮名手本忠臣蔵」十一段の意味	研究	堀川光子		近世文芸	第18号	昭和45年7月 日本近世文学会
歌舞伎名作選 忠臣蔵「五段目」「六段目」	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和45・8	演劇出版社
二枚目菊之助に期待 [昭和45・7国立劇場]	劇評	井草利夫		演劇界	昭和45・8	演劇出版社
木の芽会十周年を迎う [昭和45・7国立劇場小劇場]	劇評	如月青子		演劇界	昭和45・8	演劇出版社
歌舞伎名作選 忠臣蔵大序から「四段目」	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和45・12	演劇出版社
私の役づくり 桃井若狭之助 大星由良之助 一文字屋お才	芸談	土岐迪子／編	《6》市村竹之丞	演劇界	昭和46・1	演劇出版社
私の役づくり 顔世御前 おかる	芸談	土岐迪子／編	《5》沢村訥升	演劇界	昭和46・1	演劇出版社
私の役づくり 高師直 早野勘平 寺岡平右衛門	芸談	土岐迪子／編	《3》市川猿之助	演劇界	昭和46・1	演劇出版社
私の役づくり 塩冶判官 千崎弥五郎 本蔵妻戸無瀬	芸談	土岐迪子／編	《6》沢村田之助	演劇界	昭和46・1	演劇出版社
私の役づくり 腰元お軽（道行） 娘小浪	芸談	土岐迪子／編	《5》坂東玉三郎	演劇界	昭和46・1	演劇出版社
私の役づくり 薬師寺次郎左衛門 鷺坂伴内（道行） 弁定九郎 奴関助	芸談	土岐迪子／編	《4》市川段四郎	演劇界	昭和46・1	演劇出版社
安易な企画への危惧 [昭和45・12東横劇場]	劇評	水落潔		演劇界	昭和46・1	演劇出版社
忠臣蔵五段目 定九郎の新演出	研究	山中智恵子		歴史学研究	昭和46・6	歴史学研究会編 青木書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
大阪の芸	鑑賞	藤井康雄		『歌舞伎発見』		昭和46年9月 木耳社 ※上方系の六段目について。
「仮名手本忠臣蔵」の型〈資料〉	研究	杉山丈夫		国学院高等学校紀要	第13輯	昭和46年10月 国学院高等学校
忠臣蔵七段目	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和46・12	演劇出版社
おもしろく、笑いが不足 [昭和46・12帝国劇場]	劇評	青江舜二郎		演劇界	昭和47・1	演劇出版社
歌舞伎名作選 忠臣蔵九段目	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和47・2	演劇出版社
若い「忠臣蔵」 [昭和47・3新橋演舞場]	劇評	三井皓介		演劇界	昭和47・4	演劇出版社
忠臣蔵(一)～(五)	鑑賞	河竹登志夫／監修		『歌舞伎名場面100選』		昭和47年6月
四世鶴屋南北と『仮名手本忠臣蔵』	研究	渡辺智恵子		実践国文学	第2号	昭和47年9月 実践国文学会
	鑑賞			『仮名手本忠臣蔵I』		昭和47年10月 国立劇場 ※「歌舞伎の型」シリーズ2。
新作歌舞伎の新しい舞台美術その他	演出	金子洋文		劇と評論	昭和47・10	「劇と評論」の会
わたしの女形修業／院本物 忠臣蔵のお軽	芸談	《5》河原崎国太郎		『女形芸談』		昭和47年12月 未来社
仁左衛門好調 [昭和47・12京都南座]	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和48・1	演劇出版社
	鑑賞			『仮名手本忠臣蔵II』		昭和48年2月 国立劇場 ※「歌舞伎の型」シリーズ2。
私の役づくり 塩冶判官・戸無瀬	芸談	土岐迪子／編	《7》尾上梅幸	演劇界	昭和48・3	演劇出版社
私の役づくり 足利直義・斧定九郎・寺岡平右衛門	芸談	土岐迪子／編	《1》尾上辰之助	演劇界	昭和48・3	演劇出版社
私の役づくり 大星由良之助	芸談	土岐迪子／編	《17》市村羽左衛門	演劇界	昭和48・3	演劇出版社
私の役づくり 高師直・早野勘平・加古川本蔵	芸談	土岐迪子／編	《2》尾上松緑	演劇界	昭和48・3	演劇出版社
私の役づくり お軽	芸談	土岐迪子／編	《4》尾上菊之助	演劇界	昭和48・3	演劇出版社
私の役づくり 桃井若狭之助・勘平・千崎弥五郎	芸談	土岐迪子／編	《10》市川海老蔵	演劇界	昭和48・3	演劇出版社
私の役づくり 顔世御前・お石	芸談	土岐迪子／編	《4》中村雀右衛門	演劇界	昭和48・3	演劇出版社
二つの世代の『忠臣蔵』 [昭和48・2歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和48・3	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
考えて貰いたいことども [昭和48・5大阪大阪新歌舞伎座]	劇評	大鋸時生		演劇界	昭和48・6	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 一・二・三・四・五・六・七・ 八・九・十・十一	鑑賞	杉山誠／訳		『日本の古典 二十 歌舞伎・浄瑠璃 集』		昭和48年7月 河出書房新社 ※全て現代語訳。
楽しみな舞台三つ [昭和48・8国立劇場小劇場]	劇評	竹越一雄		演劇界	昭和48・9	演劇出版社
『忠臣蔵』三役	芸談	《3》中村翫右衛門		『演技自伝』		昭和48年9月 未来社
『仮名手本忠臣蔵』／「わかる こと」は大切か？／猫と愛妾と 二人の男	芸談	《8》坂東三津五郎		『歌舞伎 虚と実』		昭和48年10月 玉川大学出版部
「仮名手本忠臣蔵」改作者	研究	藤野義雄		中京大学文学部紀 要	第8号	昭和48年11月 中京大学文学部
「忠臣蔵人物評論」と「忠臣蔵 偏癡氣論」	研究	大沢美夫		経済集志	第43号	昭和48年11月 日本大学経済学研究会
私の古典鑑賞 勘平腹切 または六段目	鑑賞	渡辺保		演劇界	昭和48・12	演劇出版社
試演会と本格芝居と劇画と [昭和48・12国立劇場]	劇評	利根川裕		演劇界	昭和49・1	演劇出版社
忠臣蔵の小道具	鑑賞	藤浪与兵衛		『芝居の小道具— 創意と伝承—』		昭和49年3月 日本放送出版協会
江戸草紙筋書物と絵本番付— 「仮名手本忠臣蔵」の場合—	研究	小山一成		立正大学国語国文	第10号	昭和49年3月 立正大学
「忠臣蔵偏癡氣論」の成立	研究	大沢美夫		語文	第39号	昭和49年3月 日本大学国文学会
四谷怪談の成立と忠臣蔵	研究	井草利夫		日本大学農獣医学 部研究紀要	第9号	昭和49年3月 日本大学農獣医学部
「忠臣蔵」にみる義理・人情	解説	藤田洋		榎人間讃歌	第4号	昭和49年5月 榎出版社
精四郎の眸 [昭和49・8国立劇場小劇場]	劇評	清水一朗		演劇界	昭和49・10	演劇出版社 ※竹生会。
心象の展開 女心一途	鑑賞	河竹登志夫		『歌舞伎の世界 虚 像と実像』		昭和49年11月 淡交社 ※おかるについて。
私の古典鑑賞 九段目	鑑賞	渡辺保		演劇界	昭和49・12	演劇出版社
	鑑賞	望月太意之助		『歌舞伎下座音 楽』		昭和50年1月 演劇出版社 ※大序から七段目までの付帳。
忠臣蔵二段目 [昭和49・12国立劇場]	演出	土岐迪子		演劇界	昭和50・1	演劇出版社
加古川本蔵 [昭和49・12国立劇場]	劇評	武智鐵二		演劇界	昭和50・1	演劇出版社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵浄瑠璃の武家像	研究	内山美樹子		国文学 解釈と鑑賞	第40巻第1号	昭和50年1月 全文堂
黒本黄表紙等「忠臣蔵」もの研究 —徳川期「忠臣蔵」扮装研究に 資する一調査(上)—	研究	小山一成		立正大学文学部論 叢	第51号	昭和50年2月 立正大学文学部
『仮名手本忠臣蔵』成立史	鑑賞	祐田善雄		『浄瑠璃史論考』		昭和50年8月 中央公論社
血縁ばかりの追善公演 [昭和50・9歌舞伎座]	劇評	萩原雪夫		演劇界	昭和50・10	演劇出版社
師走の芝居歳時記 討ち入り	鑑賞	戸板康二		演劇界	昭和50・12	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 ※大序 鶴ヶ岡・第二 桃井館・ 第三 足利館・第四 塩冶館・第 五 鉄山崎街道・第六 与市兵 衛・第七 祇園一力・第八 道 行・第九 山科閑居・第十 天河 屋・第十一 討入	鑑賞	戸板康二		『日本の古典13 グ ラフィック版 仮名 手本忠臣蔵』		昭和50年12月 世界文化社
主要人物事典 赤穂四十七士・忠 臣蔵ゆかりの人々	鑑賞			『日本の古典13 グ ラフィック版 仮名 手本忠臣蔵』		昭和50年12月 世界文化社
地図 忠臣蔵ゆかりの江戸	鑑賞			『日本の古典13 グ ラフィック版 仮名 手本忠臣蔵』		昭和50年12月 世界文化社
元禄事件の史実と虚像	鑑賞	尾崎秀樹		『日本の古典13 グ ラフィック版 仮名 手本忠臣蔵』		昭和50年12月 世界文化社
「忠臣蔵」の作者たち	研究	内山美樹子		『日本の古典13 グ ラフィック版 仮名 手本忠臣蔵』		昭和50年12月 世界文化社
歌舞伎「忠臣蔵」	解説	鳥越文蔵		『日本の古典13 グ ラフィック版 仮名 手本忠臣蔵』		昭和50年12月 世界文化社
華麗なる序曲 [昭和50・12国立劇場]	劇評	小野英一		演劇界	昭和51・1	演劇出版社
バランスとアンバランス [昭和50・12京都南座]	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和51・1	演劇出版社
忠臣蔵—その文学性と大衆性—	研究	藤村美雪		宇部国文研究	第7号	昭和51年3月 宇部短期大学国語国文学研究室
古典の補綴について [昭和50・12国立劇場]	鑑賞	一言居士		劇と評論	昭和51・4	「劇と評論」社
由良助の絵看板／「七段目」の 思い出	芸談	《13》片岡仁左衛 門		『嵯峨談語』		昭和51年6月 三月書房
由良助の絵看板／「七段目」の 思い出	芸談	《13》片岡仁左衛 門		『嵯峨談語』		昭和63年6月 ※新装改訂版。

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
団平型の勘平	芸談	《17》中村勘三郎		『自伝 やっぱり役者』		昭和51年7月 文芸春秋
歌舞伎名作鑑賞 忠臣蔵（仮名手本忠臣蔵）	鑑賞	和角仁		『歌舞伎入門』		昭和51年9月 文研出版
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	山田恒雄		『歌舞伎の心』		昭和51年11月 丸井図書出版
名古屋顔見世を見て [昭和51・10名古屋御園座]	劇評	鷺見房子		演劇界	昭和51・11	演劇出版社
「四段目」の忠臣蔵／忠臣蔵 「明け渡しの場」	芸談	《13》片岡仁左衛門		『役者七十年』		昭和51年12月 朝日新聞社
	鑑賞	佐藤忠男		『忠臣蔵一意地の系譜』		昭和51年12月 朝日新聞社 ※朝日選書。
ロビーの対話 へんちき論	鑑賞	戸板康二		演劇界	昭和52・2	演劇出版社
忠臣蔵・三階席・沖繩芝居	鑑賞	矢野輝雄		演劇界	昭和52・2	演劇出版社
丁寧な『七段目』など [昭和52・2NHKホール]	劇評	(ふ)		演劇界	昭和52・4	演劇出版社 ※「NHK古典芸能鑑賞会」。
玉三郎に尽きる『桜姫東文章』 [昭和52・3京都南座]	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和52・4	演劇出版社
「仮名手本忠臣蔵」と黄表紙	研究	小山一成		立正大学文学部論叢	第58号	昭和52年7月 立正大学文学部
光る八十助の弁天小僧 [昭和52・8三越劇場]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和52・9	演劇出版社
鶴屋南北におけるパロディーとは何か—孤独な定九郎—	鑑賞	今尾哲也		国文学 解釈と教材の研究	第22巻第1号	昭和52年9月 学燈社
特集 仮名手本忠臣蔵 「忠臣蔵」の成立	研究	鳥越文蔵		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 「忠臣蔵」の忠義	研究	松田修		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 大序・見事な演出	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 三段目・師直対判官	鑑賞	和角仁		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 四段目・服喪の時間	鑑賞	権藤芳一		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 五段目・五段目の間	鑑賞	清水一郎		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 道行・華やかな一幕	鑑賞	浦山政雄		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 六段目・六段目雑感	鑑賞	松井俊諭		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 七段目・七段目随想	鑑賞	加賀山直三		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 八段目・うれいをひめた華麗さ	鑑賞	井野辺潔		演劇界	昭和52・10	演劇出版社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
特集 仮名手本忠臣蔵 九段目・芸の格闘	鑑賞	藤井康雄		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 東西『忠臣蔵』演出の相違	演出	戸部銀作		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 男たちのドラマゆえに	鑑賞	小泉喜美子		演劇界	昭和52・10	演劇出版社
川柳忠臣蔵攷	研究	小池章太郎		季刊雑誌歌舞伎	昭和52・10	松竹株式会社演劇部
東西の『忠臣蔵』比較細見	鑑賞	富田鉄之助		季刊雑誌歌舞伎	昭和52・10	松竹株式会社演劇部
お軽の肩	鑑賞	渡辺保		季刊雑誌歌舞伎	昭和52・10	松竹株式会社演劇部 ※「貞節と忍従の性根—世話女房十六人—」。 ※『女形百姿』（昭和53年9月、青蛙房）に収録。
「忠臣蔵」の魅力	鑑賞	落合清彦		演劇界	昭和52・11	演劇出版社
東と西の『忠臣蔵』あれこれ	鑑賞	編集部		演劇界	昭和52・12	演劇出版社
三十年目の大「忠臣蔵」 [昭和52・11歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和52・12	演劇出版社
独特上方の「忠臣蔵」 [昭和52・11大阪中座]	劇評	大鋸時生		演劇界	昭和52・12	演劇出版社
東西の『忠臣蔵』を観て	鑑賞	ふじたあさや		季刊雑誌歌舞伎	昭和53・1	松竹株式会社演劇部
女の義と男の情 [昭和53・1歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	昭和53・2	演劇出版社
見事なチームワーク [昭和53・10名古屋御園座]	劇評	関山和夫		演劇界	昭和53・11	演劇出版社
	鑑賞	河竹登志夫／監修		『伝統の美 仮名手本忠臣蔵』		昭和53年12月 立風書房
特集 忠臣蔵と日本人 概説忠臣蔵 この日本の事件	解説	利根川裕		現代のエスプリ	昭和54・1	至文堂
特集 忠臣蔵と日本人 仮名手本忠臣蔵の成立	解説	河竹登志夫		現代のエスプリ	昭和54・1	至文堂
特集 忠臣蔵と日本人 早野勘平 事実と虚構	研究	利根川裕		現代のエスプリ	昭和54・1	至文堂
特集 忠臣蔵と日本人 沈黙の言語・死の言語 忠臣蔵のコミュニケーション	研究	加藤秀俊		現代のエスプリ	昭和54・1	至文堂
特集 忠臣蔵と日本人 忠臣蔵の成立	解説	利根川裕		現代のエスプリ	昭和54・1	至文堂
十返舎一九の「忠臣蔵岡目評判」評釈	鑑賞	吉永孝雄		羽衣学園短期大学 研究紀要	第15号	昭和54年1月 羽衣学園短期大学
	鑑賞	郡司正勝／監修 林嘉吉・飯村隆／ 写真		『三大歌舞伎』		昭和54年3月 毎日新聞社
忠臣蔵人物評論	研究	扁屈道人 美山靖		愛媛大学地域社会 総合研究所研究報 告Aシリーズ	第16号	昭和54年3月 愛媛大学地域社会総合研究所

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
「忠臣蔵もの」の黄表紙	研究	沢田みち子		青山国文	第9号	昭和54年3月 青山学院大学
定着した年中行事 [昭和54・7国立劇場]	劇評	羽鳥昇兵		演劇界	昭和54・8	演劇出版社
現代っ子的なおかる／消耗する 塩治判官	芸談	《6》尾上梅幸		『梅と菊』		昭和54年10月 日本経済新聞社
ミーハーより愛をこめて [昭和54・8国立劇場小劇場]	劇評	富永保子		演劇界	昭和54・10	演劇出版社
“二十歳代のお軽、は初めて	芸談	村井志摩子／聞き書き	《5》河原崎国太郎	『女形の道ひとすじ』		昭和54年11月 読売新聞社
若さを盛りあげた京の顔見世 [昭和54・12京都南座]	劇評	大鋸時生		演劇界	昭和55・1	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 なぜ「忠臣蔵」か	鑑賞	尾崎秀樹		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 忠臣蔵にみる忠誠と情と	鑑賞	安田武		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 元禄時代の世相	鑑賞	長田午狂		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 太平記の世界	鑑賞	榎本滋民		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 寄席演芸の忠臣蔵	鑑賞	矢野誠一		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 巷談俗説の忠臣蔵	鑑賞	三田純市		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 忠臣蔵あらかると	鑑賞	上村以和於		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 忠臣蔵の芸談	演出	北潟喜久		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 忠臣蔵の本	鑑賞	編集部		演劇界	昭和55・3	演劇出版社
特集〈忠臣蔵〉の世界 若手競演の「忠臣蔵」 [昭和55・3歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和55・4	演劇出版社
『忠臣蔵』東西	鑑賞	戸板康二		『歌舞伎輪講』		昭和55年5月 小学館 ※小学館創造選書。
「忠臣蔵」役替り管見 [昭和55・3歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和55・5	演劇出版社
特集『忠臣蔵の世界』 赤穂事件から「忠臣蔵」まで	鑑賞	松島栄一 郡司正勝 大石慎三郎		歴史公論	昭和55・12	雄山閣出版
特集『忠臣蔵の世界』 忠臣蔵物語の成立と展開 その事実と虚構	研究	芳賀登		歴史公論	昭和55・12	雄山閣出版
特集『忠臣蔵の世界』 「忠臣蔵」上演の歴史と変遷	解説	落合清彦		歴史公論	昭和55・12	雄山閣出版

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
「忠臣蔵」の通し	鑑賞	浜村米蔵		『歌舞伎は生きている』		昭和55年12月 演劇出版社
『仮名手本忠臣蔵・五、六段目』—勘平—	芸談	《5》嵐芳三郎		『芳三郎芸話』		昭和56年1月 新日本出版社
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	西山松之助		『歌舞伎をみる—みがかれた芸の新しさ—』		昭和56年5月 岩波書店 ※岩波ジュニア新書。
	鑑賞	渡辺保		『忠臣蔵 もう一つの歴史感覚』		昭和56年11月 白水社 平成25年11月 講談社 ※講談社学術文庫
	鑑賞	尾崎秀樹／監修		『忠臣蔵銘々伝 物語と史蹟をたずねて』		昭和56年11月 成美堂出版
名場面の並ぶ襲名披露公演 [昭和56・10歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	昭和56・11	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵	芸談	《13》片岡仁左衛門		『菅原と忠臣蔵』		昭和56年11月 向陽書房 ※大序から十一段目までの型、東西の演出の比較。
	鑑賞	諏訪春雄		『忠臣蔵の世界 日本人の心情の源流』		昭和57年1月 大和書房
顔見世の効用 [昭和56・12京都南座]	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和57・1	演劇出版社
忠臣蔵と四谷怪談の神話	研究	ミッシェル・ワッセルマン 西永良成／訳		中央公論	昭和57・1	中央公論社
忠臣蔵	鑑賞	渡辺保		『歌舞伎手帖』		昭和57年8月 鬩々堂出版
忠臣蔵	鑑賞	渡辺保		『新版歌舞伎手帖』		平成13年1月 講談社
仮名手本忠臣蔵のお軽	研究	諏訪春雄		国文学 解釈と教材の研究	第27巻第13号	昭和57年9月 学燈社
戦後第四世代の「忠臣蔵」 [昭和57・9新橋演舞場]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和57・10	演劇出版社
川柳忠臣蔵	鑑賞	小池章太郎		『江戸の残照』		昭和57年12月 思索社
捌く役—爽やかさ 『仮名手本忠臣蔵』	鑑賞	野口達二 吉田千秋		『岩波グラフィックス10 歌舞伎細見』		昭和58年2月 岩波書店
仮名手本忠臣蔵	鑑賞			『歌舞伎名作事典』		昭和58年3月 演劇出版社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
西洋の忠臣蔵—『仮名手本忠臣蔵』とその英訳『忠義』との比較研究—	研究	佐藤秀也		演劇学	昭和58・3	早稲田大学演劇学会
返り血をあびる男	鑑賞	落合清彦		『江戸の黙示録』		昭和58年5月 思索社 ※城明渡しの由良之助について。
競書手本忠臣蔵 “忠臣蔵、完成品と可能性 [昭和58・5京都南座]	劇評	北川忠彦		演劇界	昭和58・6	演劇出版社
忠臣蔵の世界像—その変遷と人物像の成立—	研究	中山幹雄		江東史談	昭和58・9	江東史談会
ワープロ忠臣蔵 [昭和58・5京都南座]	劇評	植田正弘		劇評	第29号	昭和58年10月 清水一朗
競書手本でなく仮名手本を観たい [昭和58・5京都南座]	劇評	前田泰司		劇評	第29号	昭和58年10月 清水一朗
京都で観る「七段目」 [昭和58・5京都南座]	劇評	津金規雄		劇評	第29号	昭和58年10月 清水一朗
仮名手本忠臣蔵	解説	今尾哲也		『歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
忠臣蔵物	解説	今尾哲也		『歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
落人	解説	板谷徹		『歌舞伎事典』		昭和58年11月 平凡社 服部幸雄・富田鉄之助・廣末保／編
落人	解説	板谷徹		『〈新版〉歌舞伎事典』		平成23年3月
	鑑賞	鶴見俊輔 安田武		『忠臣蔵と四谷怪談 日本人のコミュニケーション』		昭和58年11月 朝日新聞社 ※朝日選書。
浮世草子・演劇における赤穂浪士物について	研究	広嶋進		近世文芸研究と評論	第25号	昭和58年11月 早稲田大学文学部神保研究室
	鑑賞	吉田千秋		『写真忠臣蔵』		昭和58年12月 保育社 ※カラーボックス。
三人奮闘の“忠臣蔵、 [昭和58・12歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	昭和59・1	演劇出版社
『仮名手本忠臣蔵』の役々 [昭和58・12歌舞伎座]	合評	上村以和於 佐藤俊一郎 二川清 木本公世 清水一朗／司会・ 採録・構成		劇評	第34号	昭和59年10月 清水一朗

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵と現代―“憧れ、から” 共感、へ―	鑑賞	西田祐美江		歌舞伎座筋書	昭和59・2	松竹株式会社
忠臣蔵と現代―“憧れ、から” 共感、へ―	鑑賞	西田祐美江		『芝居帳』		平成8年5月 私家版
鶴屋南北と忠臣蔵	研究	中山幹雄		江東史談	第210号	昭和59年3月 江東史談会
“学生、意見 [昭和59・6国立劇場]	劇評	津金規雄		演劇界	昭和59・7	演劇出版社
型破りな勘平を望む [昭和59・6国立劇場]	劇評	大久保徳宏		劇評	第34号	昭和59年10月 清水一朗
勘平再び [昭和59・6国立劇場]	劇評	立花繭子		劇評	第34号	昭和59年10月 清水一朗
六代目が今 [昭和59・6国立劇場]	劇評	藤崎周平		劇評	第34号	昭和59年10月 清水一朗
青春一力茶屋 [昭和59・7国立劇場]	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	昭和59・8	演劇出版社
「忠臣蔵」の下座音楽	鑑賞	田中伝左衛門		『囃子とともに― 十一世田中伝左衛門 門著作集』		昭和59年9月 田中伝左衛門氏の喜寿を祝う会
浄瑠璃三大名作 二 「仮名手本忠臣蔵」から大星由 良之助と早野勘平	芸談	《13》片岡仁左衛 門		『とうざいとうざ い 歌舞伎芸談西 東』		昭和59年10月 自由書館
	鑑賞	丸谷才一		『忠臣蔵とは何 か』		昭和59年10月 講談社
忠臣蔵と日本人	対談	丸谷才一・ 梅原猛		現代	昭和59・11	講談社
忠臣蔵と日本人	対談	丸谷才一・ 梅原猛		『世紀末そして忠 臣蔵丸谷才一対談 集』		昭和62年9月 立風書房
月下、雪中のドラマ [昭和59・11歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	昭和59・12	演劇出版社
歌舞伎素人講釈 仮名手本忠臣蔵	解説	武智鉄二		序破急	昭和60・1	序破急社
忠臣蔵・八犬伝	鑑賞	大岡昇平		新潮	昭和60・1	新潮社
六代目菊五郎のこと／兄、吉右 衛門のこと／芸の話	芸談	関容子	《17》中村勘三郎	『中村勘三郎楽屋 ばなし』		昭和60年1月 文芸春秋
六代目菊五郎のこと／兄、吉右 衛門のこと／芸の話	芸談	関容子	《17》中村勘三郎	『中村勘三郎楽屋 ばなし』		昭和62年12月 ※文春文庫。
〈対談〉忠臣蔵と日本文化	鑑賞	吉田秀和 丸谷才一		群像	昭和60・2	講談社
色悪・定九郎の変貌	鑑賞	野口武彦		『江戸百鬼夜行』		昭和60年3月 ぺりかん社
『忠臣蔵とは何か』その後	鑑賞	津金規雄		劇評	昭和60・5	「劇評」社
お軽と勘平のために―諏訪春雄 に答へる	鑑賞	丸谷才一		群像	昭和60・5	講談社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	戸板康二		『歌舞伎題名絵とき』		昭和60年6月 駈々堂出版
忠臣蔵のために—丸谷才一氏に問う	鑑賞	諏訪春雄		群像	昭和60・6	講談社
文学の研究とは何か	鑑賞	丸谷才一		群像	昭和60・7	講談社
寺岡平右衛門の成立	研究	北川忠彦		芸能史研究	第90号	昭和60年7月 芸能史研究会
「忠臣蔵」論争	鑑賞	向井敏		本	昭和60・8	講談社
忠臣蔵とは何か	対談	丸谷才一・ 川村二郎		THE GOLD	第2巻 第9号	昭和60年9月 JCB
忠臣蔵とは何か	対談	丸谷才一・ 川村二郎		『世紀末そして忠臣蔵丸谷才一对談集』		昭和62年9月 立風書房
	鑑賞	小室金之助		『忠臣蔵の事件簿』		昭和60年12月 東京書籍
戯れ書き・私の『忠臣蔵』	鑑賞	小泉喜美子		『歌舞伎は花ざかり』		昭和61年1月 駈々堂出版
		河村藤雄	《6》中村歌右衛門	『六代目中村歌右衛門』	下巻	昭和61年2月 小学館
忠臣蔵の女たち 不在のヒロイン 顔世御前	鑑賞	小笠原恭子		演劇界	昭和61・2	演劇出版社
忠臣蔵の女たち 戸無瀬の思い出	鑑賞	松本道子		演劇界	昭和61・2	演劇出版社
忠臣蔵の女たち なでしこの君 小浪	鑑賞	芦川照葉		演劇界	昭和61・2	演劇出版社
忠臣蔵の女たち 恋する女 お軽	鑑賞	関容子		演劇界	昭和61・2	演劇出版社
忠臣蔵の女たち 花ならば蠟梅 ずっしりと手ごたえのあるお石どの	鑑賞	鷺見房子		演劇界	昭和61・2	演劇出版社
二つの忠臣蔵	研究	浜田侑子		関東学院大学人文科学研究報	第9号	昭和61年3月 関東学院大学人文科学研究所
私の役づくり 大星由良之助ほか	芸談	金森和子／編	《12》市川団十郎	演劇界	昭和61・3	演劇出版社
私の役づくり 塩冶判官	芸談	金森和子／編	《7》中村芝翫	演劇界	昭和61・3	演劇出版社
私の役づくり 高師直	芸談	金森和子／編	《5》中村富十郎	演劇界	昭和61・3	演劇出版社
私の役づくり おかる	芸談	金森和子／編	《5》坂東玉三郎	演劇界	昭和61・3	演劇出版社
私の役づくり 平右衛門ほか	芸談	金森和子／編	片岡孝夫	演劇界	昭和61・3	演劇出版社
通し狂言 仮名手本忠臣蔵 [昭和61・2歌舞伎座]	合評	上総英郎 野村喬 服部幸雄		演劇界	昭和61・3	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
団十郎・孝夫・玉三郎の『忠臣蔵』 [昭和61・2歌舞伎座]	劇評	藤井康雄		『歌舞伎批評』		平成1年11月 私家版
日本人の表現—仮名手本忠臣蔵を 観る	鑑賞	丸谷才一 山崎正和		中央公論	昭和61・3	中央公論社
	鑑賞	国立劇場事業部／ 編		『通し狂言 仮名手 本忠臣蔵 ハンド ブック』		昭和61年4月 国立劇場
	鑑賞	森村誠一		『忠臣蔵（上） （下）』		昭和61年10月 朝日新聞社
大序細見	鑑賞	戸板康二		第一三八回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・10	国立劇場事業部宣伝課
人情の機微—二段目・三段目・ 四段目—	鑑賞	河竹登志夫		第一三八回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・10	国立劇場事業部宣伝課
道行旅路の花聲	鑑賞	諏訪春雄		第一三八回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・10	国立劇場事業部宣伝課
忠臣蔵文化	鑑賞	西山松之助		第一三八回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・10	国立劇場事業部宣伝課
永遠の忠臣蔵	鑑賞	大石慎三郎 萩昌弘		第一三八回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・10	国立劇場事業部宣伝課
三ヶ月にわたる〈忠臣蔵〉＝国 立劇場20周年	グラビア 解説	編集部		第一三八回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・10	国立劇場事業部宣伝課
極付きの判官と師直＝〈三段 目〉の梅幸と勘三郎	グラビア 解説	中村哲郎		第一三八回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・10	国立劇場事業部宣伝課
君と臣＝〈四段目〉の主従の交 錯	グラビア 解説	落合清彦		第一三八回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・10	国立劇場事業部宣伝課
特集 忠臣蔵の虚と実 『仮名手本忠臣蔵』のドラマツ ルギー	鑑賞	野村喬		演劇界	昭和61・11	演劇出版社
特集 忠臣蔵の虚と実 内蔵之助の実像	研究	尾崎秀樹		演劇界	昭和61・11	演劇出版社
特集 忠臣蔵の虚と実 四十七番目の義士 寺岡平右衛門 と寺坂吉右衛門の虚実	鑑賞	榎本慈民		演劇界	昭和61・11	演劇出版社
特集 忠臣蔵の虚と実 大野九郎兵衛赤穂脱出後の行方	鑑賞	大原由紀夫		演劇界	昭和61・11	演劇出版社
館（やかた）の騒動	鑑賞	中村哲郎		演劇界	昭和61・11	演劇出版社
浅野内匠頭と塩冶判官	鑑賞	利根川裕		演劇界	昭和61・11	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
歌舞伎の表現をさぐるⅧ 『忠臣蔵』芸の伝承—大序から 四段目	型	服部幸雄／司会・ 構成	《17》市村羽左衛門 《2》中村又五郎	演劇界	昭和61・11	※『歌舞伎の表現をさぐる』（平成13年 10月、演劇出版社）に収録。
定本『仮名手本忠臣蔵』 [昭和61・10国立劇場]	劇評	志野葉太郎		演劇界	昭和61・11	※大序～道行旅路の花聲。
名優たちの『忠臣蔵』 [昭和61・10国立劇場]	劇評	藤井康雄		『歌舞伎批評』		平成1年11月 私家版
五段目・六段目の舞台	鑑賞	郡司正勝		第一三九回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・11	国立劇場事業部宣伝課
一力茶屋の場	鑑賞	阪倉篤義		第一三九回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・11	国立劇場事業部宣伝課
八段目の道行	鑑賞	松崎仁		第一三九回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・11	国立劇場事業部宣伝課
身売りと奉公	鑑賞	石井良助		第一三九回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・11	国立劇場事業部宣伝課
忠臣蔵のひろがり	鑑賞	邦光史郎 矢野暢		第一三九回国立劇 場歌舞伎公演解説 書	昭和61・11	国立劇場事業部宣伝課
『忠臣蔵』の第二部＝五段目か ら八段目	グラビア 鑑賞	編集部		演劇界	昭和61・12	演劇出版社
おかるは泣いてみる	鑑賞	今尾哲也		演劇界	昭和61・12	演劇出版社
うそから出たまこと—虚実の祇 園—一力茶屋—	鑑賞	榎本滋民		演劇界	昭和61・12	演劇出版社
私の役づくり 仮名手本忠臣蔵七 段目 大星由良之助	芸談	金森和子／編	《13》片岡仁左衛門	演劇界	昭和61・12	演劇出版社
私の役づくり 仮名手本忠臣蔵七 段目 お軽	芸談	金森和子／編	《7》尾上梅幸	演劇界	昭和61・12	演劇出版社
私の役づくり 仮名手本忠臣蔵七 段目 寺岡平右衛門	芸談	金森和子／編	《17》市村羽左衛門	演劇界	昭和61・12	演劇出版社
やっぱり独参湯	鑑賞	河竹登志夫		演劇界	昭和61・12	演劇出版社
歌舞伎の表現をさぐるⅨ 『忠臣蔵』芸の伝承—五段目か ら十一段目	型	服部幸雄／司会・ 構成	《17》市村羽左衛門 《2》中村又五郎	演劇界	昭和61・12	演劇出版社 ※『歌舞伎の表現をさぐる』（平成13年 10月、演劇出版社）に収録。
『忠臣蔵』の目玉 [昭和61・11国立劇場]	劇評	戸板康二		『戸板康二劇評 集』		平成3年6月 演劇出版社
続・名優たちの『忠臣蔵』 [昭和61・11国立劇場]	劇評	藤井康雄		『歌舞伎批評』		平成1年11月 私家版

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
九段目の思い出と雪転し	鑑賞	戸部銀作		第一四〇回国立劇場歌舞伎公演解説書	昭和61・12	国立劇場事業部宣伝課
ある昔話「十段目」「十一段目」のこと	鑑賞	小野英一		第一四〇回国立劇場歌舞伎公演解説書	昭和61・12	国立劇場事業部宣伝課
歌舞伎と文楽 忠臣蔵の思い出など	鑑賞	角田一郎		第一四〇回国立劇場歌舞伎公演解説書	昭和61・12	国立劇場事業部宣伝課
発掘された赤穂城本丸庭園	考証	西山松之助		第一四〇回国立劇場歌舞伎公演解説書	昭和61・12	国立劇場事業部宣伝課
忠臣蔵の技巧	鑑賞	神田山陽 新藤兼人		第一四〇回国立劇場歌舞伎公演解説書	昭和61・12	国立劇場事業部宣伝課
日本人のアイデンティティ 忠臣蔵の深層—日本人の劇観念	研究	諏訪春雄		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
日本人のアイデンティティ 忠臣蔵における葛藤解決	研究	加藤秀俊		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
日本人のアイデンティティ 忠臣蔵と王権の論理	研究	山口昌男		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
日本人のアイデンティティ 時代の精神史の中で	研究	尾藤正英		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
日本人のアイデンティティ 組織論としての忠臣蔵	研究	松田修		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
『仮名手本』の二人の不義士— 定九郎と勘平	研究	郡司正勝		国文学 解釈と教材の研究 「忠臣蔵・日本人の証明」	第31巻第15号	昭和61年12月 学燈社
忠臣蔵フィールドワーク 仮名手本忠臣蔵の作者	研究	内山美樹子		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
忠臣蔵フィールドワーク 由良之助とお軽勘平—『仮名手 本忠臣蔵』の宇宙	研究	服部幸雄		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
忠臣蔵フィールドワーク 義士・不義士銘々伝—『仮名手 本忠臣蔵』の人物造型	研究	古井戸秀夫		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
忠臣蔵、社会現象として 復讐論の系譜—中国から日本へ	研究	野口武彦		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
忠臣蔵、社会現象として 忠臣蔵の受容—集团的陶醉として	研究	野田正彰		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
忠臣蔵、社会現象として 忠臣蔵、そのパロディと海外から の眼	研究	大笹吉雄		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵、社会現象として 忠臣蔵伝承の担い手たち―徠 徠、仲蔵、南北、九代目団十 郎、雲右衛門、青果など	研究	渡辺保		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
現代文学のなかの忠臣蔵 芥川龍之介 或日の大石内蔵之助	鑑賞	三島讓		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
現代文学のなかの忠臣蔵 大仏次郎 赤穂浪士	鑑賞	紅野敏郎		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
現代文学のなかの忠臣蔵 真山青果 元禄忠臣蔵	鑑賞	栗坪良樹		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
現代文学のなかの忠臣蔵 五味康祐 薄桜記	鑑賞	石井和夫		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
現代文学のなかの忠臣蔵 つかこうへい つか版忠臣蔵	鑑賞	内田保弘		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
現代文学のなかの忠臣蔵 井上ひさし 不忠臣蔵	鑑賞	今井忠純		国文学 解釈と鑑賞	昭和61・12	学燈社
忠臣蔵のものがたり 史実・仮名手本忠臣蔵・講談 浪 花節 落語の比較	研究	中山幹雄		国文学 解釈と教材 の研究 「忠臣蔵・日本人 の証明」	第31巻第15号	昭和61年12月 学燈社
忠臣蔵文庫30選	梗概	諏訪春雄／編 諏訪春雄・中山幹 雄・松井静夫・宮 尾與男／執筆		国文学 解釈と教材 の研究 「忠臣蔵・日本人 の証明」	第31巻第15号	昭和61年12月 学燈社
話はベジャールのバレエからは じまる	鑑賞	丸谷才一 諏訪正		国文学 解釈と教材 の研究 「忠臣蔵・日本人 の証明」	第31巻第15号	昭和61年12月 学燈社
話はベジャールのバレエからは じまる	鑑賞	丸谷才一 諏訪正		『世紀末そして忠 臣蔵丸谷才一对談 集』		昭和62年9月 立風書房
特集 元禄事件簿 忠臣蔵の時代 元禄芝居模様	鑑賞	渡辺保		太陽	昭和61・12	平凡社
特集 忠臣蔵 私たちにとって「忠臣蔵」とは 何か その現代的意義	鑑賞	渡辺保		序破急	昭和61・12	序破急社
特集 忠臣蔵 「仮名手本忠臣蔵」の成立とそ の時代	鑑賞	林京平		序破急	昭和61・12	序破急社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
特集 忠臣蔵 由良之助の型の変遷	演出	菊池明		序破急	昭和61・12	序破急社
特集 忠臣蔵 いまだに目に、耳に残っています〔戸無瀬〕	芸談		《6》中村歌右衛門	序破急	昭和61・12	序破急社
特集 忠臣蔵 とにかく芝居は写実ですから〔師直・勘平・判官〕	芸談		《17》中村勘三郎	序破急	昭和61・12	序破急社
特集 忠臣蔵 忠臣蔵の小唄	鑑賞	田中青磁		序破急	昭和61・12	序破急社
特集 忠臣蔵 大衆芸能の忠臣蔵	鑑賞	榎本滋民		序破急	昭和61・12	序破急社
特集 忠臣蔵 「忠臣蔵」の映画化	鑑賞	佐藤忠男		序破急	昭和61・12	序破急社
特集 忠臣蔵 世界の中の「忠臣蔵」	鑑賞	ドナルド・キーン		序破急	昭和61・12	序破急社
特集 忠臣蔵 英語による忠臣蔵公演	鑑賞	ジェイムズ・ブランドン		序破急	昭和61・12	序破急社
	鑑賞	宇野信夫 福田尚武／写真		『歌舞伎写真絵物語 由良之助とおかる 勘平』		昭和61年12月 河出書房新社
	鑑賞	藤田洋		『一冊まるごと忠 臣蔵の本』		昭和61年12月 KKロングセラーズ
男でござる天川屋＝十段目 〔昭和61・12国立劇場〕	グラビア 鑑賞	小池章太郎		演劇界	昭和62・1	演劇出版社
大きなスケールで結びたい＝十一段目 〔昭和61・12国立劇場〕	グラビア 鑑賞	野口達二		演劇界	昭和62・1	演劇出版社
私の役づくり・仮名手本忠臣蔵 九段目 戸無瀬	芸談	金森和子／編	《6》中村歌右衛門	演劇界	昭和62・1	演劇出版社
私の役づくり・仮名手本忠臣蔵 九段目 加古川本蔵	芸談	金森和子／編	《3》河原崎権十郎	演劇界	昭和62・1	演劇出版社
私の役づくり・仮名手本忠臣蔵 九段目 お石	芸談	金森和子／編	《7》中村芝翫	演劇界	昭和62・1	演劇出版社
私の役づくり・仮名手本忠臣蔵 九段目 大星由良之助	芸談	金森和子／編	《17》市村羽左衛門	演劇界	昭和62・1	演劇出版社
『忠臣蔵』最終回 〔昭和61・12国立劇場〕	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和62・1	演劇出版社
南座で年に一度の歌舞伎公演 〔昭和61・12京都南座〕	劇評	権藤芳一		演劇界	昭和62・1	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
総括 三ヶ月の『忠臣蔵』 〔昭和61・10～12国立劇場〕	劇評	水落潔		序破急	昭和62・4	序破急社 ※「特集・元禄忠臣蔵」。
特集 あらためて〈忠臣蔵〉 いま、なぜ忠臣蔵か	鑑賞	松島栄一		演劇界	昭和62・3	演劇出版社
特集 あらためて〈忠臣蔵〉 二つの『忠臣蔵』の人物像〔仮 名手本忠臣蔵・元禄忠臣蔵〕	鑑賞	野村喬		演劇界	昭和62・3	演劇出版社
忠臣蔵文献四十七選解題（一）	研究	中山幹雄		江東史談	昭和62・3	江東史談会
論争を読む 論争評判不言思本忠臣蔵 —丸谷才一『忠臣蔵とは何か』 をめぐって	鑑賞	敷地博		成城国文学	昭和62・3	成城国文学会
『忠臣蔵』思い出草／大忠臣蔵 の大団円	芸談	(3) 河原崎権十 郎		『紫扇まくあいば なし』		昭和62年4月 演劇出版社
忠臣蔵芸談（一）難しい七段目 の由良助	芸談		《13》片岡仁左衛門	序破急	昭和62・4	序破急社
忠臣蔵芸談（二）つらい判官の 役	芸談		《7》尾上梅幸	序破急	昭和62・4	序破急社
特集 元禄忠臣蔵 忠臣蔵の普遍性 モラルは世界共 通	鑑賞	林健太郎		序破急	昭和62・4	序破急社
特集 元禄忠臣蔵 武士道 忠臣蔵と幕末会津藩	鑑賞	早乙女貢		序破急	昭和62・4	序破急社
特集 元禄忠臣蔵 なぜ『忠臣蔵』を書いたのか	鑑賞	森村誠一		序破急	昭和62・4	序破急社
特集 元禄忠臣蔵 ろうにんプロダクション 『ザ・アコー』 忠臣蔵サラリ マン的考察	鑑賞	鈴木健二		序破急	昭和62・4	序破急社
特集 元禄忠臣蔵 地域振興と忠臣蔵 赤穂市	鑑賞	笠木忠雄		序破急	昭和62・4	序破急社
『太平記』と『忠臣蔵』—世界 の形成についての覚え書（上） （下）	研究	今尾哲也		文学	昭和62・4 昭和62・9	岩波書店 ※「特集 歌舞伎」
『太平記』と『忠臣蔵』—世界 の形成についての覚え書（上） （下）	研究	今尾哲也		『吉良の首 忠臣蔵とイマジ ネーション』		昭和62年12月 平凡社
殿中大廊下の刃傷／城下静謐の うちに／赤穂城明渡し／赤穂浪 士の筆記／赤穂浪士の書状／吉 良邸討入り／四藩御預り記録／ 切腹・遠島の処断／四十六士論 ／赤穂四十七士—覧ほか	研究	赤穂市教育委員会 市史編さん室／編		『忠臣蔵』第三巻		昭和62年7月 赤穂市
お軽・勘平	鑑賞	荒俣宏 いまいかおる／イ ラスト		『歌舞伎キャラク ター事典』		昭和62年12月 新書館

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
大阪の『忠臣蔵』	鑑賞	藤井康雄		大阪中座公演筋書	昭和63・1	松竹株式会社
大阪の『忠臣蔵』	鑑賞	藤井康雄		『歌舞伎の客』		昭和63年10月 私家版
オールラウンド・プレーヤー “ 扇雀、＝〈忠臣蔵〉〈植木屋〉 [昭和63・1大阪中座]	グラビア 鑑賞	福島秀治		演劇界	昭和63・2	演劇出版社
由良之助、気迫充分 [昭和63・1大阪中座]	劇評	菅泰男				
扇雀奮闘の『忠臣蔵』 [昭和63・1大阪中座]	劇評	藤井康雄		『歌舞伎批評』		平成1年11月 私家版
歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』初演 の劇場	研究	服部幸雄		芸能	昭和63・3	芸能発行所
	鑑賞	飯尾精		『忠臣蔵の真相』		昭和63年4月 新人物往来社
名作の周辺 仮名手本忠臣蔵①～⑤	鑑賞	森西真弓		『上方芸能への招待』		昭和63年4月 『上方芸能』出版センター
〈忠臣蔵〉の人気と型の定着＝ 大序から四段目	鑑賞	松井俊諭		演劇界	昭和63・4	演劇出版社
歌舞伎十二ヶ月のうち 落人 [昭和63・3歌舞伎座]	グラビア 鑑賞	山口龍之輔		演劇界	昭和63・4	演劇出版社
第三世代の『忠臣蔵』 [昭和63・3歌舞伎座]	劇評	如月青子		演劇界	昭和63・4	演劇出版社
乱戦五十日興行 [昭和63・3歌舞伎座]	劇評	中村哲郎		演劇界	昭和63・4	演劇出版社
がんばれ！歌舞伎、観客の心をつかめ [昭和63・3歌舞伎座]	劇評	安西志保美		歌舞伎 研究と批評	1	昭和63年8月 歌舞伎学会
孝夫・吉右衛門の『忠臣蔵』 [昭和63・3歌舞伎座]	劇評	藤井康雄		『歌舞伎批評』		平成1年11月 私家版
お軽 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	津田類 吉田千秋		『女方 歌舞伎のヒロインたち』		昭和63年5月 朝日新聞社
歌舞伎の進化を見るような＝ 五・六・七段目	グラビア 鑑賞	小池章太郎		演劇界	昭和63・5	演劇出版社
四段目の由良助の胸中	演出	野村喬		演劇界	昭和63・5	演劇出版社
由良鬼はまたいな	鑑賞	西山松之助		演劇界	昭和63・5	演劇出版社
歌舞伎十二ヶ月のうち 五月雨 [昭和63・4歌舞伎座]	グラビア 鑑賞	山口龍之輔		演劇界	昭和63・5	演劇出版社
競演『忠臣蔵』 [昭和63・4歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和63・5	演劇出版社
配役の変更で新鮮味 [昭和63・4歌舞伎座]	劇評	林京平		演劇界	昭和63・5	演劇出版社
孝夫・吉右衛門そして菊五郎の 『忠臣蔵』 [昭和63・4歌舞伎座]	劇評	藤井康雄		『歌舞伎批評』		平成1年11月 私家版

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
浄瑠璃劇三名作紹介(三) 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	西村清		『歌舞伎—ミステ リーの系譜—』		昭和63年6月 芳文館
	鑑賞	戸板康二		『歌舞伎役名由 来』		昭和63年6月 駸々堂 ※大星由良之助・大星力弥・おかや・お かる・斧九太夫・加古川本蔵・高師直に ついて。
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	上総英郎		『歌舞伎通』		昭和63年9月 主婦の友社
仮名手本忠臣蔵 勘平腹切	鑑賞	永山武臣		『新潮CDブック 歌舞伎名セリフ 集』	中巻	昭和63年10月 新潮社 ※CD付。
祇園一力茶屋	鑑賞	永山武臣		『新潮CDブック 歌舞伎名セリフ 集』	下巻	昭和63年10月 新潮社 ※CD付。
『忠臣蔵』の東と西	型	藤井康雄		はしり	昭和63・10	関西学院大学古典芸能研究部
『忠臣蔵』の東と西	型	藤井康雄		『歌舞伎の客』		昭和63年10月 私家版
忠臣蔵ノート	鑑賞	中山幹雄		『浮世絵かぶきシ リーズ3 忠臣蔵物語』		昭和63年12月 学芸書林
忠臣蔵における生と死—義太夫 節から浪花節へ	鑑賞	松井静夫		『日本文学講座 第 十一巻』		平成1年3月 日本文学協会／編 大修館書店／発行
殿中大廊下の刃傷／赤穂城明渡 し／仇討への軌跡／吉良邸討入 りの日／四十六士をお預け、処 断／四十六士をめぐる論議／系 図、年表、人命索引	研究	赤穂市教育委員会 市史編さん室／編		『忠臣蔵』第一巻		平成1年3月 赤穂市
仮名手本忠臣蔵 高師直・由良之助・定九郎 二人 侍・勘平・平右衛門	芸談	織田紘二 中嶋典央	(2) 尾上松緑	『松緑芸話』		平成1年5月 講談社
役者によって異なる味わい＝〈忠 臣蔵〉五・六段目 [平成1・6国立劇場]	グラビア 鑑賞	水落潔		演劇界	平成1・7	演劇出版社
高校生に囲まれて [平成1・6国立劇場]	劇評	安部優蔵		演劇界	平成1・7	演劇出版社
福助の勘平へ一つの提案 [平成1・6国立劇場]	劇評	安西志保美		歌舞伎 研究と批評	4	平成1年12月 歌舞伎学会
福助の勘平に不思議な色気 [平成1・6国立劇場]	劇評	渡辺保		『歌舞伎劇評』		平成6年7月 朝日新聞社
大星由良之助—管理者の知的ダン ディズム	鑑賞	杉本苑子		『歌舞伎のダン ディズム』		平成1年8月 日本放送出版協会
勘平／由良之助	鑑賞	水落潔		『歌舞伎紳士録・ 江戸のシティー ボーイ』		平成1年11月 鎌倉書房

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
お軽	鑑賞	水落潔		『歌舞伎淑女録・江戸のキャリアウーマン』		平成1年11月 鎌倉書房
名作鑑賞 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	藤波隆之		『歌舞伎の世界』		平成1年12月 講談社
視線の「改良」と写実の位相 (下)	研究	神山彰		歌舞伎 研究と批評	4	平成1年12月 歌舞伎学会 ※安政6年9月市村座上演時の舞台装置について。
役も多彩、役者も多才＝〈忠臣蔵〉 [平成1・11新橋演舞場]	グラビア 鑑賞	松井俊諭		演劇界	平成1・12	演劇出版社
進境著しい新世代の『忠臣蔵』 [平成1・11新橋演舞場]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成1・12	演劇出版社
歌舞伎における伝承と話題性 [平成1・11新橋演舞場]	劇評	如月青子		歌舞伎 研究と批評	5	平成2年6月 歌舞伎学会
判官・勘平二役の勘九郎 [平成1・11新橋演舞場]	劇評	渡辺保		『歌舞伎劇評』		平成6年7月 朝日新聞社
歌舞伎名作鑑賞 忠臣蔵 (仮名手本忠臣蔵)	鑑賞	和角仁		『伝統芸能シリーズ2 歌舞伎』		平成2年2月 ぎょうせい
忠臣蔵早わかり	鑑賞	中村又五郎 佐貴百合人		『ことばの民俗学4 日本の伝統を伝えることわざ 芝居』		平成2年3月 創拓社
浄瑠璃／歌舞伎／邦楽・歌謡／ 落語・小咄／講談・浪曲／黄表紙・滑稽本／謡曲	研究	赤穂市教育委員会 市史編さん室／編		『忠臣蔵』 第四巻		平成2年3月 赤穂市
特集 12のキーワード「ケレン」 ケレンのポイント	芸談	小玉祥子	《3》実川延若	演劇界	平成2・4	演劇出版社
上方と東京の演出 その一「忠臣蔵」	鑑賞	水落潔		『上方歌舞伎』		平成2年9月 東京書籍
芝居と赤穂浪士事件	鑑賞	津田類		『江戸歌舞伎の周辺』		平成2年9月 ペリかん社
	鑑賞	林京平		『描かれた忠臣蔵 —「仮名手本忠臣蔵」と浮世絵—』		平成2年11月 麻布美術工芸館 ※「芝居絵に歌舞伎をみる」展示図録。
落人 道行旅路の花髻	解説	古井戸秀夫		『舞踊手帖』		平成2年11月 鬩々堂出版
落人 道行旅路の花髻	解説	古井戸秀夫		『新版舞踊手帖』		平成12年11月 新書館
歌舞伎のカップル おかる勘平の巻	鑑賞	落合清彦		演劇界	平成3・1	演劇出版社
芸談で綴る狂言鑑賞 (三十八) 仮名手本忠臣蔵 五、六段目	鑑賞	石橋健一郎		演劇界	平成3・2	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
芸談で綴る狂言鑑賞（三十八） 仮名手本忠臣蔵 五、六段目	鑑賞	石橋健一郎		『歌舞伎見どころ 聞きどころ 芸談で つづる歌舞伎鑑 賞』		平成5年5月 淡交社
大きく纏まったドラマの起点＝ 忠臣蔵・三段目 〔平成3・2歌舞伎座〕	グラビア 鑑賞	志野葉太郎		演劇界	平成3・3	演劇出版社
葬送の儀への参加＝忠臣蔵・四 段目 〔平成3・2歌舞伎座〕	グラビア 鑑賞	林京平		演劇界	平成3・3	演劇出版社
悲劇の予感を漂わして＝忠臣 蔵・道行旅路の花聲 〔平成3・2歌舞伎座〕	グラビア 鑑賞	編集部		演劇界	平成3・3	演劇出版社
倒叙型のスリリングな展開＝忠 臣蔵五・六段目 〔平成3・2歌舞伎座〕	グラビア 鑑賞	小池章太郎		演劇界	平成3・3	演劇出版社
よじれをほぐすおかるの鏡＝忠 臣蔵七・十一段目 〔平成3・2歌舞伎座〕	グラビア 鑑賞	天野道映		演劇界	平成3・3	演劇出版社
極めつき塩冶判官 〔平成3・2歌舞伎座〕	劇評	戸板康二		演劇界	平成3・3	演劇出版社
『忠臣蔵』と入れ事の研究の要 〔平成3・2歌舞伎座〕	劇評	野村喬		演劇界	平成3・3	演劇出版社 ※『歌舞伎評論』（平成7年4月、リプロ ポート）に収録。
この「間」、はこころの間＝忠臣 蔵五・六段目 〔平成3・2大阪中座〕	グラビア 解説	安部達児		演劇界	平成3・3	演劇出版社
鷹治郎の花と艶 〔平成3・2大阪中座〕	劇評	亀井五郎		演劇界	平成3・3	演劇出版社
「刃傷」で羽左衛門と梅幸のイ キがピタリ 〔平成3・2歌舞伎座〕	劇評	渡辺保		『歌舞伎劇評』		平成6年7月 朝日新聞社 ※東京朝日新聞劇評。
仮名手本忠臣蔵	鑑賞			『歌舞伎衣裳附 帳』		平成3年4月 松竹衣裳株式会社
人生の迷路 『仮名手本忠臣蔵』一六段目	鑑賞	渡辺保		『歌舞伎という宇 宙 私の古典鑑賞』		平成3年4月 筑馬書房
間の契りはひとよぎり 『仮名手本忠臣蔵』一九段目	鑑賞	渡辺保		『歌舞伎という宇 宙 私の古典鑑賞』		平成3年4月 筑馬書房
三大名作 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	山川静夫 吉田千秋／写真		『山川静夫の歌舞 伎十八選』		平成3年6月 講談社
芝居の宿場・街道十二景 山崎街道	鑑賞	矢野誠一		演劇界	平成3・6	演劇出版社
特集 三代目実川延若追悼 「イスカのハシ」を想う	鑑賞	水落潔	《3》実川延若	演劇界	平成3・7	演劇出版社
仮名手本・四谷怪談・盟三五大 切一南北の忠臣蔵世界	研究	中山幹雄		江東史談	平成3・9	江東史談会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
『仮名手本忠臣蔵』の大序より四段目一変り演出のいろいろ— ／五、六段目—勘平の型東と西の相違— 「七段目」—華やかさの裏の哀愁味— 「九段目」—役者の風格で生かされる名作—	鑑賞	志野葉太郎		『歌舞伎 型の伝承』		平成3年10月 演劇出版社
稟質に合った染五郎の勘平＝ 〈忠臣蔵五・六段目〉 [平成3・8国立小劇場]	グラビア 鑑賞	和角仁		演劇界	平成3・10	演劇出版社
実りの夏 [平成3・8国立小劇場]	劇評	藤巻透		演劇界	平成3・10	演劇出版社
芸談で綴る狂言鑑賞（四十七） 仮名手本忠臣蔵 九段目	鑑賞	石橋健一郎		演劇界	平成3・11	演劇出版社
芸談で綴る狂言鑑賞（四十七） 仮名手本忠臣蔵 九段目	鑑賞	石橋健一郎		『歌舞伎見どころ 聞きどころ 芸談で つづる歌舞伎鑑賞』		平成5年5月 淡交社
落人	解説	編集部		演劇界 歌舞伎名作 舞踊	平成3・12増刊	演劇出版社
芸談拾遺〔落人のおかる〕	芸談	土岐迪子	《6》尾上梅幸	演劇界 歌舞伎名作 舞踊	平成3・12増刊	演劇出版社
恋人たちのポーズ〔落人〕	鑑賞	関容子		演劇界 歌舞伎名作 舞踊	平成3・12増刊	演劇出版社
三名作 仮名手本忠臣蔵／お軽・勘平の恋	鑑賞	古井戸秀夫 河野多恵子		『新潮古典文学アルバム22 歌舞伎』		平成4年1月 新潮社
次代を堅める配役で見せた＝ 〈忠臣蔵〉七段目 平右衛門の魅力 [平成3・12京都南座]	グラビア 鑑賞	権藤芳一		演劇界	平成4・1	演劇出版社
『熊谷陣屋』と『忠臣蔵七段目』 [平成3・12京都南座]	劇評	藤井康雄		演劇界	平成4・1	演劇出版社
上方における「型」の意識	型	水落潔		歌舞伎 研究と批評	8	平成4年1月 歌舞伎学会 ※上方系の「六段目」について。
もうひとつの『四段目』のために	型	上村以和於		歌舞伎 研究と批評	8	平成4年1月 歌舞伎学会 ※上方系の「六段目」について。
忠臣蔵	鑑賞	戸部銀作／総監修		『歌舞伎教室 第二 巻 作品編Ⅰ』		平成4年2月 ライフワーク研究所

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
囃子研究資料としての附帳 「仮名手本忠臣蔵」の場合	鑑賞	景山正隆		『歌舞伎音楽の研究—国文学の視点』		平成4年2月 新典社 ※中井猪三郎キッカケ帳第貳番所収「仮名手本忠臣蔵」明治3年11月・京四条北芝居所演（影印）」を付録。
上方歌舞伎の楽しさ—「忠臣蔵」演出の工夫—	演出	権藤芳一		国立文楽劇場公演解説書	平成4・2	国立文楽劇場事業課
監修のことば	演出	山田庄一		国立文楽劇場公演解説書	平成4・2	国立文楽劇場事業課
忠臣蔵〔上〕	鑑賞			『早稲田大学演劇博物館所蔵芝居絵図録2』		平成4年3月 早稲田大学出版部
特集 上方歌舞伎 三代目鴈治郎七役相勤め申し候 七役を替る鴈治郎の奮闘—（忠臣蔵）通し 〔平成4・2大阪国立文楽劇場〕	鑑賞	秋元勝		演劇界	平成4・3	演劇出版社
鴈治郎奮闘の『忠臣蔵』 〔平成4・2大阪国立文楽劇場〕	グラビア 鑑賞	松井俊諭		演劇界	平成4・3	演劇出版社
上方風七役早替りの『忠臣蔵』 〔平成4・2大阪国立文楽劇場〕	劇評	権藤芳一		演劇界	平成4・3	演劇出版社
上方風七役早替りの『忠臣蔵』 〔平成4・2大阪国立文楽劇場〕	劇評	藤井康雄		歌舞伎 研究と批評	9	平成4年6月 歌舞伎学会
上方風七役早替りの『忠臣蔵』 〔平成4・2大阪国立文楽劇場〕	劇評	藤井康雄		『歌舞伎の客 続』		平成4年11月 私家版
舞踊「八段目（下の巻）」—その成立・伝承・影響—	研究	丸茂美恵子		芸能の科学	第20号	平成4年3月 東京国立文化財研究所
男の意地と武士の義務—『仮名手本忠臣蔵』	鑑賞	渡辺文雄 伊達なつめ		『歌舞伎絢爛ハンドブック 伝統芸を10倍楽しむ』		平成4年4月 KKベストセラーズ
かぶきを観る 誌上舞台鑑賞 仮名手本忠臣蔵—四段目—	鑑賞	近藤瑞男		国文学 解釈と教材の研究	第37巻第6号	平成4年5月 学燈社
忠臣蔵の男と女	鑑賞	編集部		演劇界 歌舞伎の百役花形歌舞伎PART II	平成4・6増刊	演劇出版社
『忠臣蔵』三つの恋	鑑賞	天野道映		演劇界 歌舞伎の百役花形歌舞伎PART II	平成4・6増刊	演劇出版社
「忠臣蔵」よもやま話	鑑賞	山田庄一		大向う	第24号	平成4年6月 関西・歌舞伎を愛する会
最初の赤穂義士劇に関する憶説—江戸板絵入狂言本の語りかけるもの—	鑑賞	赤間亮 鳥越文蔵／編		『歌舞伎の狂言—言語表現の追及—』		平成4年7月 八木書店
歌舞伎名作百選 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	水落潔		『歌舞伎おもしろ百科』		平成4年9月 毎日新聞社
顔見世月芝居京名所 雪 山科閑居 忠臣蔵九段目 山科雑感	鑑賞	秋山加代		演劇界	平成4・11	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
芸のポイント 戸無瀬	芸談		《3》中村鴈治郎	演劇界	平成4・11	演劇出版社
大幅カットの是非 [平成4・9～10地方公演]	劇評	岡崎文		演劇界	平成4・11	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	渡辺文雄／写真		『ファンタジック ワールド歌舞伎』		平成4年12月 学習研究社
おかる—『仮名手本忠臣蔵』	鑑賞	馬場順		『女のせりふ』		平成4年12月 日本放送出版協会
趣向の深さ楽しさ＝〈忠臣蔵七 段目〉 [平成4・11歌舞伎座]	グラビア 鑑賞	林京平		演劇界	平成4・12	演劇出版社
「封印切」を見る楽しさ [平成4・11歌舞伎座]	劇評	戸部銀作		演劇界	平成4・12	演劇出版社
「七段目」の吉右衛門に軽妙さ と深み [平成4・11歌舞伎座]	劇評	渡辺保		『歌舞伎劇評』		平成6年7月 朝日新聞社 ※東京朝日新聞劇評。
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	小山観翁		『歌舞伎通になる 本』		平成5年1月 グラフ社8月
イヤホンガイド風観劇手引 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	小山観翁		『歌舞伎、「花」 のある話』		平成16年5月 光文社 ※改題、加筆修正。
イヤホンガイド風観劇手引 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	小山観翁		『歌舞伎通になる 本』		平成21年7月 グラフ社 ※加筆改訂新装版。
歌舞伎ヒーローの誕生（2） 早野勘平	鑑賞	利根川裕		演劇界	平成5・2	演劇出版社
鴈治郎、上方の観客の好みを満 たす一人七役の熱演＝〈忠臣 蔵〉 [平成5・1大阪中座]	グラビア 鑑賞	権藤芳一		演劇界	平成5・2	演劇出版社
再度、鴈治郎の『忠臣蔵』七役 [平成5・1大阪中座]	劇評	北川忠彦		演劇界	平成5・2	演劇出版社
忠臣蔵〔下〕	鑑賞			『早稲田大学演劇 博物館所蔵 芝居絵図録3』		平成5年3月 早稲田大学出版部
歌舞伎等上演年表／浄瑠璃上演 年表／映画作品年表／テレビ作 品年表	研究	赤穂市教育委員会 市史編さん室／編		『忠臣蔵』第五巻		平成5年3月 赤穂市
加古川家の断絶	研究	今尾哲也		芸能	第九号	平成5年3月 芸能発行所
『忠臣蔵』本蔵考—その死への 行動に就て	研究	栗林有加		熊本女子大学国文 研究	平成5・3	熊本女子大学国文談話会
	鑑賞	松田修		『江戸異端文学 ノート』		平成5年5月 青土社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
大星由良助	鑑賞	渡辺保		『カブキ・ハンドブック』		平成5年5月 新書館 渡辺保／編
お軽・勘平	鑑賞	児玉竜一				
	鑑賞	木村伊兵衛／撮影 千谷道雄／編		『六代目 尾上菊五郎 全盛期の名人藝』		平成5年6月 文芸春秋
忠臣蔵 武家の第一礼装〔大紋〕／矢絰 は腰元のユニホーム／ふしぎ絵 の千畳敷／旅支度の角隠し／ 「五十両」の衣裳／勘平の浅葱 色／分別の三原色〔茶と黒と 緑〕／イメージメーカー〔雁木 模様〕	鑑賞	金森和子 吉田千秋／写真		『歌舞伎ファッ ション』		平成5年6月 朝日新聞社
型の迷路—紋服とゴザ—	型	田村素		歌舞伎 研究と批評	11	平成5年6月 歌舞伎学会 ※「六段目」の勘平について。
由良之助の茶屋遊び	鑑賞	渡辺保	由良之助（《13》片岡仁左衛門）	『仁左衛門の風格』		平成5年7月 河出書房新社
忠臣蔵	鑑賞	渡辺保／編		『カブキ—物語』		平成5年7月 新書館
紀伊国屋の勘平を胸の内に秘め …＝〈五、六段目〉 〔平成5・6国立劇場〕	グラビア 鑑賞	和角仁		演劇界	平成5・7	演劇出版社
納得できる錯誤の悲劇＝〈五、 六段目〉 〔平成5・6三越劇場〕	グラビア 鑑賞	編集部		演劇界	平成5・7	演劇出版社
競演の五・六段目 〔平成5・6国立劇場／三越劇 場〕	劇評	中村哲郎		演劇界	平成5・7	演劇出版社
国立と三越の「忠臣蔵」競演は 三越の勝ち 〔平成5・6国立劇場／三越劇 場〕	劇評	渡辺保		『歌舞伎劇評』		平成6年7月 朝日新聞社
特集 歌舞伎・殺しの美学 演者の工夫 斧定九郎	芸談		《9》市川団蔵	演劇界	平成5・8	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	水落潔		『歌舞伎鑑賞辞 典』		平成5年9月 東京堂出版
色に耽ったばかりに…、勘平の 悲劇＝〈五、六段目〉 〔平成5・8～9地方公演〕	グラビア 鑑賞	水沼一郎		演劇界	平成5・10	演劇出版社
近未来的配役 〔平成5・8～9地方公演〕	劇評	上村以和於		演劇界	平成5・10	演劇出版社
ミナミとキタ・華やぐ競演 〔平成5・9大阪中座〕	劇評	岡崎文		演劇界	平成5・10	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
『忠臣蔵』のおかやと、中村屋二代	鑑賞	西村彰朗		『一方の花 五代目上村吉弥の 生涯』		平成5年11月 図書印刷同朋舎
挿話・仮名手本忠臣蔵ほか	鑑賞	戸板康二		『歌舞伎 ちょっと いい話』		平成5年11月 主婦の友社
梅之助・芳三郎が秀逸の「一本 刀」 [平成5・10前進座]	劇評	渡辺保		『歌舞伎劇評』		平成6年7月 朝日新聞社 ※東京朝日新聞劇評。
歌舞伎ヒーローの誕生(12) 大星由良之助	鑑賞	利根川裕		演劇界	平成5・12	演劇出版社
「忠臣蔵」ものあれこれ—その 芸能化を中心に	研究	松島栄一		日本古書通信	平成5・12	日本古書通信社
「仮名手本忠臣蔵」考—その成 立と浮世草子	研究	長谷川強		学苑	平成6・2	昭和女子大学近代文化研究所
	鑑賞	切畑健		『歌舞伎衣裳』		平成6年3月 京都書院 ※大序の衣裳について。
義太夫狂言の手法	研究	大西敦子		学習院大学国語国 文学会誌	平成6・3	学習院大学国語国文学会
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	藤野義雄		『名作歌舞伎の舞 台鑑賞』		平成6年6月 御園座 ※大序～山科閑居。
名優忠臣蔵	鑑賞	山川静夫		『歌舞伎の知恵』		平成6年7月 演劇出版社
仮名手本忠臣蔵 山崎街道(五段目)／勘平住家 (六段目)／一力茶屋(七段 目)	鑑賞	藤田洋		『歌舞伎ハンド ブック』		平成6年7月 三省堂
『仮名手本忠臣蔵』	鑑賞	勝部真長		『忠臣蔵と日本人 —日本の心情の回 帰点—』		平成6年7月 PHP研究所
早野勘平／大星由良之助	鑑賞	利根川裕		『歌舞伎英雄伝 説』		平成6年10月 講談社
歌舞伎ヒロインの誕生 忠臣蔵のお軽	鑑賞	利根川裕		演劇界	平成6・10	演劇出版社
	鑑賞	国立文楽劇場調査 養成課調査資料係 ／編		『忠臣蔵の世界 そ の絶えざる作品の 系譜』		平成6年10月 日本芸術文化振興会 ※国立文楽劇場開場十周年記念展示品図 録。
“意外性”で評判、団十郎の師 直／吉良家家老の「生首の領収 書」	鑑賞	木村隆		『歌舞伎やじ馬ば なし』		平成6年12月 集英社
	鑑賞	中江克己		『忠臣蔵の謎』		平成6年12月 河出書房新社
絵で読む忠臣蔵—二本の梯子	研究	赤間亮		日本古書通信	平成6・12	日本古書通信社
仮名手本忠臣蔵	解説	落合清彦		演劇界 丸本歌舞伎	平成7・1増刊	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
私の『忠臣蔵』	鑑賞	渡辺守章		演劇界 丸本歌舞伎	平成7・1増刊	演劇出版社
終戦直後の『大忠臣蔵』 [昭和22・11東京劇場]	鑑賞	松井俊諭		演劇界 丸本歌舞伎	平成7・1増刊	演劇出版社
おかやの涙	鑑賞	葛西聖司		演劇界 丸本歌舞伎	平成7・1増刊	演劇出版社
山川静夫の三大名作インタ ビュー どこをとっても忠臣蔵は、カッ コいい	鑑賞	橋本治 山川静夫		演劇界 丸本歌舞伎	平成7・1増刊	演劇出版社
名セリフ抄	鑑賞	編集部		演劇界 丸本歌舞伎	平成7・1増刊	演劇出版社
芸談抄	芸談	編集部		演劇界 丸本歌舞伎	平成7・1増刊	演劇出版社
猪 「仮名手本忠臣蔵」山崎街道の 場	鑑賞	高久久		『歌舞伎動物記 十二支尽歌舞伎色 種』		平成7年2月 近代文芸社
特集 丸本歌舞伎」 丸本名作舞台研究 仮名手本忠臣 蔵	解説	落合清彦		演劇界	平成7・2	演劇出版社
追う者と追われる者 仮名手本忠臣蔵	鑑賞			『歌舞伎入門』		平成7年3月 婦人画報社 ※婦人画報あるすぶっくす。
“三重、合方の効用と悲劇の展 開〈三段目〉	グラビア 鑑賞	松井俊諭		演劇界	平成7・3	演劇出版社
悲劇のなかにも浮き立つ相愛の ＝〈落人〉	グラビア 鑑賞	萩原雪夫		演劇界	平成7・3	演劇出版社
いすかの嘴の序曲＝〈五段目〉	グラビア 鑑賞	野村喬		演劇界	平成7・3	演劇出版社
同時代演劇としての忠臣蔵の大 団円＝〈十一段目〉	グラビア 鑑賞	落合清彦		演劇界	平成7・3	演劇出版社
各段各役充実の舞台 [平成7・2歌舞伎座]	合評	志野葉太郎 中村哲郎 水落潔		演劇界	平成7・3	演劇出版社 ※通し。
三大名作歌舞伎 [平成7・2歌舞伎座]	合評	如月青子 郡司正勝 渡辺保 犬丸治／司会		歌舞伎 研究と批評	16	平成7年12月 歌舞伎学会
平成七年二月五日 二月大歌舞伎 〈歌舞伎座〉	鑑賞	辰沼利彦		『歌舞伎日記—歌 舞伎の詩と真実 —』		平成8年12月 日本図書刊行会
陰囃子の研究のための一方法— 五・六段目の比較分析から—	研究	田中美加		楽劇学	第2号	平成7年3月 楽劇学会
勘平の型の源流—画証資料をつ かって	研究	田口章子		フェリス女子学院 大学国文学論叢	平成7・6	フェリス女子学院大学
地芝居資料から見た平右衛門の ドラマ	研究	佐藤彰		演劇研究会会報	平成7・6	大阪市立大学文学部国語国文学研究室 演劇研究会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
色悪の美—仮名手本忠臣蔵・五段目／滅びの美—仮名手本忠臣蔵・六段目／深謀の人—仮名手本忠臣蔵・七段目／静謐の気合—仮名手本忠臣蔵・九段目	鑑賞	服部幸雄		『歌舞伎歳時記』		平成7年7月 新潮社 ※新潮選書。
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	武藤純子		『講座日本の演劇 第四卷 近世の演劇』		平成7年8月 勉誠社
第四部 虚と実 『仮名手本忠臣蔵』	鑑賞	安田文吉 安田徳子		『歌舞伎入門』		平成7年10月 おうふう
	鑑賞	丸谷才一		『丸谷才一評論集 第三卷 芝居は忠臣蔵』		平成7年12月 文芸春秋
『山科閑居』と『輝虎配膳』 [平成7・11京都南座]	劇評	権藤芳一		演劇界	平成7・12	演劇出版社
観劇抄 『仮名手本忠臣蔵・九段目山科閑居』 [平成7・11京都南座]	劇評	藤井康雄		『歌舞伎の客 新』		平成8年11月 私家版
歌舞伎の定番といえる芝居 忠臣蔵五段目・六段目	鑑賞	田口章子 寺門孝之／画		『ミーハー歌舞 伎』		平成8年1月 東京書籍
お軽・大星由良之助	鑑賞			『歌舞伎鑑賞ガイ ド』		平成8年2月 小学館
敵討説話の形成—「仮名手本忠臣蔵」から「伊賀越乗掛合羽」へ—	研究	河合真澄		国語と国文学	第73巻第5号	平成8年5月 至文堂
『仮名手本忠臣蔵』六段目の二つの疑問	研究	二川清		日本文学	平成8・6	日本文学協会
かけつけ(昭和32・3・9) 数多い珍型、失敗談／勘平雑話(昭和33・3・25) 紋服着用には三つの型	鑑賞	波木井皓三		『かぶき手帖—追悼・波木井皓三—』		平成8年7月 伝統芸術の会 ※遺稿集。
歌舞伎鑑賞 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	斎藤栄三郎		『歌舞伎へようこそ』		平成8年7月 河出書房新社
「仮名手本忠臣蔵」テキストデータベースの作成と公開における問題点	研究	江木鶴子 前田桂子		宇部短期大学学術報告	第33号	平成8年7月 宇部短期大学
	鑑賞	藤原成一		『幽霊お岩 忠臣蔵と四谷怪談』		平成8年8月 青弓社
孝夫の由良之助 [平成8・7大阪中座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成8・8	演劇出版社
九六年上半期の関西での歌舞伎公演 [平成8・7大阪中座]	劇評	宮辻政夫		歌舞伎 研究と批評	19	平成9年6月 歌舞伎学会
忠臣蔵の話	鑑賞	木村雄之助		『随筆 奇言冗語』		平成8年11月 丸井図書出版

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
仮名手本忠臣蔵 大序・三・四段目／五・六段目 ／七段目／九段目	鑑賞	藤井康雄		『歌舞伎の客 新』		平成8年11月 私家版
『仮名手本忠臣蔵』における刃傷事件脚色の方法―「小栗、から」「太平記」へ	研究	黒石陽子		東京学芸大学紀要 (人文科学)	第48号	平成9年2月 東京学芸大学
『仮名手本忠臣蔵』論―〈塩治判官はなぜ刃傷に及んだのか〉をめぐって	研究	中村一基		岩手大学教育学部 研究年報	平成9・2	岩手大学教育学部
『仮名手本忠臣蔵』のドラマツルギー「心底」に憑かれた者たちの攻防戦―	研究	中村一基		岩手大学教育学部 附属教育実践研究 指導センター紀要	第7号	平成9年3月 岩手大学教育学部附属教育実践研究指導センター
七役替りの忠臣蔵	芸談	《3》中村鷹治郎 土岐迪子／聞き書		『中村鷹治郎 一生青春』		平成9年3月 演劇出版社
川柳・狂歌／抜文句／芝居本／小説・戯曲	研究	赤穂市教育委員会 市史編さん室／編		『忠臣蔵』第六巻		平成9年3月 赤穂市
忠臣蔵の核心	グラビア 鑑賞	野村喬		演劇界	平成9・3	演劇出版社
年輪を重ねた芸・雀右衛門の三千歳 〔平成9・2歌舞伎座〕	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成9・3	演劇出版社
「忠臣蔵九段目」の失敗 〔平成9・2歌舞伎座〕	劇評	渡辺保		『劇評家の椅子― 歌舞伎を見る』		平成12年4月 朝日新聞社
鷺坂伴内考	研究	永井潤		演劇創造	第26号	平成9年3月 日本大学芸術学部演劇学科
道行旅路の花髻（落人）	鑑賞	塚田圭一		『平成歌舞伎委員会』		平成9年4月 扶桑社
落人	鑑賞			『歌舞伎名作鑑賞2 歌舞伎名作舞踊』		平成9年6月 演劇出版社 ※新装改訂
歌舞伎を彩る十二の恋〔おかる・勘平〕	解説	天野道映		演劇界 歌舞伎の恋人たち	平成9・6増刊	演劇出版社
花恋人狂言百種〔顔世・判官／おかる・勘平／力弥・小浪〕	解説	編集部		演劇界 歌舞伎の恋人たち	平成9・6増刊	演劇出版社
音菊爽親子対談〔勘平の財布〕	芸談	鈴木治彦／司会	《7》尾上菊五郎 《5》尾上菊之助	演劇界 歌舞伎の恋人たち	平成9・6増刊	演劇出版社
歌舞伎名作狂言抄 恋人達独断考察〔おかる・勘平／力弥・小浪〕	鑑賞	眠狎女史 不惑子		演劇界 歌舞伎の恋人たち	平成9・6増刊	演劇出版社
義太夫狂言の展開	鑑賞	児玉竜一		『岩波講座 歌舞伎・文楽 第二巻 歌舞伎の歴史 I』		平成9年7月 岩波書店 ※「初代仲蔵の定九郎をめぐって」。

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
忠臣蔵の現在—〈忠臣蔵の世界〉ノート	鑑賞	中山幹雄		『近松 南北 黙阿弥—歌舞伎ノート』		平成9年8月 高文堂 ※国立文楽劇場公演解説書「忠臣蔵の夕べ」(平成6年10月)初出。
勘平の死／判官	芸談	《7》中村芝翫 小玉祥子／聞き書		『芝翫芸模様』		平成9年11月 集英社
上方芸、鴈治郎と我當のやりとり [平成9・10名古屋御園座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成9・11	演劇出版社
舞踊「八段目(下の巻)」①— その成立・伝承・影響—	研究	丸茂祐佳		舞踊研究	第21巻第2号	平成9年12月 駒井企画
旅に見る史跡の中の歌舞伎—城 明渡し—	鑑賞			きがく	第37号	平成10年1月 伎楽会
身体への視点	鑑賞	岩井真実		『岩波講座 歌舞伎・文楽 第五巻 歌舞伎の身体論』		平成10年2月 岩波書店
舞踊「八段目(下の巻)」②— その成立・伝承・影響—	研究	丸茂祐佳		舞踊研究	第21巻第3号	平成10年2月 駒井企画
お軽「仮名手本忠臣蔵」	芸談	《4》中村雀右衛門		『女形無限』		平成10年3月 白水社
定九郎のゴムの血玉—血のりの 演出—／金に恨みが数々ござる —勘平と五つの財布—	鑑賞	織田紘二		『歌舞伎モノがたり』		平成10年3月 淡交社
『忠臣蔵』二百五十年	グラビア 鑑賞	野村喬		演劇界	平成10・4	演劇出版社
若くなった『忠臣蔵』 [平成10・3歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成10・4	演劇出版社
上半期の歌舞伎 [平成10・3歌舞伎座]	劇評	水落潔		歌舞伎 研究と批評	22	平成10年12月 歌舞伎学会
菊五郎の勘平に色気 [平成10・3歌舞伎座]	劇評	渡辺保		『劇評家の椅子— 歌舞伎を見る』		平成12年4月 朝日新聞社
幕末の役者評判記	研究	今尾哲也		館報 池田文庫	第12号	平成10年4月 阪急学園池田文庫 ※三代目尾上菊五郎の五段目勘平の型について。
三大名作を中心に 作品研究の起点	鑑賞	今尾哲也 内山美樹子 上村以和於 渡辺保 近藤瑞男／司会		歌舞伎 研究と批評		21 平成10年6月歌舞伎学会
勘平腹切り	鑑賞	古井戸秀夫		『歌舞伎 問いかけ の文学』		平成10年7月 べりかん社
上方風の七段目 [平成10・6大阪厚生年金会館]	劇評	亀岡典子		演劇界	平成10・7	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
舞踊「八段目（下の巻）」③— その成立・伝承・影響—	研究	丸茂祐佳		舞踊研究	第22巻第1号	平成10年8月 駒井企画
ある役者の一生—初代中村仲蔵 の場合	鑑賞	田口章子		『江戸時代の歌舞 伎役者』		平成10年9月 雄山閣 ※定九郎誕生秘話ほか。
文芸と歌舞伎の交流（一）3 忠 臣蔵遡源	鑑賞	鳥越文蔵 内山美樹子 渡辺保 ／編集責任者		『岩波講座 歌舞 伎・文楽 第四巻 歌舞伎文化の諸 相』		平成10年10月 岩波書店
	鑑賞	西山松之助／監修		『図説 忠臣蔵』		平成10年10月 河出書房新社
仮名手本忠臣蔵編	鑑賞	太田博		『ちょっと歌舞伎 通 落語と歌舞伎 粋な 仲』		平成10年10月 平凡社 ※仮名手本忠臣蔵を素材とした落語につ いて。
上方の味と匂い その演出の妙— 七役替りの忠臣蔵—	演出	山田庄一		演劇界	平成10・10	演劇出版社
特集 '98燃える舞台 われら主 役 若い情熱と意欲 “上方、に挑む 右近 [平成10・8国立劇場]	劇評	松井俊諭		演劇界	平成10・10	演劇出版社
特集 '98燃える舞台 われら主 役 河内屋型「五、六段目」賛 [平成10・8国立劇場]	劇評	津金規雄		演劇界	平成10・10	演劇出版社
『仮名手本忠臣蔵』の落語	鑑賞	清水一朗		『落語・歌舞伎あ わせ鏡』		平成10年11月 三一書房
極月、忠臣蔵の季節	鑑賞	竹田真砂子		『歌舞伎ます』		平成10年12月 学陽書房
大星由良之助 四段目・七段目	鑑賞	中村吉右衛門／監 修		『中村吉右衛門の 歌舞伎ワールド』		平成10年12月 小学館
常磐津節の『仮名手本忠臣蔵』	研究	安田文吉		名古屋芸能文化	平成10・12	名古屋芸能文化会
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	佐藤孔亮		『歌舞伎にみる日 本史』		平成11年1月 小学館 ※大序～七段目。
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	服部幸雄／編		『歌舞伎をつく る』		平成11年1月 青土社
忠臣蔵の舞台	解説	水落潔		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
赤穂浪士事件と元禄	鑑賞	今尾哲也		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
昔を今に 赤穂・吉良を回る	鑑賞	土岐迪子		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
忠臣蔵縁りの史跡図	考証	高橋美江		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
忠臣蔵人物志	解説	上村以和於		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
大石が受け取った備中松山城	鑑賞		《11》市川高麗蔵	演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
市村羽左衛門・忠臣蔵の立役を語る	芸談	馬場順	《17》市村羽左衛門	演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
忠臣蔵浮世絵	鑑賞	中山幹雄		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
『忠臣蔵』の作者たち	解説	石橋健一郎		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
文楽の『忠臣蔵』歌舞伎演出との相違	演出	松井俊諭		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
上方の『忠臣蔵』	演出	山田庄一		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
忠臣蔵外伝 『仮名手本』以外の『忠臣蔵』	解説	大岩精二		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
『元禄忠臣蔵』に見る青果の意識	鑑賞	野村喬		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 九代目市川團十郎の由良之助	芸談		《3》市川新十郎	演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 尾上家の勘平口伝	芸談		《6》尾上菊五郎	演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 二代目左団次の定九郎 [昭和6・5明治座]	鑑賞	志野葉太郎		演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 「駆付け」のついた三段目 [昭和11・3歌舞伎座]	芸談		《15》市村羽左衛門 《7》松本幸四郎	演劇界 忠臣蔵 義と恋と死の綾なす舞台	平成11・1増刊	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 戦後初の『大忠臣蔵』 [昭和22・11東京劇場]	鑑賞	萩原雪夫		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 松緑の勘平 [昭和27・12明治座]	鑑賞	山川静夫		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 初々しかった扇雀・鶴之助 [昭和28・6大阪大阪歌舞伎座]	鑑賞	廓正子		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 恋する二人 [昭和35・12歌舞伎座]	鑑賞	竹田真砂子		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 歌右衛門のメーデン [昭和43・11歌舞伎座]	鑑賞	中村哲郎		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
回想の忠臣蔵 思い出の舞台 極めつき梅幸の判官 (極めつき塩冶判官) [平成3・2歌舞伎座]	鑑賞	戸板康二		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
映像になった『忠臣蔵』 「私」的忠臣蔵映像史	鑑賞	佐藤俊一郎		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
「忠臣蔵」、さて何を讀むか	鑑賞	津金規雄		演劇界 忠臣蔵 義 と恋と死の綾なす 舞台	平成11・1増刊	演劇出版社
特集 忠臣蔵の人々 高師直VS顔世御前VS塩冶判 官 意識されぬ三角関係の結果	鑑賞	堂本正樹		演劇界	平成11・2	演劇出版社
特集 忠臣蔵の人々 大星由良之助VS加古川本蔵 家老二人の交流	鑑賞	松井俊諭		演劇界	平成11・2	演劇出版社
特集 忠臣蔵の人々 お軽勘平VS力弥小浪 恋と愛	鑑賞	落合清彦		演劇界	平成11・2	演劇出版社
特集 忠臣蔵の人々 斧九太夫VS寺岡平右衛門 重職と足軽の忠義	鑑賞	天野道映		演劇界	平成11・2	演劇出版社
特集 忠臣蔵の人々 戸無瀬VSお石 嫁姑義理の母娘	鑑賞	関容子		演劇界	平成11・2	演劇出版社
舞踊「八段目(下の巻)」④ —その成立・伝承・影響—	研究	丸茂祐佳		舞踊研究	第22巻第3号	平成11年2月 駒井企画
道行旅路の花智 充実した三つの舞台 [平成11・2歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成11・3	演劇出版社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
二代目鴈治郎の十七回忌に寄せて [平成11・3大阪松竹座]	グラビア 鑑賞	岡崎文		演劇界	平成11・4	演劇出版社
上方式『忠臣蔵』の面白さ [平成11・3大阪松竹座]	劇評	水落潔		演劇界	平成11・4	演劇出版社
傑作、上方式の『忠臣蔵』 [平成11・3大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		歌舞伎 研究と批評	24	平成11年12月 歌舞伎学会
	鑑賞	関容子		『芸づくし忠臣蔵』		平成11年6月 文芸春秋社
芸談にみる情味／実説から生まれた面白味／余話百味	鑑賞	山川静夫		『歌舞伎のかくし味』		平成11年7月 淡交社
もう一つの忠臣蔵 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	江下博彦		『七人の吉右衛門』		平成11年7月 叢文社 ※寺坂吉右衛門について。
「由良之助」参上／歌舞伎座の「由良之助」	鑑賞	宮辻政夫		『花のひと孝夫から仁左衛門へ』		平成11年9月 毎日新聞社
『仮名手本忠臣蔵』	芸談	《5》中村勘九郎		『歌舞伎ツタ!』		平成11年12月 アスペクト
知っておきたい作品20 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	《7》市川染五郎		『市川染五郎と歌舞伎へ行こう!』		平成12年1月 旬報社
女形全科 わが愛する20人の女たち お軽／戸無瀬	鑑賞	上村以和於		演劇界 女形の美学	平成12・1増刊	演劇出版社
忠臣蔵のセリフ	鑑賞	葛西聖司		『名セリフのカー日本語をきたえる76のことば一』		平成12年2月 展望社
盛況のこんびら歌舞伎 [平成12・4香川金丸座]	劇評	萩原雪夫		演劇界	平成12・6	演劇出版社 ※五・六段目
稀代の悪役 五代目松本幸四郎伝説〔定九郎〕	鑑賞	服部幸雄		演劇界 歌舞伎の悪間に咲く花	平成12・7増刊	演劇出版社
特集 二十世紀歌舞伎の百年《前編》 大『忠臣蔵』・東西合同	鑑賞	大岩精二／資料編 志野葉太郎／思い出抄		演劇界	平成12・7、8合併号	演劇出版社
演じてみたい役のことなど 原郷右衛門—『仮名手本忠臣蔵』—	鑑賞	浜田侑子		『歌舞伎随想 歌右衛門とキルケゴール』		平成12年9月 未知谷
歌舞伎のなかの男と女 おかると勘平	鑑賞	山川静夫		『歌舞伎漫筆』		平成12年10月 岩波書店
忠臣蔵の変型 池田文庫蔵 「忠臣蔵」台帳から(上)	研究	荻田清		館報 池田文庫	第17号	平成12年10月 阪急学園池田文庫
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	水落潔／編	《3》中村鴈治郎	『鴈治郎芸談』		平成12年11月 向陽書房

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
道行旅路の花聲 〈十一代目型〉の『毛抜』 〔平成12・8地方公演〕	劇評	津金規雄		演劇界	平成12・11	演劇出版社
特集 初代中村仲蔵 仲蔵と定九郎	研究	今尾哲也		歌舞伎 研究と批評	26	平成12年12月 歌舞伎学会
特集 初代中村仲蔵 中村仲蔵出世噺の成立	研究	中込重明		歌舞伎 研究と批評	26	平成12年12月 歌舞伎学会
東西でベストメンバー『忠臣蔵』の通しを上演 〔昭和52・11歌舞伎座〕	鑑賞	石橋健一郎		演劇界 歌舞伎の20世紀100年の記録	平成13・2増刊	演劇出版社
国立劇場開場二十周年の大忠臣蔵	写真 鑑賞	織田紘二		演劇界 歌舞伎の20世紀100年の記録	平成13・2増刊	演劇出版社
二代目鴉治郎の忠臣蔵	鑑賞	奈河彰輔		『幕間ばなし』		平成13年3月 私家版
特集 二〇〇一年歌舞伎花形机上 舞台 世紀初花忠臣蔵	鑑賞	清水一朗		演劇界	平成13・3	演劇出版社
忠臣蔵の変型 池田文庫蔵「忠臣蔵」台帳から（下）	研究	荻田清		館報 池田文庫	第18号	平成13年4月 阪急学園池田文庫
忠臣蔵は家庭劇—『仮名手本忠臣蔵』	鑑賞	沼野正子		『今宵も歌舞伎へまいります』		平成13年5月 晶文社
「忠臣蔵」と「俊寛」はなぜ受けるか 外から見た歌舞伎	鑑賞	河竹登志夫		『歌舞伎』		平成13年5月 東京大学出版会
初役ぞろいの新鮮な九段目 〔平成13・3歌舞伎座〕	劇評	福本和生		演劇界	平成13・5	演劇出版社 ※八・九段目。
弥生新橋忠臣蔵 〔平成13・3新橋演舞場〕	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成13・5	演劇出版社 ※通し。
新世紀の幕開き 〔平成13・3歌舞伎座〕	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	28	平成14年1月 歌舞伎学会
二十一世紀のはじまり 〔平成13・3歌舞伎座／新橋演舞場〕	劇評	児玉竜一		歌舞伎 研究と批評	28	平成14年1月 歌舞伎学会
「忠臣蔵」五段目の初期演出— 松の木をめぐる—	研究	斎藤千恵		演劇研究会会報	第27号	平成13年6月 演劇研究会
仮名手本忠臣蔵・落人	鑑賞			演劇界別冊 歌舞伎入門シリーズ2 名場面を読む	平成13・9	演劇出版社
『忠臣蔵』芸の伝承	鑑賞	《17》市村羽左衛門 《2》中村又五郎		『歌舞伎の表現をさぐる』		平成13年10月 演劇出版社
久し振りの団十郎の勤平 〔平成13・7地方公演〕	劇評	水落潔		演劇界	平成13・10	演劇出版社
狂言絵尽「仮名手本忠臣蔵」の成立	研究	斎藤千恵		論究日本文学	第75号	平成13年12月 立命館大学日本文学会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
	鑑賞	服部幸雄 《5》中村富十郎 岩田秀行 竹内誠 赤穂市教育委員会 ／編集		『忠臣蔵シンポジウム—忠臣蔵の芸術とその魅力—記録集』		平成14年3月 赤穂市 ※平成13年12月9日開催「忠臣蔵シンポジウム」の講演録。
最古の『忠臣蔵』浮世絵	鑑賞	石橋健一郎		演劇界	平成14・3	演劇出版社
上方歌舞伎の忠臣蔵物—上演形態の特色と役者を中心に	研究	早川由美		楽劇学	第9号	平成14年3月 楽劇学会
	鑑賞	赤穂市立歴史博物館 ／編		『忠臣蔵の絵巻物』		平成14年4月 赤穂市歴史博物館 ※企画展資料集。
二人の資質 [平成14・4名古屋御園座]	劇評	津金規雄		演劇界	平成14・6	演劇出版社
早野勘平の恋／忠臣蔵	鑑賞	古井戸秀夫		『歌舞伎入門』		平成14年7月 岩波書店 ※岩波ジュニア新書。
歌舞伎の名作 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	浦田健次郎／監修 児玉竜一／編著		『能楽 文楽 歌舞伎 日本の伝統芸能への誘い』		平成14年8月 教育芸術社
上方風の勘平 [平成14・7国立劇場]	劇評	福本和生		演劇界	平成14・9	演劇出版社
	鑑賞	関容子		『芸づくし忠臣蔵』		平成14年10月 文藝春秋 ※文春文庫。
芸と人 インタビュー60分 中村鴈治郎 二ヶ月で忠臣蔵の八役を演じます [平成14・10歌舞伎座／平成14・11国立劇場]	芸談	小玉祥子／聞き手	《3》中村鴈治郎	演劇界	平成14・10	演劇出版社
	鑑賞	阿部達二		『江戸川柳で読む忠臣蔵』		平成14年11月 文藝春秋 ※文春新書。
特集 忠臣蔵の愉しみ 忠臣蔵の魅力 わたしの『忠臣蔵』考	鑑賞	水落潔		演劇界	平成14・11	演劇出版社
特集 忠臣蔵の愉しみ 忠臣蔵の魅力 『仮名手本忠臣蔵』印象に残る名舞台	鑑賞	志野葉太郎		演劇界	平成14・11	演劇出版社
特集 忠臣蔵の愉しみ 忠臣蔵の魅力 思い出の東西競演	鑑賞	野村喬		演劇界	平成14・11	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
特集 忠臣蔵の愉しみ 忠臣蔵の魅力 時を越えたわたし好み…	鑑賞	鈴木治彦		演劇界	平成14・11	演劇出版社
特集 忠臣蔵の愉しみ 忠臣蔵の魅力 神像のエロス	鑑賞	草森紳一		演劇界	平成14・11	演劇出版社
特集 忠臣蔵の愉しみ 忠臣蔵の魅力 忠臣蔵の顔	鑑賞	加藤郁平		演劇界	平成14・11	演劇出版社
忠臣蔵の「改良」と近代	研究	神山彰		国立劇場歌舞伎公演解説書	平成14・11	国立劇場営業部宣伝課
特集 仮名手本忠臣蔵 合評 [平成14・10歌舞伎座]	劇評	水落潔 中村哲郎 上村以和於		演劇界	平成14・12	演劇出版社
特集 仮名手本忠臣蔵 合評 中村鴈治郎七役相勤め申し候 [平成14・11国立劇場]	劇評	水落潔 中村哲郎 上村以和於		演劇界	平成15・1	演劇出版社
心にしみいる「九段目」 [平成14・12京都南座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成15・2	演劇出版社
通し狂言六作品 治まる御代の軍法 [平成14・10歌舞伎座]	劇評	大矢芳弘		歌舞伎 研究と批評	31	平成15年8月 歌舞伎学会
熟成と発見と—「私」のいる場所 [平成14・10歌舞伎座／平成14・11国立劇場]	劇評	佐藤俊一郎		歌舞伎 研究と批評	31	平成15年8月 歌舞伎学会
話題の舞台を中心に—平成十四年下半期関西公演— [平成14・12京都南座]	劇評	上田由香利		歌舞伎 研究と批評	31	平成15年8月 歌舞伎学会
資料紹介『仮名手本忠臣蔵』初演の出語り図	研究	石橋健一郎		楽劇学	第10号	平成15年3月 楽劇学会
「忠臣蔵」の月	研究	古井戸秀夫		早稲田大学大学院文学研究科紀要 第三分冊	第49号	平成15年3月 早稲田大学大学院文学研究科
博多座に松緑襲名 [平成15・6福岡博多座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成15・8	演劇出版社
	鑑賞	橋本治 岡田嘉夫／絵		『橋本治・岡田嘉夫の歌舞伎絵巻1 仮名手本忠臣蔵』		平成15年10月 ポプラ社
平成忠臣蔵論	鑑賞	上村以和於		演劇界	平成16・1～12	演劇出版社
師走興行の収穫『西郷と豚姫』 [平成15・12歌舞伎座]	劇評	志野葉太郎		演劇界	平成16・2	演劇出版社
近年最高の「九段目」 [平成16・1歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成16・3	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	原道生／監修		『物語で学ぶ日本の伝統芸能 3』		平成16年4月 くもん出版

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
映像の中の芸能(9) 忠臣蔵—松之助・千恵蔵・猿之助・幸四郎・長十郎	鑑賞	藤井康雄		上方芸能	第154号	平成16年4月 『上方芸能』編集部
関西通信 堂に入った舟木平次 [平成16・4京都南座]	劇評	坂東垂矢子		演劇界	平成16・7	演劇出版社
NHK古典芸能鑑賞会 [平成16・5NHKホール]	劇評	北六		演劇界	平成16・8	演劇出版社
仮名手本忠臣蔵1~3	鑑賞	金森和子 吉田千秋/写真 杉江みどり/切絵		『すぐわかる歌舞伎の見どころ』		平成16年9月 東京美術
きららなるもの [平成16・7地方公演]	劇評	木本公世		演劇界	平成16・10	演劇出版社
忠臣蔵	鑑賞	五十川晶子		『はじめての歌舞伎 演目ガイド80』		平成16年12月 池田書店
忠臣蔵と市川団十郎	鑑賞	服部幸雄		大航海	第49号	平成16年 新書館
日本人は「忠臣蔵」が好き、仇討が好き	鑑賞	小野幸恵		『幸四郎と観る歌舞伎』		平成17年6月 音楽之友社
一入、勘平の哀れ [平成17・4大阪松竹座]	劇評	藤沢夏生		演劇界	平成17・7	演劇出版社
	鑑賞	上村以和於		『仮名手本忠臣蔵』		平成17年10月 慶應義塾大学出版会
仮名手本忠臣蔵	鑑賞	辻和子		『恋するKABUKI』		平成18年1月 実業之日本社
歌舞伎の女たち お軽/戸無瀬 芝居が描く男の群像 高師直と早野勘平 小道具の役割 猪/煙管/縞の財布	鑑賞	丹羽敬忠		『歌舞伎の男たち、女たち—芝居をみる楽しみ』		平成18年3月 洋々社
新春浅草歌舞伎 [平成18・1浅草公会堂]	劇評	中村桂子		演劇界	平成18・3	演劇出版社
名コンピ仁左衛門・玉三郎 [平成18・1大阪松竹座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成18・3	演劇出版社
忠臣蔵物の錦絵と泉岳寺	研究	大久保純一		国立歴史民俗博物館研究報告	第125号	平成18年3月 国立歴史民俗博物館
足利直義/塩谷判官	解説	岡田万里子		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫/編 河竹登志夫/監修
天河屋義平/伊吾/太田了竹/お園/加古川本蔵/高師直/高師泰/小林平八郎/桃井若狭之助/由松/和久半太夫	解説	石橋健一郎		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫/編 河竹登志夫/監修

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
石堂右馬之丞／大鷲文吾／斧九太夫／女衛の源六／狸の角兵衛／母おかや／早野勘平／不破数右衛門／与市兵衛	解説	児玉竜一		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
一文字屋お才／一文字屋才兵衛／寺岡平右衛門	解説	古井戸秀夫		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
お石／下女りん／千崎弥五郎／竹森喜多八／原郷右衛門／薬師寺次郎左衛門／矢間重太郎	解説	伊藤普之		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
大星由良之助／服部逸郎	解説	神山彰		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
大星力弥	解説	竹内有一		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
お軽／小浪／戸無瀬	解説	金子健		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
顔世御前	解説	阿部さとみ		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
鷺坂伴内	解説	鈴木英一		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
定九郎	解説	水田かや乃		『歌舞伎登場人物事典』		平成18年5月 白水社 古井戸秀夫／編 河竹登志夫／監修
特集 四国こんぴら歌舞伎大芝居 風情ある『稻妻草紙』 [平成18・4香川金丸座]	劇評	小玉祥子		演劇界	平成18・7	演劇出版社
	鑑賞	戸板康二		『ビジュアル版日本の古典に親しむ 十一 仮名手本忠臣蔵』		平成18年12月 世界文化社
再会勘平・初役新三 [平成18・10歌舞伎座]	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成18・12	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
2006 充実した秋 [平成18・10歌舞伎座]	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	39	平成19年11月 歌舞伎学会
鏡花の「情念」と青果の「理念」 [平成18・10歌舞伎座]	劇評	大矢芳弘		歌舞伎 研究と批評	39	平成19年11月 歌舞伎学会
特集 歌舞伎 かぶきの春 春な女たち おかる 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	河合眞澄		国文学 解釈と教材の研究	平成19・1	学燈社
特集 芸能と絵画資料 演出資料としての黄表紙 「忠臣蔵」七段目の遊興とその周辺	研究	斎藤千恵		芸能史研究	第176号	平成19年1月 芸能史研究会
戸無瀬の若さ [平成19・1大阪松竹座]	劇評	藤沢夏生		演劇界	平成19・3	演劇出版社
充実した大一座の忠臣蔵 [平成19・2歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成19・4	演劇出版社
『仮名手本忠臣蔵』の現在 [平成19・2歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成19・4	演劇出版社
シアトリカル・シナリー 第34回 正統『仮名手本忠臣蔵』 『義経千本桜』	鑑賞	長谷部浩		文学界	第61巻第5号	平成19年5月 文芸春秋
八、忠臣蔵の決算 「忠臣蔵」判官、勘平	鑑賞	長谷部浩		『菊五郎の色気』		平成19年6月 文芸春秋 ※文春新書。
旅の「七段目」 [平成19・7地方公演]	劇評	佐藤俊一郎		演劇界	平成19・10	演劇出版社
三大歌舞伎に見るヒーロー列伝 大星由良之助・早野勘平・斧定九郎	鑑賞	利根川裕		演劇界	平成20・1	演劇出版社
中村吉右衛門が語る大星由良之助	芸談		《2》中村吉右衛門	演劇界	平成20・1	演劇出版社
顔見世総濠い [平成19・11歌舞伎座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成20・1	演劇出版社
二〇〇七年後半の歌舞伎寸評 [平成19・11歌舞伎座]	劇評	近藤瑞男		歌舞伎 研究と批評	41	平成20年11月 歌舞伎学会
小道具ものがたり 『仮名手本忠臣蔵』 大星由良之助のがんどう提燈	型	湯川弘明		演劇界	平成20・2	演劇出版社
役者から見た歌舞伎の名作ウラ話 仮名手本忠臣蔵 勘平腹切	鑑賞	《12》市川團十郎		『団十郎の歌舞伎案内』		平成20年4月 PHP研究所 ※PHP新書。
白鷺追善公演 [平成20・2歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成20・4	演劇出版社
	鑑賞	服部幸雄		『仮名手本忠臣蔵を読む』		平成20年8月 吉川弘文館

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
名作狂言の魅力 仇討の名作	鑑賞	宗方翔		『学校で教えない 教科書 面白いほど よくわかる歌舞伎』		平成20年8月 日本文芸社
衣裳 黒羽二重	鑑賞	丹羽敬忠		『歌舞伎の彩り』		平成20年9月 有楽出版社
忠臣蔵七役	芸談	坂田藤十郎 扇千景		『坂田藤十郎 扇千景 夫婦の履歴書』		平成20年10月 日本経済新聞出版社
	研究	古今いろは評林を よむ会／編		『古今いろは評林 —本文と注釈』		平成20年11月 立命館大学アート・リサーチセンター内 古今いろは評林をよむ会
三大名作を愉しむ “揃いの美、を愉しむ『仮名手 本忠臣蔵』	鑑賞	山川静夫		『歌舞伎の愉しみ 方』		平成20年11月 岩波書店 ※岩波新書。
切磋琢磨の夏 [平成20・8大阪国立文楽劇場]	劇評	坂東垂矢子		演劇界	平成20・11	演劇出版社
落人／仮名手本忠臣蔵	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯 曲解題 上』		平成20年12月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書11」
歌舞伎のドラマ 義太夫狂言 仮名手本忠臣蔵	鑑賞	石橋健一郎／編著		『図解雑学 よくわかる歌舞 伎』		平成20年12月 ナツメ社
中村座忠臣蔵 [平成20・10平成中村座]	劇評	上村以和於		演劇界	平成20・12	演劇出版社
歌舞伎の劇場空間 [平成20・10平成中村座]	劇評	清水一朗		歌舞伎 研究と批評	43	平成21年9月 歌舞伎学会
芸のイキ「忠臣蔵」／喧嘩場 ／廻り舞台一夜と昼、昨日と今日 ／一力の勘定一由良助の遊蕩 ／雪の山科「忠臣蔵」／九段 目	鑑賞	渡辺保		『歌舞伎の見方』		平成21年7月 角川学芸出版
仮名手本忠臣蔵 ゴシップ的要素で成立	鑑賞	辻和子		『歌舞伎にすと入 門 知る観るKABUKI100 のツボ』		平成21年8月 東京新聞出版部
仮名手本忠臣蔵の魅力語る 忠臣蔵は切り札です	芸談 鑑賞	《15》片岡仁左衛 門 関容子		週刊朝日	第114巻第38号	平成21年8月 朝日新聞出版
十七代目長谷川勘兵衛に聞く 芝居する大道具	演出		《17》長谷川勘兵衛	演劇界	平成21・12	演劇出版社
顔見世の忠臣蔵 [平成21・10名古屋御園座]	劇評	安住恭子		演劇界	平成21・12	演劇出版社
大顔合わせの『忠臣蔵』 [平成21・11歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成22・1	演劇出版社
「ロンゲスト・グッドバイ」 [平成21・11歌舞伎座]	劇評	船曳健夫		歌舞伎 研究と批評	45	平成22年9月 歌舞伎学会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
上方式で濃厚に [平成22・1大阪松竹座]	劇評	亀岡典子		演劇界	平成22・3	演劇出版社
痩せる芝居、光る芝居 [平成22・1大阪松竹座]	劇評	川浪春香		歌舞伎 研究と批評	46	平成23年5月 歌舞伎学会
十八ヶ条申開	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 中』		平成22年3月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書11」
一演目の上演史をたどる役者評判記と劇書—『古今いろは評林』前後	研究	斎藤千恵		演劇研究会会報	36	平成22年5月 演劇研究会
	鑑賞	安野光雅		『繪本 仮名手本忠臣蔵』		平成22年9月 朝日新聞出版
幸四郎弁慶、千回の重み [平成22・7地方公演]	劇評	河村常雄		演劇界	平成22・9	演劇出版社
精進と覚悟 [平成22・8国立劇場小劇場]	劇評	中村桂子		演劇界	平成22・11	演劇出版社
八代目市川團十郎の死と忠臣蔵：切腹の噂の流布と享受	研究	倉橋正恵		論究日本文学	第93号	平成22年12月 立命館大学
古今いろは評林をよむ会 『古今いろは評林—本文と注釈』	研究	神楽岡幼子		近松研究所紀要	21	平成22年12月 園田学園女子大学近松研究所
小道具ものがたり 『仮名手本忠臣蔵』 「五、六段目」の縞の財布	型	湯川弘明		演劇界	平成22・12	演劇出版社
『沼津』大当たり [平成22・12京都南座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成23・2	演劇出版社
『忠臣蔵』の虚と実—大石内蔵助の場合	鑑賞	谷口眞子		国立劇場第二七一回歌舞伎公演解説書		平成22年12月
いろはにほへと—『仮名手本忠臣蔵』の歌舞伎的側面	鑑賞	法月敏彦		国立劇場第二七一回歌舞伎公演解説書		平成22年12月
「仮名手本忠臣蔵」遡源	鑑賞	長谷川強		国立劇場第二七一回歌舞伎公演解説書		平成22年12月
幕間のひととき11 祇園町ということ	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第二七一回歌舞伎公演解説書		平成22年12月
茶屋場／仮名手本忠臣蔵／道行旅路の嫁入／八段目／引揚	解説	渥美清太郎		『系統別 歌舞伎戯曲解題 下の一』		平成23年1月 日本芸術文化振興会 ※「歌舞伎資料選書11」
由良之助中心の『忠臣蔵』 [平成22・12国立劇場]	劇評	小玉祥子		演劇界	平成23・2	演劇出版社
清冽な玉手 [平成22・12国立劇場]	劇評	犬丸治		テアトロ	平成23・2	カモミール社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
平成二十二年下半期の歌舞伎 [平成22・12国立劇場]	劇評	富士務		歌舞伎 研究と批評	47	平成24年5月 歌舞伎学会
忠臣蔵文化について／『仮名手本忠臣蔵』総説／『仮名手本忠臣蔵』演出の研究／忠臣蔵文化の諸相／参考文献目録	研究	赤穂市教育委員会 市史編さん室／編		『忠臣蔵』第二巻		平成23年2月 赤穂市
歌舞伎名作案内第三回 仮名手本忠臣蔵 忠義こそ、すべて	解説	吉田弥生		演劇界	平成23・6	演劇出版社
見応え充分 [平成23・6博多座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成23・8	演劇出版社
ことばの華 心に届くセリフ57 『仮名手本忠臣蔵 三段目』塩治判官高定	鑑賞	竹田真砂子		演劇界	平成24・4	演劇出版社
大顔合わせの「九段目」 [平成24・3新橋演舞場]	劇評	水落潔		演劇界	平成24・5	演劇出版社
顔揃い「山科閑居」 [平成24・3新橋演舞場]	劇評	犬丸治		テアトロ	平成24・5	カモミール社
転換期の六ヶ月 [平成24・3新橋演舞場]	劇評	渡辺保		歌舞伎 研究と批評	50	平成25年5月 歌舞伎学会
特集・昭和の『忠臣蔵』	研究 劇評	山田庄一 渡辺保 近藤瑞男 神山彰 児玉竜一		歌舞伎 研究と批評	47	平成24年5月 歌舞伎学会
歌舞伎の衣裳の変遷について— 『仮名手本忠臣蔵』大序を例として	研究	桑原博行		歌舞伎 研究と批評	47	平成24年5月 歌舞伎学会
新世代『忠臣蔵』 [平成24・4新橋演舞場]	劇評	児玉竜一		演劇界	平成24・6	演劇出版社
新世代の「忠臣蔵」 [平成24・4新橋演舞場]	劇評	犬丸治		テアトロ	平成24・6	カモミール社
仮名手本忠臣蔵	解説	上村以和於		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・ 児玉竜一／編集 富沢慶秀・藤田洋／監修
義太夫狂言	解説	児玉竜一		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・ 児玉竜一／編集 富沢慶秀・藤田洋／監修

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
時代物	解説	近藤瑞男		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・ 児玉竜一／編集 富沢慶秀・藤田洋／監修
実録物	解説	今岡謙太郎		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・ 児玉竜一／編集 富沢慶秀・藤田洋／監修
太平記物	解説	小島智章		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・ 児玉竜一／編集 富沢慶秀・藤田洋／監修
忠臣蔵物	解説	藤田洋		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・ 児玉竜一／編集 富沢慶秀・藤田洋／監修
道行旅路の花髻	解説	阿部さとみ		『〈最新〉歌舞伎大事典』		平成24年7月 柏書房 神山彰・丸茂祐佳・ 児玉竜一／編集 富沢慶秀・藤田洋／監修
『仮名手本忠臣蔵』と参加への欲望	鑑賞	橋本治		『浄瑠璃を読もう』		平成24年7月 新潮社
平成二十四年後半の関西の動き 若手公演を中心に [平成24・8大 阪国立文楽劇場]	劇評	荻田清		歌舞伎 研究と批評	51	平成26年3月 歌舞伎学会
	鑑賞	山本博文		『「忠臣蔵」の決算書』		平成24年11月 新潮社 ※新潮新書
	鑑賞	赤穂市立歴史博物館／編		『仮名手本忠臣蔵の世界 平成二十二年度特別展図録』		平成24年12月 赤穂市立歴史博物館
『忠臣蔵』論	鑑賞	ドナルド・キーン 井田卓／訳		『ドナルド・キーン著作集 第六巻 能・歌舞伎・文楽』		平成25年1月 新潮社
勘九郎、全力 [平成24・12京都南座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成25・2	演劇出版社
充実した初芝居 [平成25・1新橋演舞場]	劇評	水落潔		演劇界	平成25・3	演劇出版社
芝雀輝く [平成25・1新橋演舞場]	劇評	犬丸治		テアトロ	平成25・3	カモミール社

題名	種目	執筆著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
歌舞伎座の新装開場 平成二十五年上半期の歌舞伎状況 [平成25・1新橋演舞場]	劇評	村上湛		歌舞伎 研究と批評	52	平成26年9月 歌舞伎学会
上方歌舞伎の名舞台 其の一 『仮名手本忠臣蔵』延若の高師直・由良助・定九郎	鑑賞	山田庄一 渡辺保／聞き手		演劇界	平成25・8	演劇出版社
大顔合わせの『忠臣蔵』 [平成25・11歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成26・1	演劇出版社
菊・吉の「忠臣蔵」 [平成25・11歌舞伎座]	劇評	犬丸治		テアトロ	平成26・1	カモミール社
歌舞伎座再び [平成25・11歌舞伎座]	劇評	船曳健夫		歌舞伎 研究と批評	53	平成27年3月 歌舞伎学会
襲名披露沸く [平成25・12京都南座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成26・2	演劇出版社
『忠臣蔵』続演 [平成25・12歌舞伎座]	劇評	児玉竜一		演劇界	平成26・2	演劇出版社
吉右衛門の弥作 [平成25・12歌舞伎座]	劇評	犬丸治		テアトロ	平成26・2	カモミール社
歌舞伎座再び [平成25・12歌舞伎座]	劇評	船曳健夫		歌舞伎 研究と批評	53	平成27年3月 歌舞伎学会
花形の花盛り、大歌舞伎の充実 [平成25・12歌舞伎座]	劇評	吉田弥生		歌舞伎 研究と批評	53	平成27年3月 歌舞伎学会
小道具ものがたり 『仮名手本忠臣蔵』「七段目」の釣燈籠	型	湯川弘明		演劇界	平成25・12	演劇出版社
大星由良之助	鑑賞	水落潔		演劇界	平成25・12	演劇出版社 ※「巻頭特集 『忠臣蔵』の三役」
塩谷判官	鑑賞	上村以和於		演劇界	平成25・12	演劇出版社 ※「巻頭特集 『忠臣蔵』の三役」
早野勘平	鑑賞	岡野竹時		演劇界	平成25・12	演劇出版社 ※「巻頭特集 『忠臣蔵』の三役」
名優たちの面影	鑑賞			演劇界	平成25・12	演劇出版社
『忠臣蔵』の史実と脚色	鑑賞	菅野俊輔		演劇界	平成25・12	演劇出版社
知られざる『忠臣蔵』	鑑賞	岡野竹時		演劇界	平成25・12	演劇出版社
浮世絵等図版 芝居絵／浮世絵等図版 見立絵／浮世絵等目録 (版画等 芝居絵・見立絵、絵馬、玩具、折り紙)／浮世絵の判型	研究	赤穂市教育委員会 市史編さん室／編		『忠臣蔵』第七巻		平成26年1月 赤穂市
特集 それは何か？〈よむ〉とは孤絶 忠臣蔵六段目	鑑賞	飯島満		文芸研究 明治大学文学部紀要	第123号	平成26年 明治大学文芸研究会
当り役競演と新作歌舞伎 [平成26・1歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成26・3	演劇出版社
坂田藤十郎の戸無瀬 [平成26・1歌舞伎座]	劇評	犬丸治		テアトロ	平成26・3	カモミール社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
歌舞伎座の新装開場 平成二十五年上半期の歌舞伎状況 [平成26・1歌舞伎座]	劇評	村上湛		歌舞伎 研究と批評	52	平成26年9月 歌舞伎学会
21世紀14年目上半期 今とこれから [平成26・1歌舞伎座]	劇評	上村以和於		歌舞伎 研究と批評	54	平成27年7月 歌舞伎学会
ことばの華 心に届くセリフ81 『仮名手本忠臣蔵 四段目』薬師寺次郎左衛門	鑑賞	竹田真砂子		演劇界	平成26・6	演劇出版社
	鑑賞	山本博文		『知識ゼロからの忠臣蔵入門』		平成26年11月 幻冬舎
『七段目』と『九段目』 [平成26・12京都南座]	劇評	西村彰朗		演劇界	平成27・2	演劇出版社
『七段目』と『九段目』 [平成26・12京都南座]	劇評	西村彰朗	戸無瀬（《4》坂田藤十郎）おいし（《2》片岡秀太郎）本蔵（《9》松本幸四郎）小浪（中村吉太郎）りん（中村寿治郎）	演劇界	平成27・2	演劇出版社
小道具ものがたり 『仮名手本忠臣蔵』「大序」の口上人形	型	湯川弘明		演劇界	平成26・12	演劇出版社
ことばの華 心に届くセリフ88 『仮名手本忠臣蔵 大序』顔世御前	鑑賞	竹田真砂子		演劇界	平成26・12	演劇出版社
「平成世代」の浅草 [平成27・1浅草公会堂]	劇評	犬丸治		演劇界	平成27・3	演劇出版社
新鮮な「金閣寺」 [平成27・1浅草公会堂]	劇評	犬丸治		テアトロ	平成27・3	カモミール社
女形の健闘が際立つ [平成27・8国立劇場小劇場]	劇評	大島幸久		演劇界	平成27・11	演劇出版社
小道具ものがたり 『仮名手本忠臣蔵』 「十一段目」大星由良之助の陣太鼓と撥の財布	型	湯川弘明		演劇界	平成27・12	演劇出版社
『忠臣蔵』の思い出	鑑賞	水落潔		国立劇場第二九九回歌舞伎公演解説書	平成28・10	日本芸術文化振興会
元禄赤穂事件 歴史から物語へ 第一回 『忠臣蔵』の時代	鑑賞	大石学		国立劇場第二九九回歌舞伎公演解説書	平成28・10	日本芸術文化振興会
国立劇場とその時代 1 各時代の状況と設立まで	解説	神山彰		国立劇場第二九九回歌舞伎公演解説書	平成28・10	日本芸術文化振興会
幕間のひととき37 兼好法師と高師直	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第二九九回歌舞伎公演解説書	平成28・10	日本芸術文化振興会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
思い出の舞台	写真			国立劇場第二九九回歌舞伎公演解説書	平成28・10	日本芸術文化振興会
資料展示室 『仮名手本忠臣蔵』（大序から四段目）	鑑賞	渡邊晃／構成解説		国立劇場第二九九回歌舞伎公演解説書	平成28・10	日本芸術文化振興会
幸四郎の風格 [平成28・10国立劇場]	劇評	水落潔		演劇界	平成28・12	演劇出版社
道行と五・六段目の記録 半世紀の舞台群像	鑑賞	中村哲郎		国立劇場第三〇〇回歌舞伎公演解説書	平成28・11	日本芸術文化振興会
「七段目」という華	鑑賞	児玉竜一		国立劇場第三〇〇回歌舞伎公演解説書	平成28・11	日本芸術文化振興会
元禄赤穂事件 歴史から物語へ 第二回 元禄武士の実像	鑑賞	大石学		国立劇場第三〇〇回歌舞伎公演解説書	平成28・11	日本芸術文化振興会
思い出の舞台	写真			国立劇場第三〇〇回歌舞伎公演解説書	平成28・11	日本芸術文化振興会
国立劇場とその時代 2 開場の頃	解説	神山彰		国立劇場第三〇〇回歌舞伎公演解説書	平成28・11	日本芸術文化振興会
資料展示室 『仮名手本忠臣蔵』（五段目から七段目）	鑑賞	渡邊晃／構成解説		国立劇場第三〇〇回歌舞伎公演解説書	平成28・11	日本芸術文化振興会
幕間のひととき38 忠臣大野九郎兵衛	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第三〇〇回歌舞伎公演解説書	平成28・11	日本芸術文化振興会
円熟の『忠臣蔵』 [平成28・11国立劇場]	劇評	犬丸治		演劇界	平成29・1	演劇出版社
	鑑賞	国立劇場芸能調査室／編	《13》片岡仁左衛門／話し手 《11》田中伝左衛門／話し手	『国立劇場・歌舞伎の型1 仮名手本忠臣蔵』		平成28年12月 雄山閣 神山彰／監修 ※『仮名手本忠臣蔵Ⅰ』（昭和47年10月、国立劇場）、『仮名手本忠臣蔵Ⅱ』（昭和48年2月、国立劇場）の「歌舞伎の型」シリーズ2を底本にした復刊。
小道具ものがたり 『仮名手本忠臣蔵』 「九段目」加古川本蔵の偈箱・尺八・替筒	型	湯川弘明		演劇界	平成28・12	演劇出版社
冬景色『仮名手本忠臣蔵』	鑑賞	上村以和於		国立劇場第三〇一回歌舞伎公演解説書	平成28・12	日本芸術文化振興会

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
元禄赤穂事件 歴史から物語へ 第三回 「義士論争」の展開	鑑賞	大石学		国立劇場第三〇一回歌舞伎公演解説書	平成28・12	日本芸術文化振興会
思い出の舞台	写真			国立劇場第三〇一回歌舞伎公演解説書	平成28・12	日本芸術文化振興会
国立劇場とその時代 2 開場からの十年	解説	神山彰		国立劇場第三〇一回歌舞伎公演解説書	平成28・12	日本芸術文化振興会
資料展示室 『仮名手本忠臣蔵』（八段目から十一段目）	鑑賞	渡邊晃／構成解説		国立劇場第三〇一回歌舞伎公演解説書	平成28・12	日本芸術文化振興会
東京の『忠臣蔵』史跡	鑑賞			国立劇場第三〇一回歌舞伎公演解説書	平成28・12	日本芸術文化振興会
幕間のひととき39 蕎麦か饅頭か	鑑賞	中川俊宏		国立劇場第三〇一回歌舞伎公演解説書	平成28・12	日本芸術文化振興会
魁春の戸無瀬 [平成28・12国立劇場]	劇評	児玉竜一		演劇界	平成29・2	演劇出版社
京の襲名披露 [平成28・11京都先斗町歌舞練場]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成29・2	演劇出版社
	鑑賞	吉田愛／文・絵 瀧晴巳／解説		『かぶきがわかる ねこづくし絵本1 仮名手本忠臣蔵』		平成29年7月 講談社
十年を数えた秀山祭 [平成29・9歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成29・11	演劇出版社
大顔揃いの顔見世 [平成29・11歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	平成30・1	演劇出版社
贅沢な「七段目」 [平成30・2歌舞伎座]	劇評	犬丸治		演劇界	平成30・4	演劇出版社
忠臣蔵 逆転の発想で読み解く ヒューマンドラマ	鑑賞	松井今朝子		『作家と楽しむ古典』	3	平成30年6月 河出書房新社
ゆかりの地での七回忌 [平成30・11平成中村座]	劇評	犬丸治		演劇界	平成31・1	演劇出版社
「仮名手本忠臣蔵」の作者・ 『忠臣蔵岡目評判』と並木宗輔	研究	内山美樹子		近松研究所紀要	29	平成32年3月 園田学園女子大学近松研究所
『仮名手本忠臣蔵』の作中時間 設定について	研究	神津武男		近松研究所紀要	29	平成32年3月 園田学園女子大学近松研究所
近世演劇と『太平記』 『仮名手 本忠臣蔵』成立まで	研究	黒石陽子		『軍記物語講座』	第三巻	令和1年10月 花鳥社 松尾葦江／編
松嶋屋の由良之助 [令和1・11京都南座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	令和2・2	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・書名	号数	備考
勉強芝居の本懐 [令和2・1浅草公会堂]	劇評	児玉竜一		演劇界	令和2・3	演劇出版社
特色の違う三部制 [令和3・1歌舞伎座]	劇評	水落潔		演劇界	令和3・3	演劇出版社
	鑑賞	矢野圭吾		『忠臣蔵と四谷怪談を演じた役者たち』		令和3年5月 私家版
純な勘平の悲劇 [令和3・5歌舞伎座]	劇評	小玉祥子		演劇界	令和3・7	演劇出版社
浮世絵・草双紙にみる歌舞伎 『仮名手本忠臣蔵』十一段目	研究	高橋和日子		演劇研究	45	令和4年3月 早稲田大学演劇博物館
歌舞伎『仮名手本忠臣蔵』両国橋の場面の変遷「勢揃い」から「引揚」まで	研究	高橋和日子		楽劇学	29	令和4年5月 楽劇学会